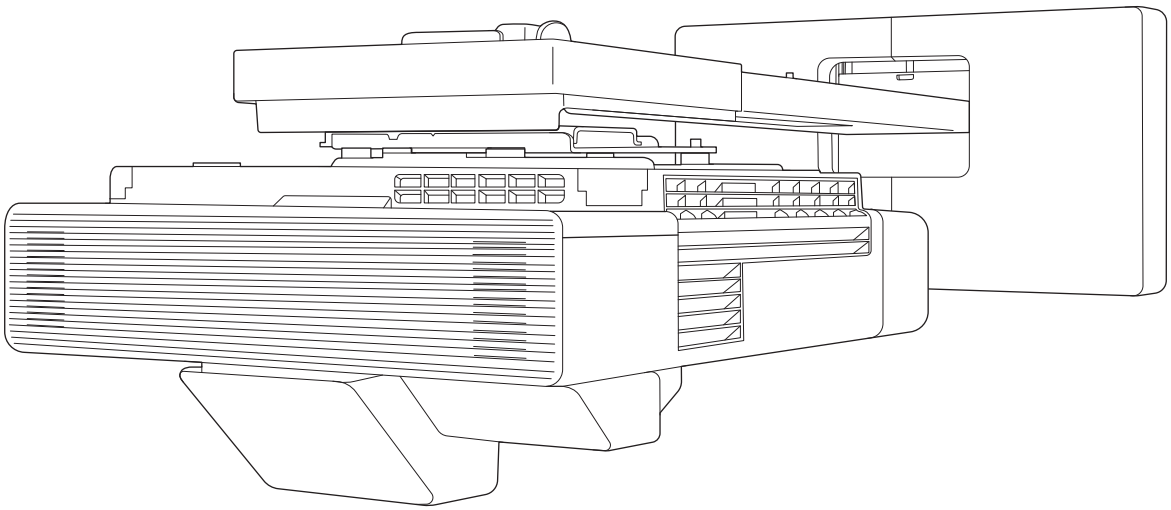
EPSON
EXCEED YOUR VISION

# EB-1485FT
# ELPMB62
# ELPFT01
# ELPMB63
# ELPHD02
# 設置工事説明書



## はじめに


**本書について ..... 1**

**安全にお使いいただくために ..... 2**

安全に関する表示 ..... 2

記号の意味 ..... 2

**同梱品一覧 ..... 3**

壁掛け金具 ..... 3

金具本体 ..... 3

付属品 ..... 4

タッチユニット ..... 5

同梱品以外に準備するもの ..... 6

タッチユニット取り付け金具 ..... 6

同梱品以外に準備するもの ..... 6

コントロールパッド ..... 7

同梱品以外に準備するもの ..... 7

ペンスタンド ..... 7

同梱品以外に準備するもの ..... 8

**設置の流れ ..... 9**

複数台のプロジェクターを並べて設置するとき ..... 10

**取り付け寸法図 ..... 11**

**接続図 ..... 13**

タッチユニットとコントロールパッドの接続 ..... 13

複数台のプロジェクター同士の接続 ..... 14

インタラクティブ機能を使うとき ..... 14

インタラクティブ機能を使わないとき ... 14


## 壁掛け金具設置


**壁掛け金具の設置に関するご注意 .... 16**

**壁掛け金具の設置場所に関するご注意 ..... 19**

**壁掛け金具仕様 ..... 21**

外形寸法 ..... 22

調整範囲 ..... 24

上下スライド ..... 24

水平スライド ..... 25

前後スライド ..... 25

ミニPC取り付け用プレート ..... 26

**壁掛け金具取り付け手順 ..... 27**

金具の取り付け ..... 28

設置位置を決める（投写距離表） ..... 28

調整ユニットをプロジェクターに取り付ける ..... 39

ウォールプレートを壁に取り付ける .... 41

セッティングプレートをウォールプレートに取り付ける ..... 43

セッティングプレートに調整ユニットを取り付ける ..... 47

周辺機器を取り付ける ..... 48

投写映像の位置調整 ..... 51

調整前の準備 ..... 52

自動画面調整 ..... 54

セッティングプレート調整ガイドを使った手動調整 ..... 57

プロジェクターメニューを使った調整 ... 61

カバーの取り付け ..... 66

セキュリティーケーブルの取り付け ..... 68


## プロジェクター設定


**一括設定機能 ..... 69**

USBメモリーを使って設定する ..... 69

設定値をUSBメモリーに保存する ..... 69

保存した設定値を他のプロジェクターに反映する ..... 70

コンピューターとプロジェクターをUSBケーブルで接続して設定する ..... 71

設定値をコンピューターに保存する .... 72

保存した設定値を他のプロジェクターに反映する ..... 73

設定がうまくいかないときは ..... 74

**本機を複数台並べて設置する（マルチプロジェクション） ..... 75**

プロジェクターID の設定 ..... 76

マルチプロジェクションの接続設定 ..... 77

インタラクティブ機能を使用する場合 ... 77

インタラクティブ機能を使用しない場合 . 79

HDMIリンク設定 ..... 80

マルチプロジェクションの映像調整 ..... 81

プロジェクターの同期設定（インタラクティブ機能を使う場合のみ） ..... 82

EDIDの設定（インタラクティブ機能を使う場合のみ） . . . . . 83

## コントロールパッド設置

**コントロールパッドに関するご注意 . . 84**

電波障害自主規制について . . . . . 85

JIS C 61000-3-2適合品 . . . . . 85

**コントロールパッド仕様 . . . . . 86**

外形寸法 . . . . . 86

ケーブル配線口 . . . . . 86

**コントロールパッド取り付け手順 . . . . 88**

## ペンスタンド設置

**ペンスタンドに関するご注意 . . . . . 91**

**ペンスタンド仕様 . . . . . 92**

外形寸法 . . . . . 92

**ペンスタンド取り付け手順 . . . . . 93**

マグネットで固定する場合 . . . . . 93

ネジで固定する場合 . . . . . 94

## インタラクティブペン調整

**インタラクティブペンの位置合わせ . . 95**

手動ペン位置合わせ . . . . . 95

自動ペン位置合わせ . . . . . 97

## タッチユニット設置

**タッチユニットに関するご注意 . . . . . 99**

電波障害自主規制について . . . . . 99

**タッチユニットの設置場所 . . . . . 100**

タッチユニット取り付け金具に関するご注意 . . . . . 101

**レーザーに関するご注意 . . . . . 102**

添付のラベルについて . . . . . 102

レーザー照射口 . . . . . 102

**タッチユニット仕様 . . . . . 103**

外形寸法 . . . . . 103

**タッチユニット取り付け金具仕様 . . 104**

外形寸法 . . . . . 104

調整範囲 . . . . . 105

**タッチユニット取り付け手順 . . . . . 106**

赤外線ディフレクターを取り付ける . . . . . 106

タッチユニットを取り付ける . . . . . 107

取り付け金具を使わずに投写面に取り付ける場合 . . . . . 107

取り付け金具を使って投写面以外に取り付ける場合 . . . . . 110

セキュリティーケーブルを取り付ける . . . 115

タッチユニットの電源を入れる . . . . . 116

レーザーの角度を調整する（タッチユニット自動調整） . . . . . 117

自動調整に失敗したときは . . . . . 123

指タッチ操作の位置合わせ . . . . . 126

## 付録

**安全規格対応シンボルマークと説明 129**

**商標について . . . . . 132**

# 本書について

本書では下記の内容を説明しています。

- 壁掛け金具（ELPMB62）を使った超短焦点プロジェクター（EB-1485FT）の取り付け方法
- タッチユニット（ELPFT01）の取り付け方法
- タッチユニット取り付け金具（ELPMB63）を使ったタッチユニットの取り付け方法
- コントロールパッド（ELPHD02）の取り付け方法
- ペンスタンドの取り付け方法

同梱されていない機器や金具はオプション品としてお買い求めいただけます。

# 安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくために、お使いの前に必ず本書をお読みください。本書の内容に反した取り扱いは故障や事故の原因となります。本書は、製品の不明点をいつでも解決できるように、手元に置いてお使いください。

プロジェクターの『取扱説明書』と『安全にお使いいただくために』も合わせてご確認いただき、取り扱いの注意事項をお守りください。

## 安全に関する表示

取扱説明書および本製品には、本製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。

その表示と意味は次のとおりです。内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

| 表示 | 意味 |
|---|---|
| 警告 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
| 注意 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

## 記号の意味

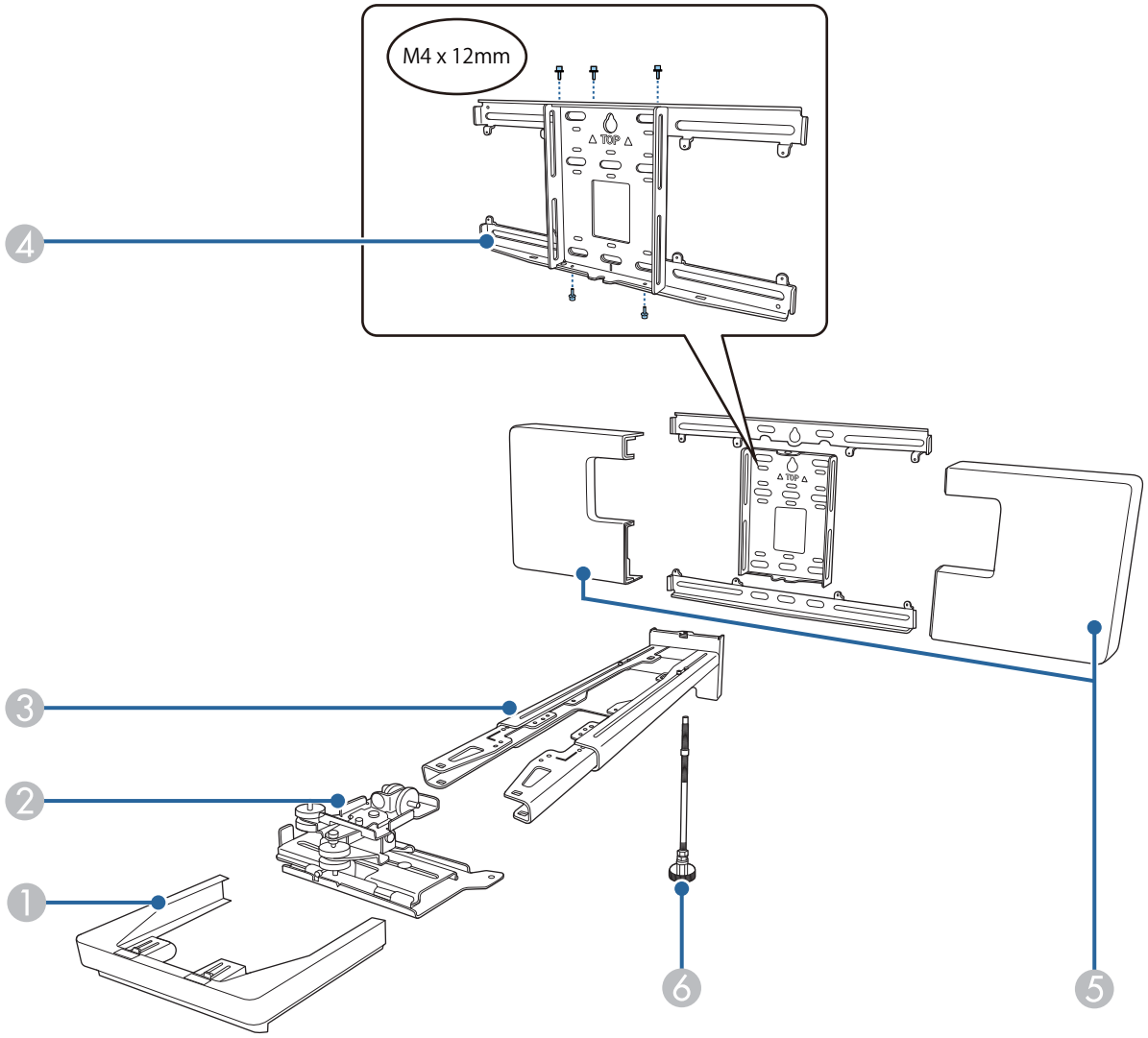
| 記号 | 意味 |
|---|---|
| | 行為を禁止する記号 |
| | 行為を指示する記号 |
| | 関連する情報や知っておくと便利な情報 |

# 同梱品一覧

取り付けに必要な同梱品がすべて揃っていることをご確認ください。

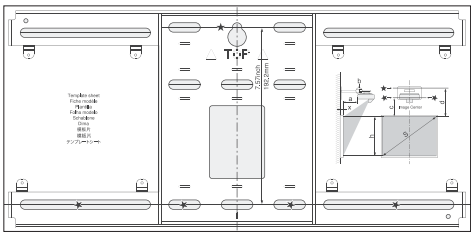
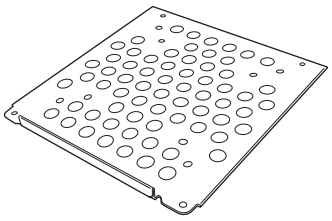
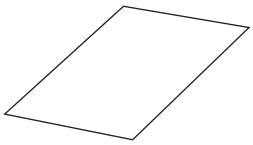
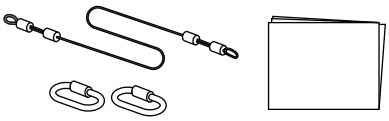
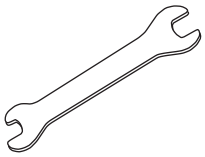
## 壁掛け金具

### 金具本体




| No. | パーツ名 |
|---|---|
| 1 | エンドキャップ |
| 2 | 調整ユニット |
| 3 | セッティングプレート |
| 4 | ウォールプレート |
| 5 | ウォールプレートカバー |
| 6 | 六角軸 |

## 付属品

| パーツ | 名称 | 用途 |
|---|---|---|
|  | テンプレートシート | ウォールプレートを取り付ける前に壁に貼りつけて、必要なネジ穴を開けるために使います。 |
|  | ミニPC用プレート | ミニPCやスティックPCを取り付けるときに、ウォールプレートに取り付けます。 |
| | ミニPC用ベルト | ネジ固定ができないミニPCやスティックPCを取り付けるときに、PCをプレートに固定するために使います。 |
| | ケーブル結束用ベルト | 配線後に余ったケーブルを束ねます。 |
|  | 目隠しシール | 設置後にセッティングプレートの隙間が気になるときに貼りつけます。 |
|  | セーフティーワイヤーセット | プロジェクターの落下を防ぐために、壁掛け金具とプロジェクターを繋ぎます。詳しい使い方はセーフティーワイヤーセットに付属の取扱説明書をご確認ください。 |
| | 六角レンチ（M4 用） | - |
|  | 両口スパナ<br>呼び13（M8、M6 用）、呼び6（六角軸用） | - |
| | M4 x 12mm　六角穴付きボルト ワッシャー/スプリングワッシャーあり（13本） | • p.3で示した図の通り、ウォールプレートを組み立てるために使います（5本）<br>• 調整ユニットをプロジェクターに固定するために使います（4本）<br>• 調整ユニットをセッティングプレートに固定するために使います（4本） |

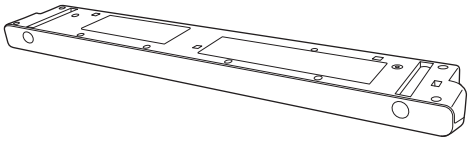
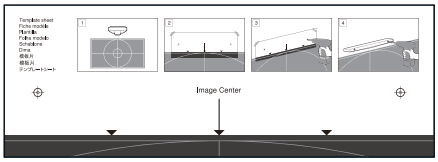
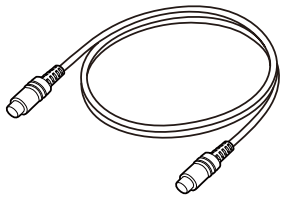
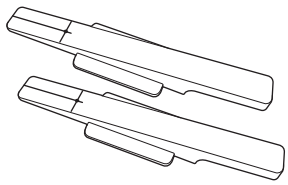
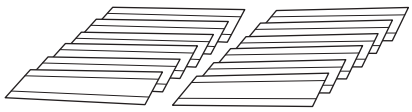
| パーツ | 名称 | 用途 |
|---|---|---|
| | M6 x 20mm　六角段付きボルト　ワッシャー/スプリングワッシャーあり（1本） | セッティングプレートをウォールプレートに固定するために使います。 |
| | M6 x 20mm　十字穴付き段付きネジ　プラスチックワッシャーあり（3本） | |
| | M3 x 6mm　十字穴付きネジ（4本） | ミニPC用プレートをウォールプレートに固定するために使います。 |

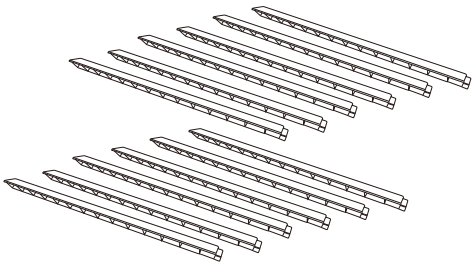
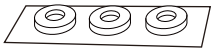
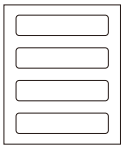
**同梱品以外に準備するもの**

- ウォールプレートを壁に固定するためのアンカーボルト等は市販品をご用意ください。
  - M10 または3/8インチx 60mmアンカーボルト（ウォールプレート固定用：4本以上）
  - M10ネジ（ウォールプレート仮留め用：1本）
- プロジェクターと接続するケーブル類やミニPC等の機器類は事前に揃えておきます。

  機器に応じた接続ケーブルは、プロジェクターの『取扱説明書』（Document CD-ROM内）をご覧ください。

## タッチユニット

| パーツ | 名称 | 用途 |
|---|---|---|
|  | タッチユニット本体 | - |
|  | テンプレートシート（タッチユニットネジ固定用） | タッチユニットをネジで固定する場合に事前に貼りつけて、必要なネジ穴を開けるために使います。 |
|  | タッチユニット接続ケーブル（約1.8m） | タッチユニットをプロジェクターに接続するために使います。 |
|  | マーカー2個 | タッチユニットから照射されるレーザーの角度調整を行うときに使います。 |
|  | マーカー固定用テープ（約6cm）12枚 | マーカーを投写面に固定するために使います。 |

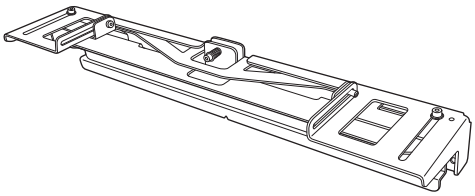
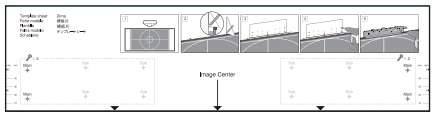
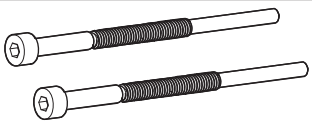
| パーツ | 名称 | 用途 |
|---|---|---|
|  | 赤外線ディフレクター（約28.5cm）12本 | 投写面の下部にトレイやフレームがあるときに使います。レーザーの反射による誤動作を防ぎます。 |
|  | ネジ穴用スペーサー 3個 | タッチユニットをネジで固定するときに、ネジ穴に貼りつけます。 |
|  | 目印ラベル4枚 | タッチユニットをマグネットで固定したあとに貼りつけます。使用中に位置がずれて再設置するときの目印になります。 |

### 同梱品以外に準備するもの

- タッチユニットをネジで固定する場合は、市販のM4ネジ（2本）をご用意ください。
- 投写面に赤外線ディフレクターが貼りつけられている場合は、はがさずにそのままお使いください。

## タッチユニット取り付け金具

タッチユニットを投写面以外に取り付けるときに使います。

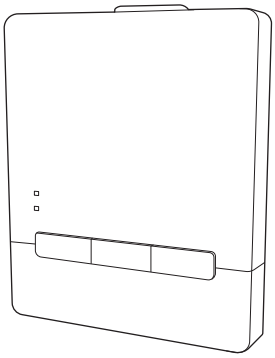
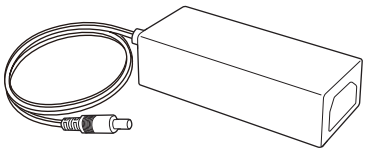
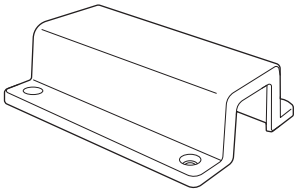
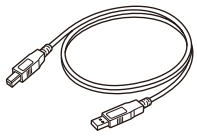
| パーツ | 名称 | 用途 |
|---|---|---|
|  | タッチユニット取り付け金具本体 | - |
|  | テンプレートシート（タッチユニット取り付け金具用） | 取り付け金具を固定する前に貼りつけて、必要なネジ穴を開けるために使います。 |
|  | 六角穴付きボルト M4 x 25mm 2本 | 取り付け金具にタッチユニットを固定するために使います。 |
| | 六角レンチ（M4 用） | - |

### 同梱品以外に準備するもの

取り付け金具を壁に固定するためのアンカーボルトまたはネジは、市販品をご用意ください。

- M4のアンカーボルト（4本）
- 直径3.8mm、全長45mm以上の木ネジ（4本）

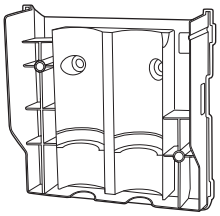
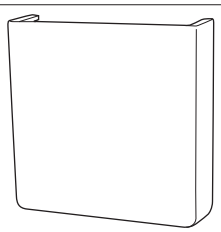
## コントロールパッド

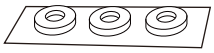
| パーツ | 名称 | 用途 |
|---|---|---|
|  | コントロールパッド本体 | - |
| | 電源ケーブル<br>（約3m） | コントロールパッドの給電に使います。 |
|  | ACアダプター | |
|  | ACアダプターホルダー | ACアダプターを壁に固定するために使います。 |
|  | USBケーブル（約1.8m） | コントロールパッドとコンピューターを接続するために使います。 |

### 同梱品以外に準備するもの

コントロールパッドを壁に固定するためのM4x 20mmネジ（4本）は市販品をご用意ください。

## ペンスタンド

| パーツ | 名称 | 用途 |
|---|---|---|
|  | 本体 | - |
|  | カバー | ペンスタンドの前面に取り付けます。 |

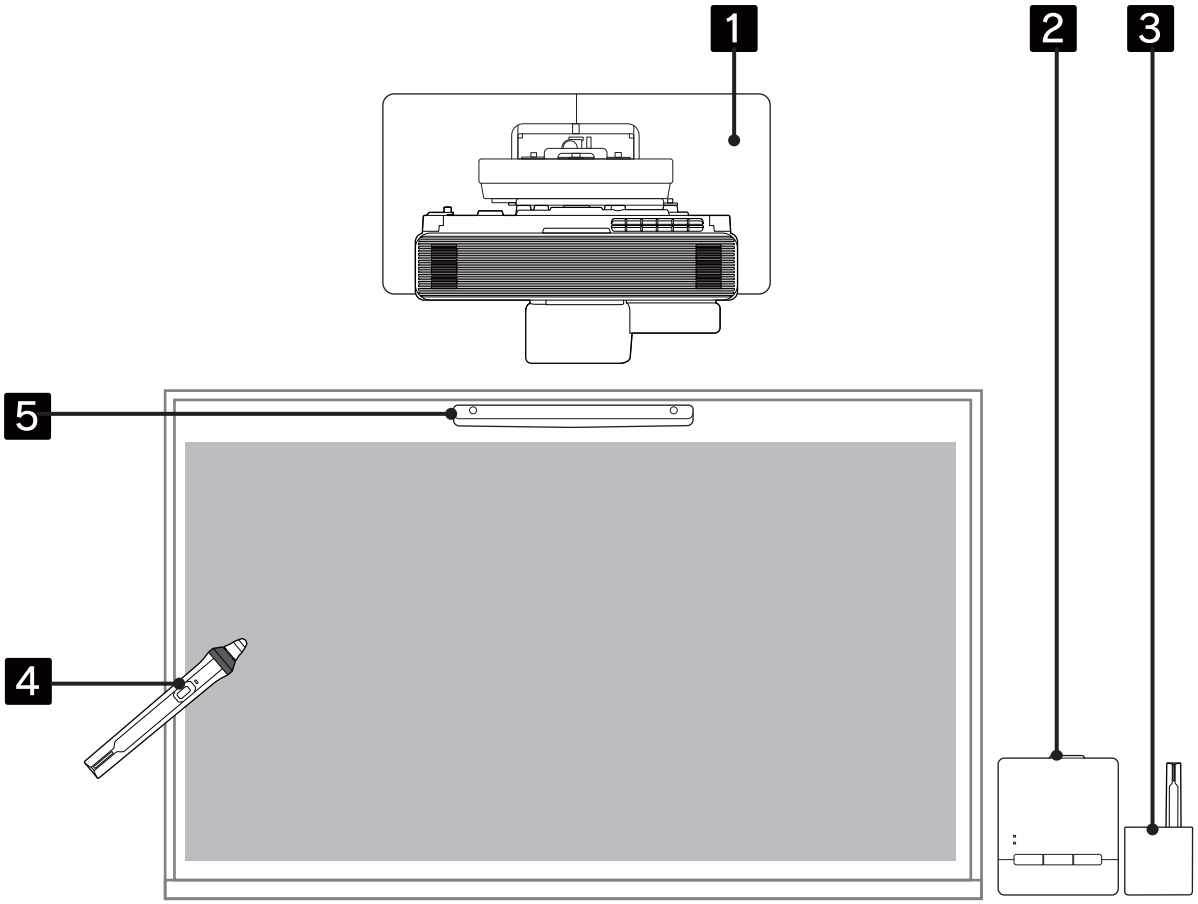
| パーツ | 名称 | 用途 |
| --- | --- | --- |
|  | ネジ穴用スペーサー 3個 | ペンスタンドをネジで固定するときに、ネジ穴に貼りつけます。 |

## 同梱品以外に準備するもの

ペンスタンドをネジで固定するときは、市販のM4 x 20mmネジ（2本）をご用意ください。

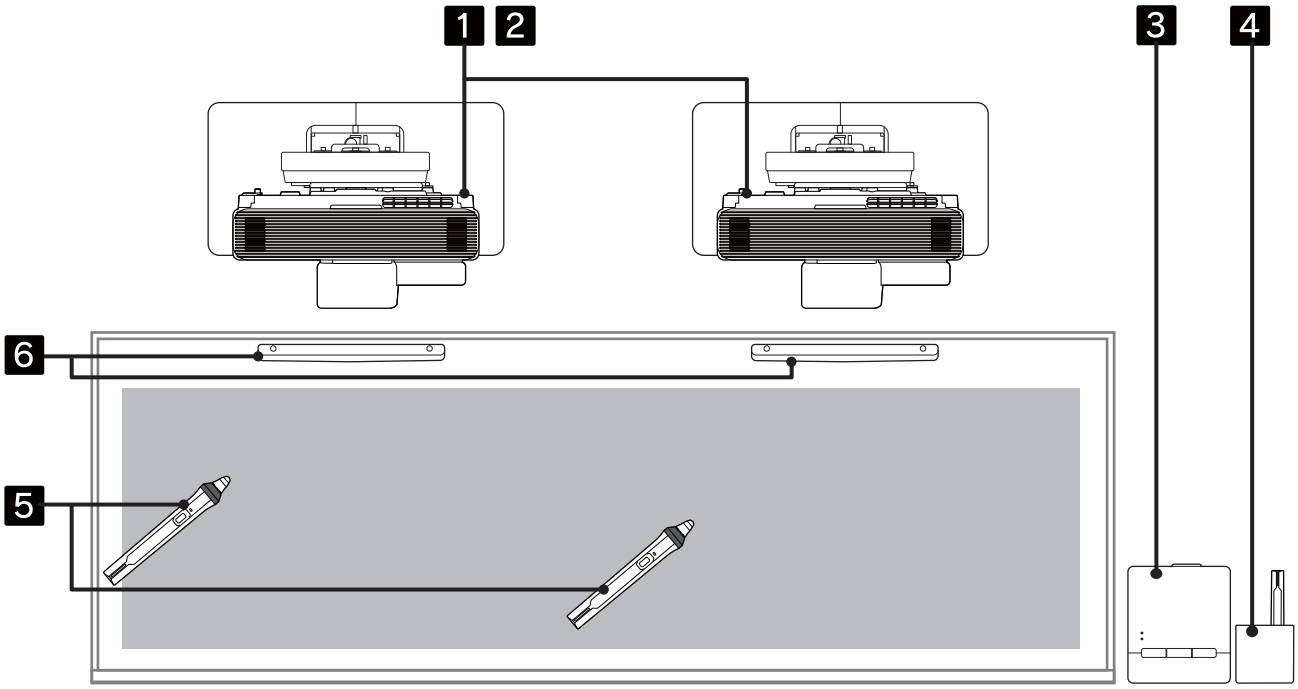
# 設置の流れ

プロジェクターや周辺機器の取り付けは、下記の順番で行うことをお勧めします。




1 プロジェクターの壁掛けと調整（☛ p.16 ）
2 コントロールパッドの取り付け（☛ p.84 ）
3 ペンスタンドの取り付け（☛ p.91 ）
4 ペンの位置合わせ（☛ p.95 ）
5 タッチユニットの取り付けと調整（☛ p.99 ）

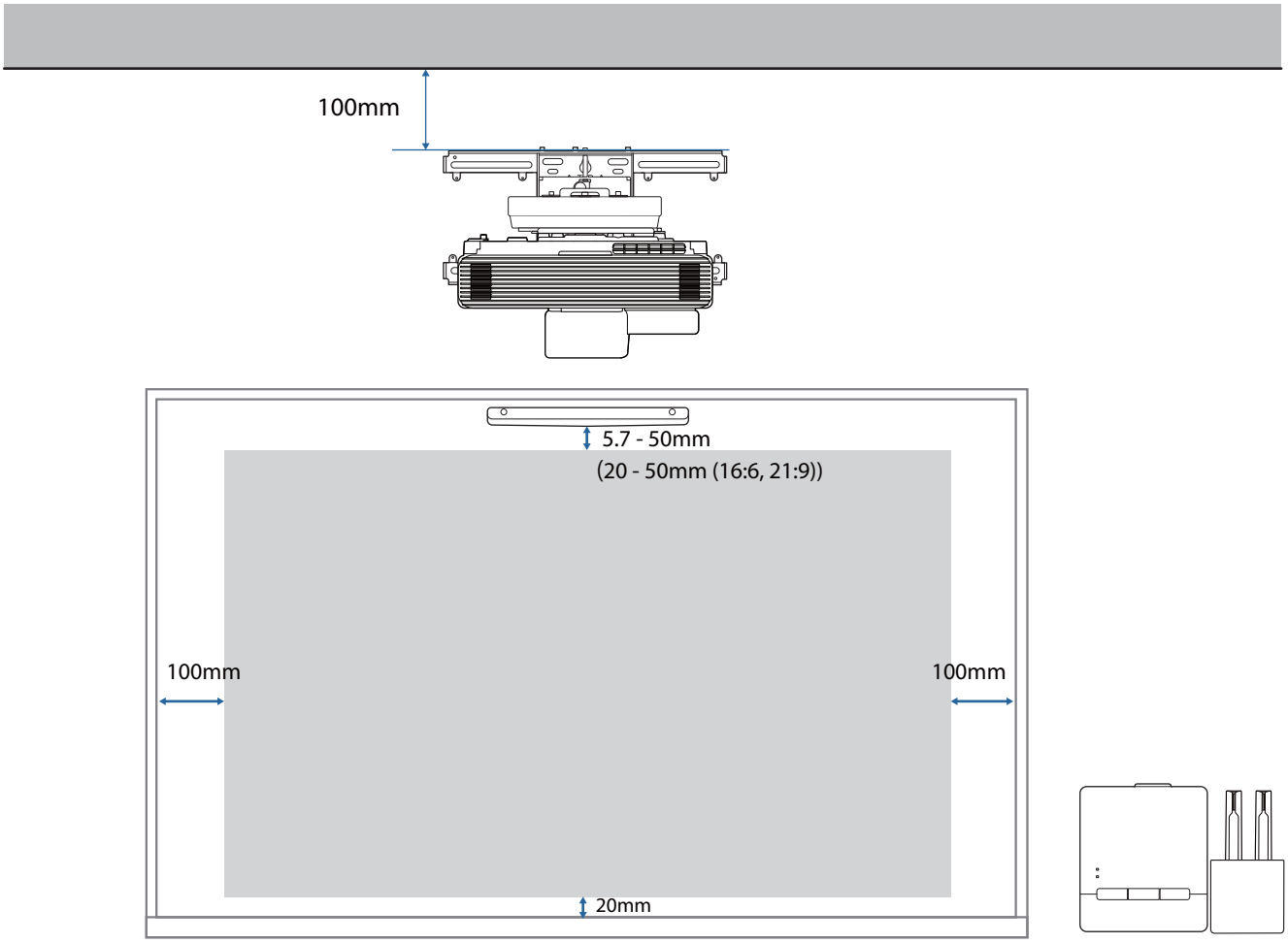
## 複数台のプロジェクターを並べて設置するとき



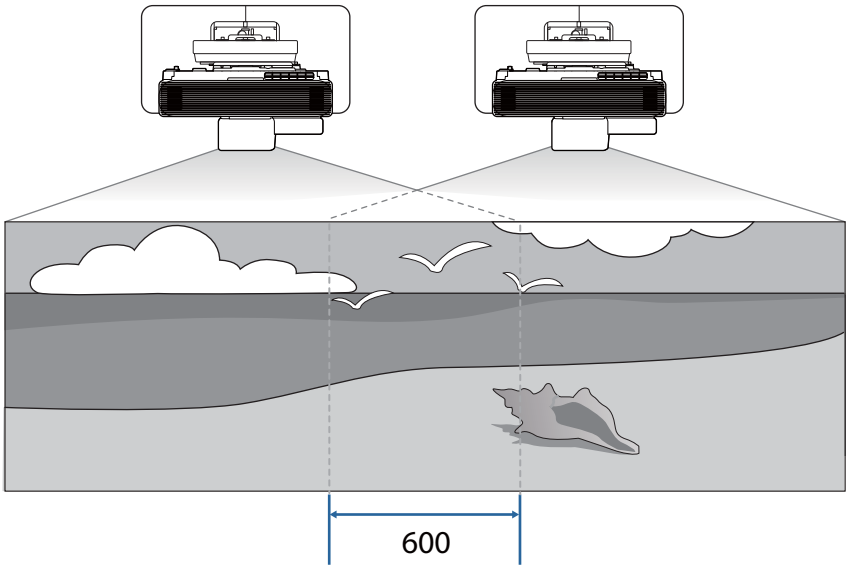

1 すべてのプロジェクターの壁掛け設置（☛ p.16 ）
2 マルチプロジェクション設定（☛ p.75 ）
3 コントロールパッドの取り付け（☛ p.84 ）
4 ペンスタンドの取り付け（☛ p.91 ）
5 ペンの位置合わせ（☛ p.95 ）
6 タッチユニットの取り付けと調整（☛ p.99 ）

# 取り付け寸法図

- プロジェクターとタッチユニットを取り付ける際に必要なスペースは以下のとおりです。
  - 天井からウォールプレート上端までの間を約100mm空けると、プロジェクターの設置や取り外し時に作業しやすくなります。
  - タッチユニットを使用する場合は、投写画面の端からスクリーンの端までが下図のとおり空くようにプロジェクターを取り付けてください。




- 複数台のプロジェクターを並べて横長の画面を投写するときは、エッジブレンディング機能で映像のつなぎ目を目立たないようにします。アスペクト比3:1の画面を投写するときは、［エッジブレンディング］の［ブレンド範囲］を600に設定してください。

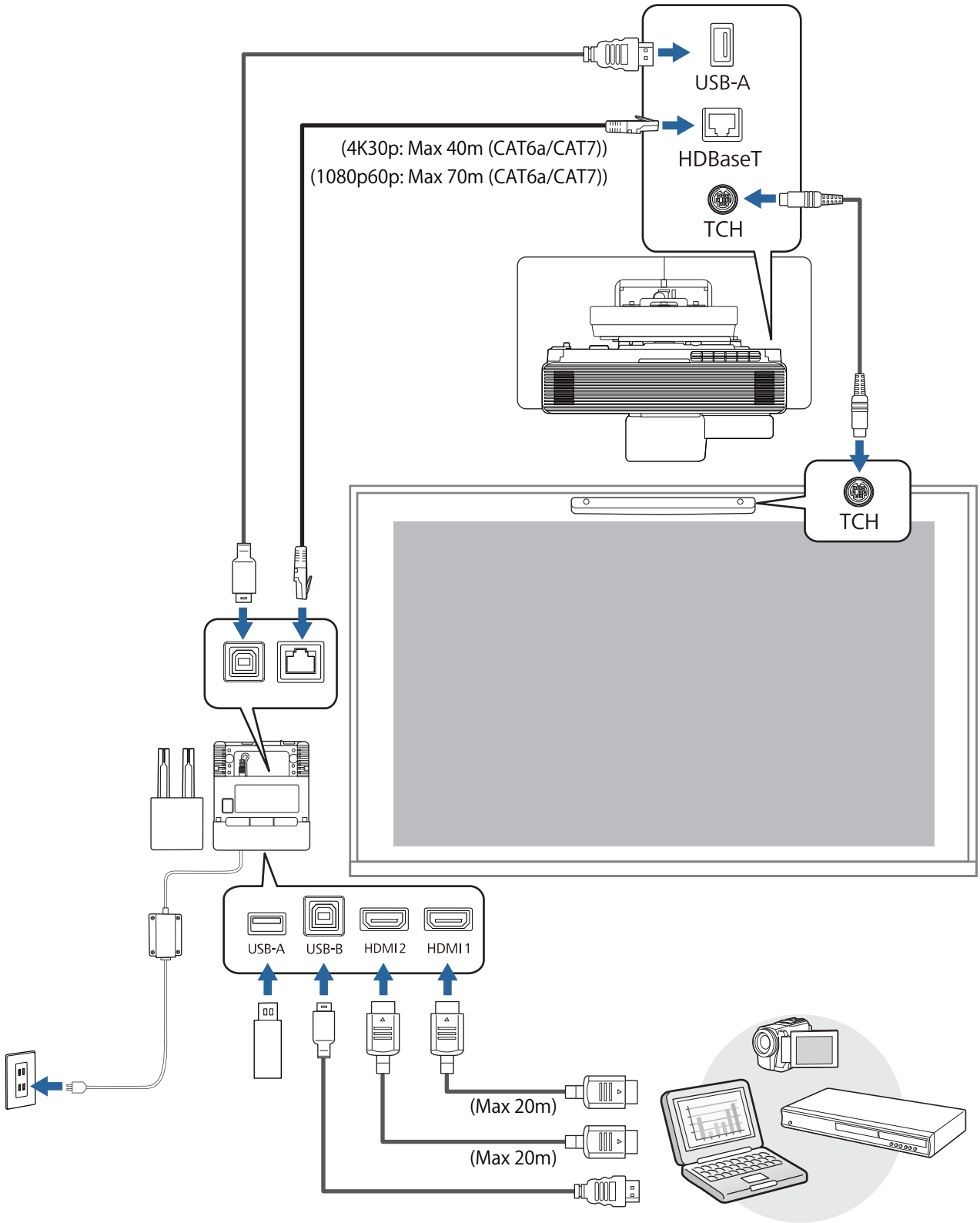

600

# 接続図

## タッチユニットとコントロールパッドの接続

タッチユニットとコントロールパッドを使用するときに必要なケーブルは以下のとおりです。

プロジェクターとコントロールパッドを接続するためのLANケーブルとUSBケーブルは市販品をご用意ください。

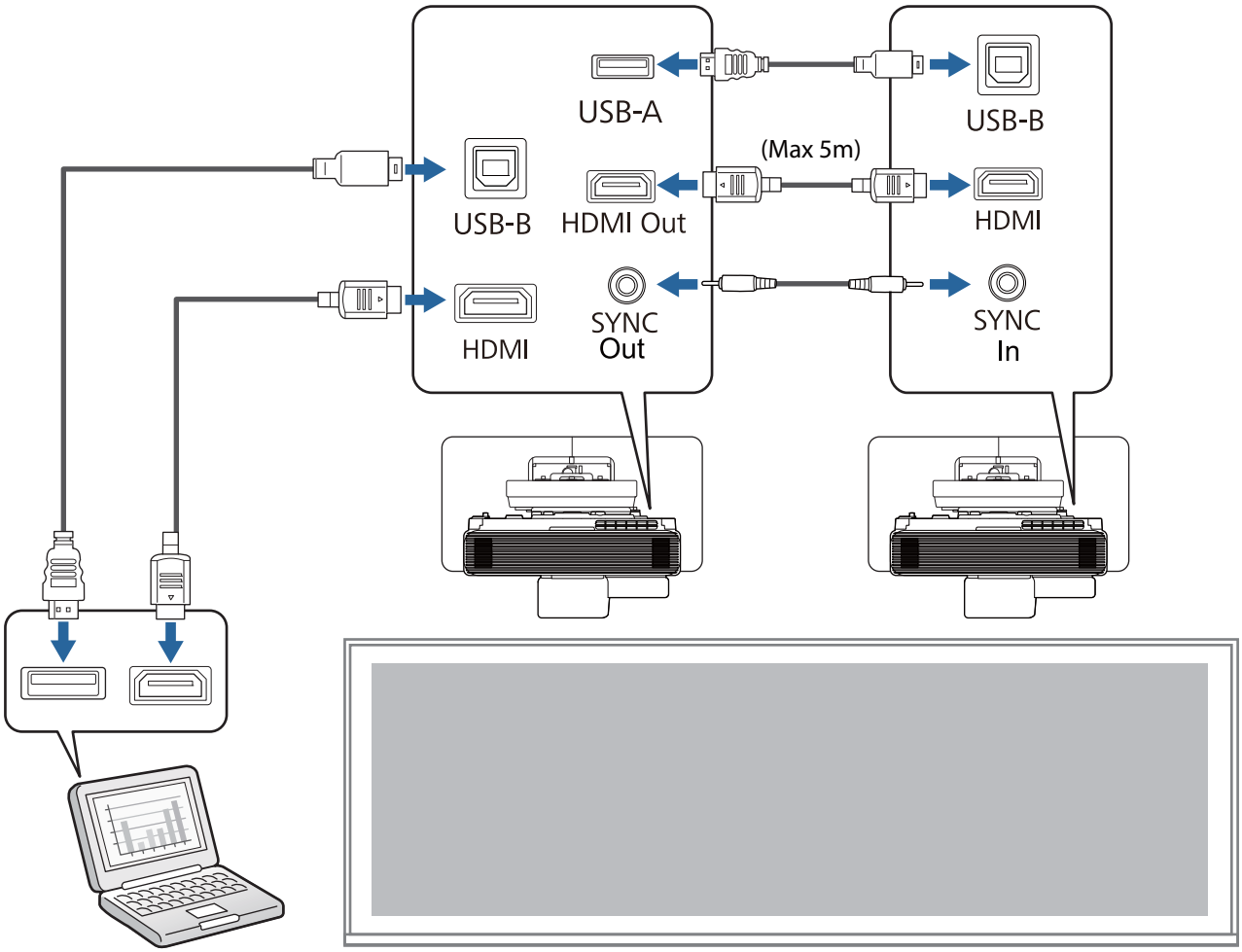


## 複数台のプロジェクター同士の接続

複数のプロジェクターを並べて使うときに必要なケーブルは以下のとおりです。
他に必要なケーブルがある場合は、『取扱説明書』をご確認ください。

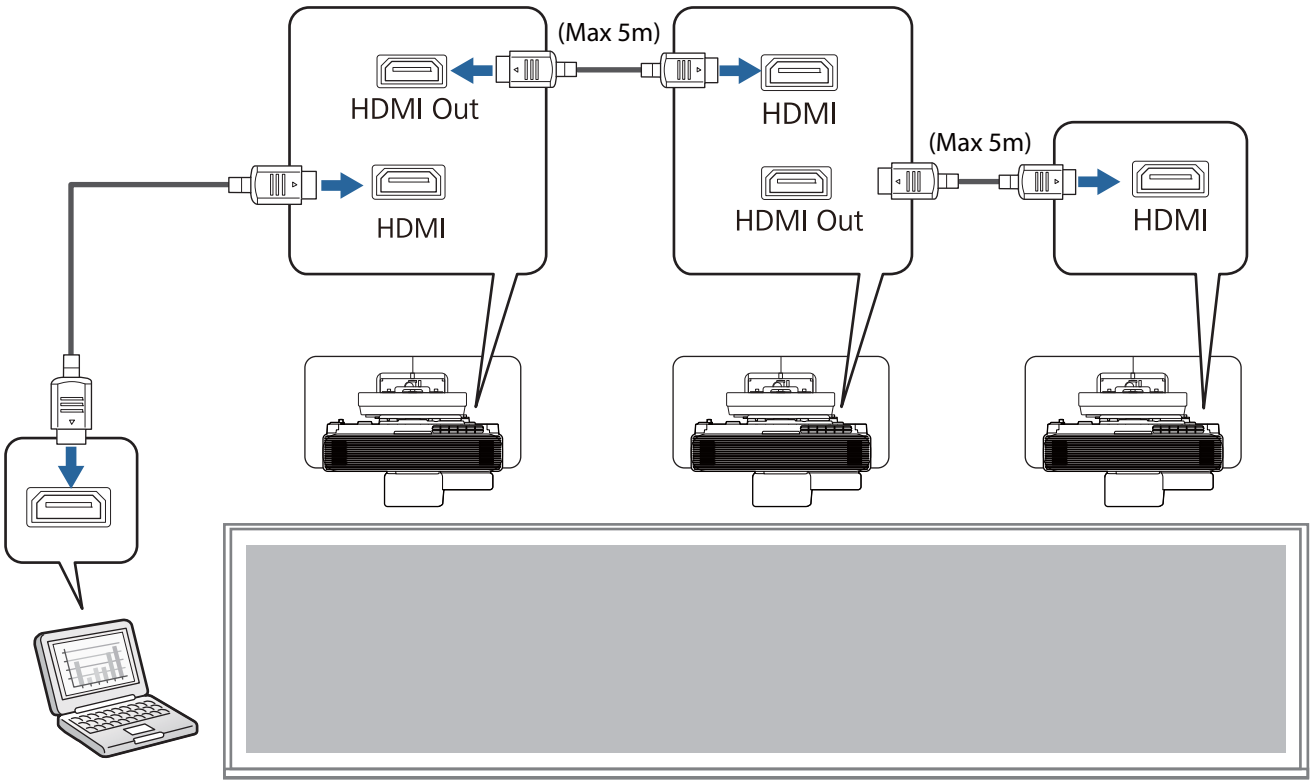
### インタラクティブ機能を使うとき

インタラクティブ機能を使う場合は、2台までのプロジェクターを並べて設置できます。




### インタラクティブ機能を使わないとき

インタラクティブ機能を使わない場合は、2～4台までのプロジェクターを並べて設置できます。
下図は3台を並べた場合の接続例です。


(Max 5m)
HDMI Out
HDMI
HDMI
HDMI Out
(Max 5m)
HDMI

# 壁掛け金具の設置に関するご注意

| ⚠ 警告 | |
|---|---|
| **壁掛け金具はプロジェクターの壁掛け設置専用品です。プロジェクター以外のものを取り付けるとその重さによっては破損することがあります。**<br>本製品が壊れて落下すると、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。 | ❗ |
| **壁への取り付け（壁掛け設置）工事は、特別な技術が必要です。正しく工事が行われないと、落下によりけがや事故の原因となります。** | ❗ |
| **壁掛け設置工事は、本書で指定したボルトやネジを使用して、本書に記載の手順で行ってください。**<br>記載事項を守らないと、本製品が落下し、けがや事故の原因となります。 | ❗ |
| **電源コードの取り扱いには注意してください。**<br>取り扱いを誤ると、火災・感電の原因となります。取り扱いの際には、次の点を守ってください。<br>• 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない。<br>• 破損や加工した電源コードを使用しない。<br>• 電源コードをセッティングプレートに通すときは、強い力で引っ張らない。 | ❗ |
| **振動や衝撃が伝わる不安定な場所には設置しないでください。**<br>本製品や設置面が破損するおそれがあります。また、本製品が落下して人が死亡または重傷を負うおそれがあります。 | ⃠ |
| **壁に取り付ける際は、プロジェクターと壁掛け金具の質量および横揺れにも十分耐えられるように取り付けてください。ナット・ボルト等はM10または3/8インチx60mmを使用してください。**<br>M10または3/8インチx60mmより小さいと落下事故の原因となります。取り付けの強度不足等による落下事故につきましては、当社は一切責任を負いませんのでご了承ください。 | ❗ |
| **本製品は必ず二人以上の専門業者で設置してください。設置中にネジ類を緩めるときは、本製品が落下しないように取り扱ってください。**<br>本製品が落下して、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。 | ❗ |
| **本製品を壁に取り付けるときは、プロジェクターと壁掛け金具を支えるために壁には十分な強度が必要です。**<br>本製品はコンクリートの壁に取り付けてください。<br>プロジェクターと壁掛け金具の最大総重量は、約18.9kgです（ケーブル類含まず）。<br>本製品を壁に設置する前に、壁の強度を確保してください。強度不足のときは、十分に補強してから設置してください。 | ❗ |
| **定期的に、破損箇所やネジ類の緩みがないか点検してください。**<br>破損箇所があるときはすぐに使用を中止してください。本製品が落下して、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。 | ⃠ |
| **本製品の分解・改造は絶対にしないでください。**<br>内部には電圧の高い部分が数多くあり、火災・感電・事故の原因となります。 | ⃠ |
| **本製品にぶら下がらないでください。また、重い物をぶら下げないでください。**<br>本製品が壊れて落下すると、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。 | ⃠ |

| ⚠ 警告 | |
|---|---|
| **壁掛け金具の設置や調整を行うときは、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などを使用しないでください。**<br>プロジェクターの金具固定部にネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などが付着するとケースが割れ、プロジェクターが落下して事故やけがの原因となります。 | |
| **調整後はすべてのネジを完全に締め直してください。**<br>十分に締めないと落下によりけがや事故の原因となります。 | |
| **設置後は、ボルト・ナットを絶対に緩めないでください。**<br>また、定期的にネジ類の緩みがないことを確認してください。万一、緩みがあるときは、確実に締め直してください。十分に締めないと落下によりけがや事故の原因となります。 | |
| **ケーブルはネジやボルトを避けて配線してください。**<br>ケーブルの取り扱いを誤ると、火災・感電の原因となります。 | |
| **プロジェクターの電源を入れるときは、絶対に投写レンズをのぞかないでください。**<br>強い光で目を痛めるなどの原因となります。小さなお子様のいる場所では特に注意してください。離れた場所からリモコンを使ってプロジェクターの電源を入れるときは、投写レンズをのぞいている人がいないことを確認してから電源を入れてください。 | |
| **プロジェクターを使用するときは、プロジェクターの投写レンズにものを置いたり、手を近づけたりしないでください。**<br>投写光が集束するため高温になり危険です。 | |
| **可燃性ガスおよび爆発性ガスなどが大気中に存在するおそれのある場所で使用しないでください。**<br>プロジェクター内部が高温になっているため、引火による火災の原因となります。 | |
| **プロジェクターのメンテナンスや修理をするときは、必ず工事専門業者がプロジェクターの取り外しと再設置を行ってください。**<br>プロジェクターのメンテナンスおよび修理の方法は、プロジェクターの『取扱説明書』を参照してください。 | |
| **本製品に異常が発生したときは、すぐに本製品に接続しているケーブルを抜いて、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンターにご相談ください。**<br>そのまま使用を続けると、火災・感電・視力障害の原因となります。 | |

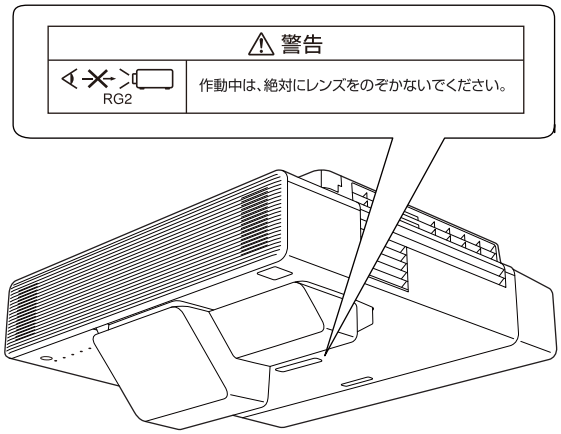
## ⚠ 警告

**本機の内部および外部にはレーザー警告ラベルが貼られています。**

内部

外部

投写中は、投写レンズから放射されるレーザービームをのぞかないでください。(JIS C 6802:2014に準拠)




**本機のケースを開けないでください。**

内部に高出力レーザー製品が組み込まれています。

**本機の光源を直接見ないでください。**

強い光が視力障害などの原因となります。

## ⚠ 注意

**ご使用になるプロジェクター機種の使用温度範囲を超える場所には設置しないでください。**

故障の原因となります。

**レンズや内部の光学部品に汚れが付着しないように、ホコリや湿気の少ないところに設置してください。**

**本製品を調整するときは無理な力を加えないでください。**

本製品が壊れてけがの原因となることがあります。

**本機はJIS C 6802:2014に適合したクラス1レーザー製品です。**

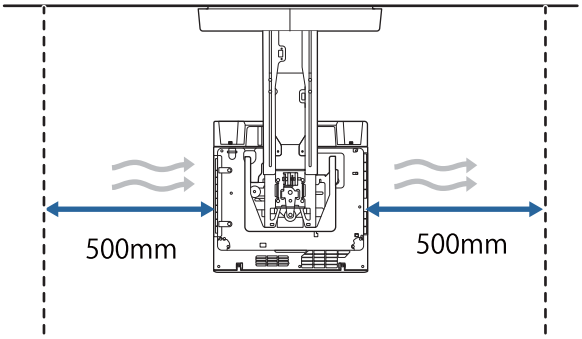
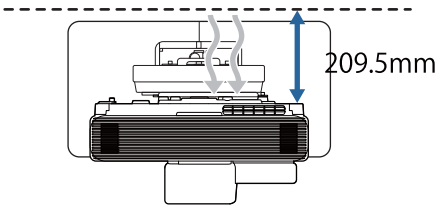
**電源プラグをつなぐ前に、必ず接地接続を行ってください。また、接地接続を外すときは、電源プラグを外してから行ってください。**

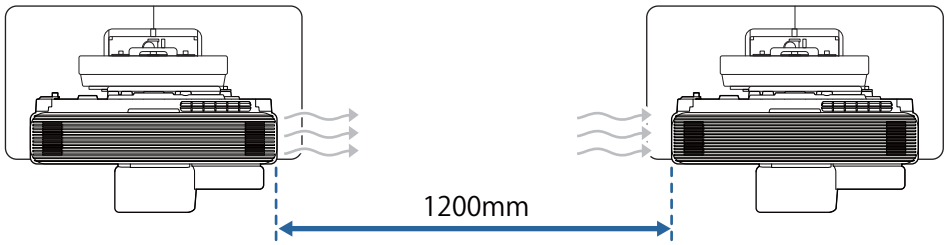
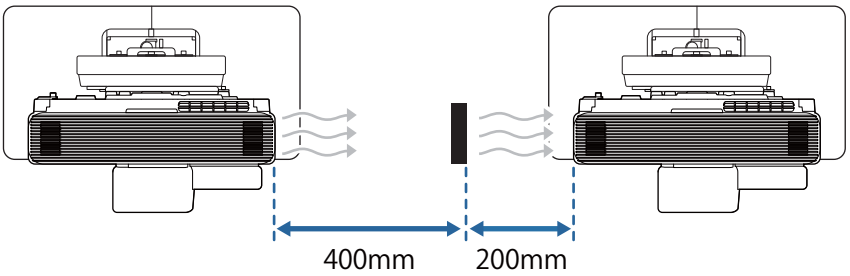
**本機を廃棄する場合は分解しないでください。**

国や地域の法令や条例に従って廃棄してください。

# 壁掛け金具の設置場所に関するご注意

| ⚠ 警告 | |
|---|---|
| **油煙やイベント用スモークがあたる場所に設置しないでください。**<br>プロジェクターの金具固定部に油などが付着するとケースが割れ、プロジェクターが落下して事故やけがの原因となります。 | ⃠ |

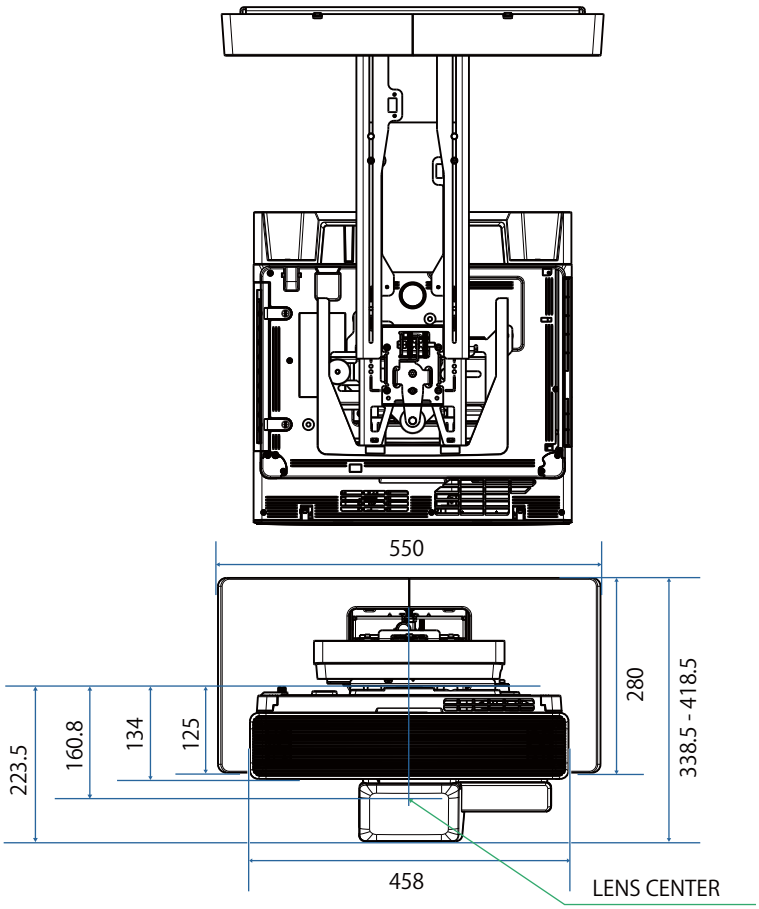
| ⚠ 注意 | |
|---|---|
| **太陽光が直接当たる場所には、プロジェクターやスクリーンを設置しないでください。**<br>太陽光がプロジェクターやスクリーンに直接当たると、インタラクティブ機能が正しく動作しないことがあります。 | ⃠ |
| **プロジェクターを設置する場所に、あらかじめ電源工事を済ませておいてください。** | ❗ |
| **プロジェクターを設置する場所は、蛍光灯・エアコンなど他の電気製品から離してください。**<br>蛍光灯の種類によっては、リモコンやペンが誤動作することがあります。 | ❗ |
| **プロジェクターを設置するときは、プロジェクターの排気口や吸気口を壁などから下図のとおり離してください。**<br>  <br>  | ❗ |
| **2台以上のプロジェクターを並べて設置するときは、35℃以下の環境に設置してください。**<br>高温の環境で使用すると、プロジェクターが高温になり突然電源が切れることがあります。 | ❗ |

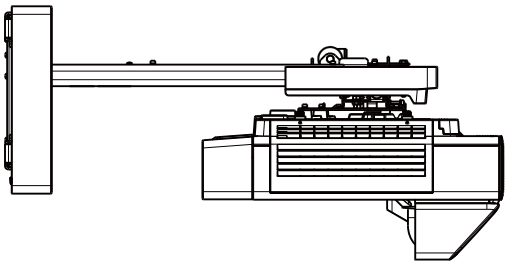
| ⚠ 注意 | |
|---|---|
| **2台以上のプロジェクターを並べて設置するときは、プロジェクター同士の間を約1200mm空けてください。**<br>  <br><br>約1200mmのスペースを確保できない場合は、排気口から出た熱を遮るための仕切りを取り付けます。<br>仕切りは排気口よりも縦横それぞれ約20mm大きくし、排気口から約400mm、吸気口から約200mmの位置に取り付けます。<br>  <br> | ❗ |
| **プロジェクターの傾きが、スクリーンに対してタテ・ヨコ+3度または-3度以内になるように設置してください。** | ❗ |
| **インタラクティブ機能を使用するときは、手の届く範囲に投写されるように設置してください。** | ❗ |
| **外部ノイズの影響を少なくするために、パソコン等と接続するケーブルは20m以下になるようにプロジェクターを配置することをお勧めします。** | ❗ |
| **貼付型スクリーン、またはボード型スクリーンの使用をお勧めします。** | ❗ |

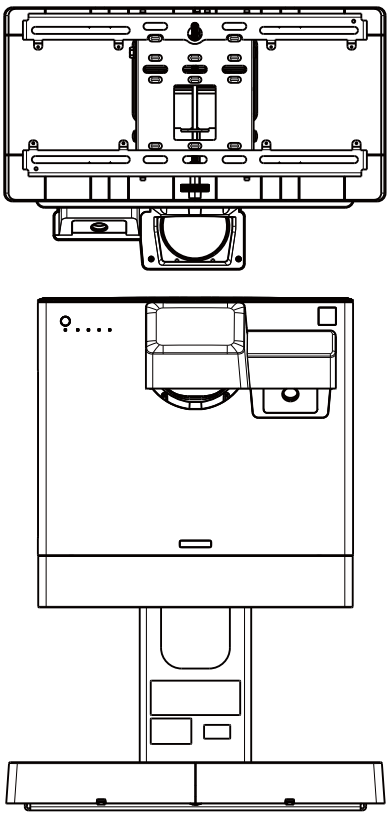
# 壁掛け金具仕様

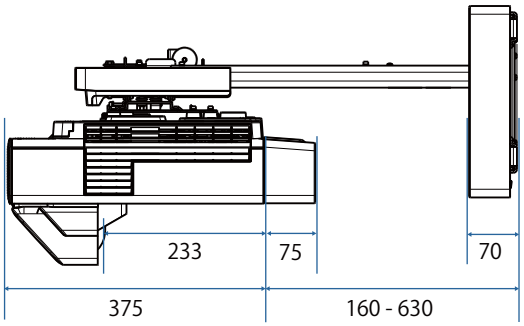
| 項目 | 仕様 |
|---|---|
| 壁掛け金具質量（セッティングプレート、六角軸、調整ユニット、ウォールプレート、ウォールプレートカバー、エンドキャップ） | 約9.2kg |
| 最大荷重 | 約15.0kg |

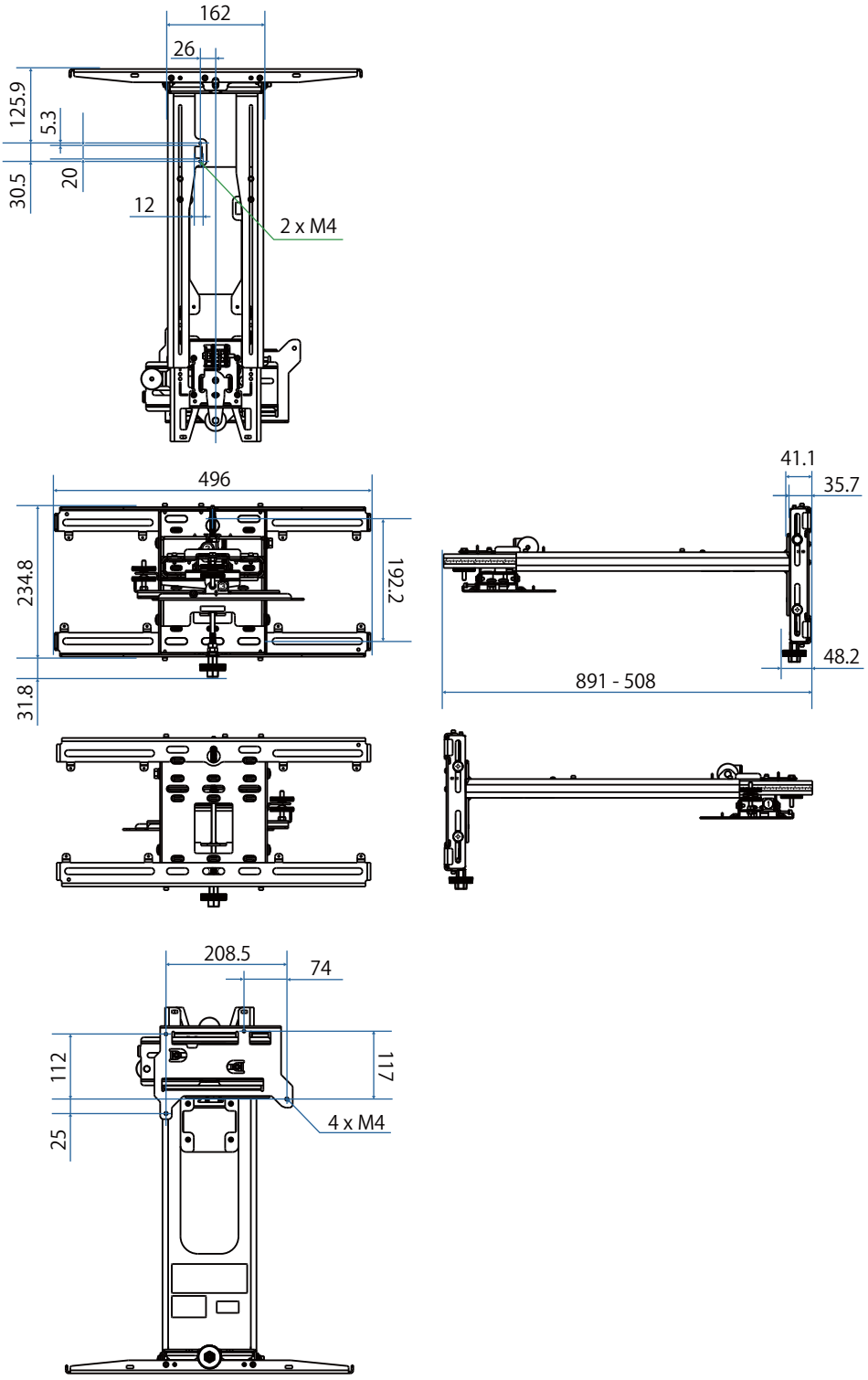
## 外形寸法

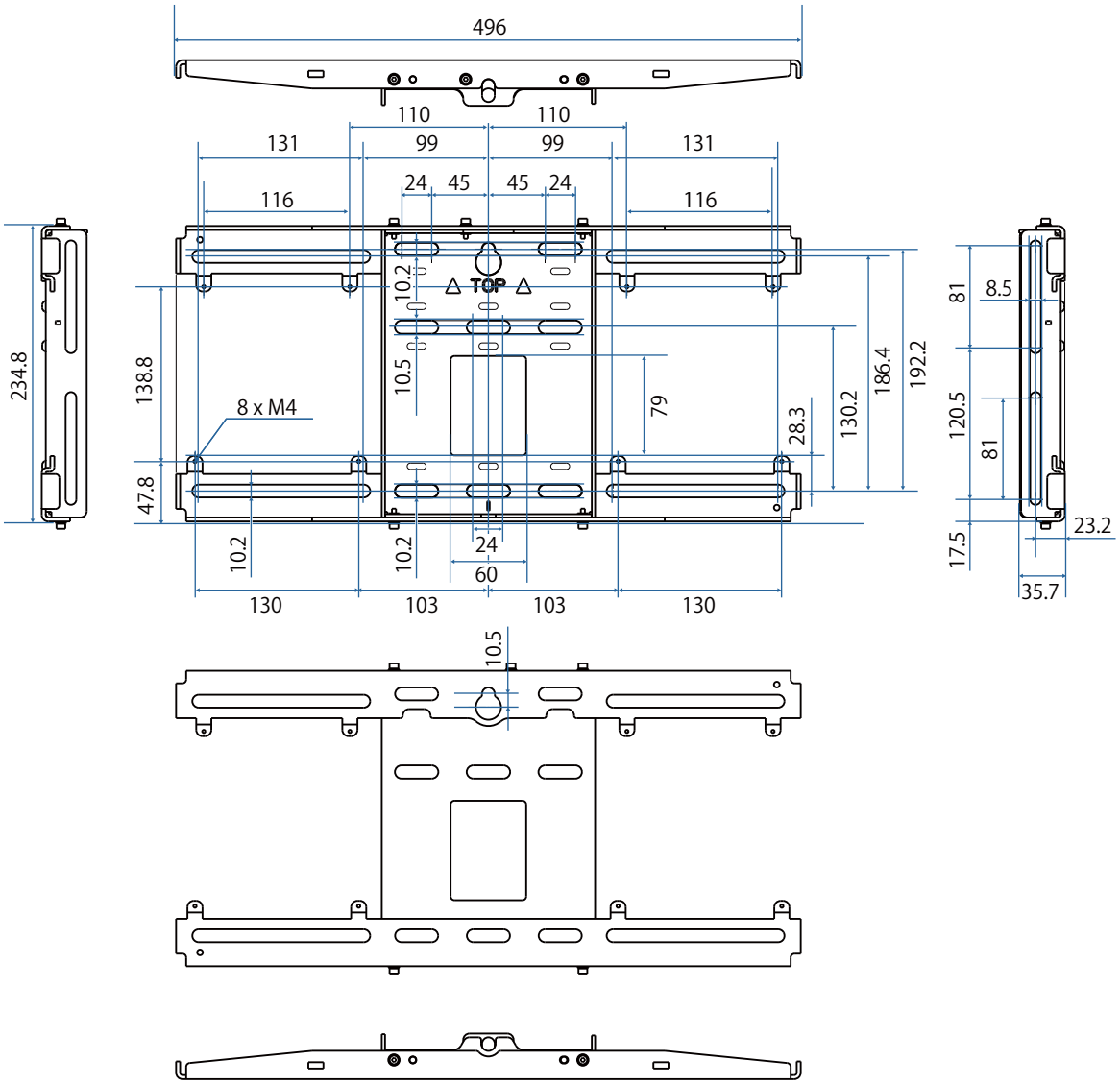

550
223.5
160.8
134
125
280
338.5 - 418.5
458
LENS CENTER





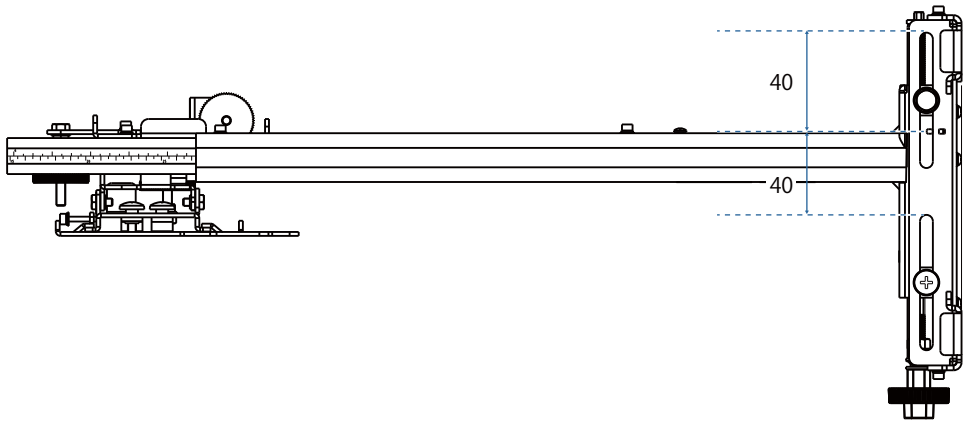

233
75
70
375
160 - 630


162
26
125.9
5.3
30.5
20
12
2 x M4
496
234.8
192.2
31.8
41.1
35.7
48.2
891 - 508
208.5
74
112
117
25
4 x M4

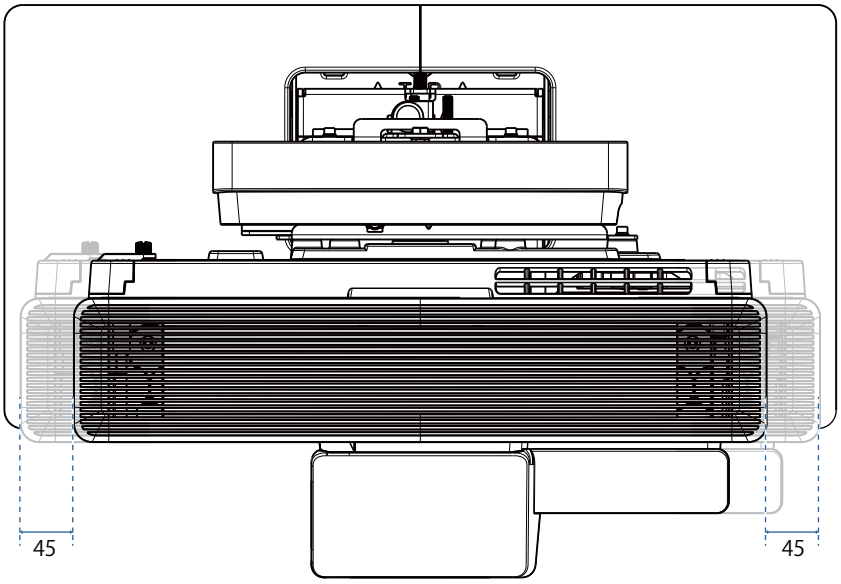

496
110
110
131
99
99
131
116
24
45
45
24
116
TOP
234.8
138.8
8 x M4
47.8
10.2
10.5
79
28.3
130.2
186.4
192.2
81
8.5
120.5
81
17.5
23.2
35.7
10.2
10.2
24
60
130
103
103
130
10.5

## 調整範囲

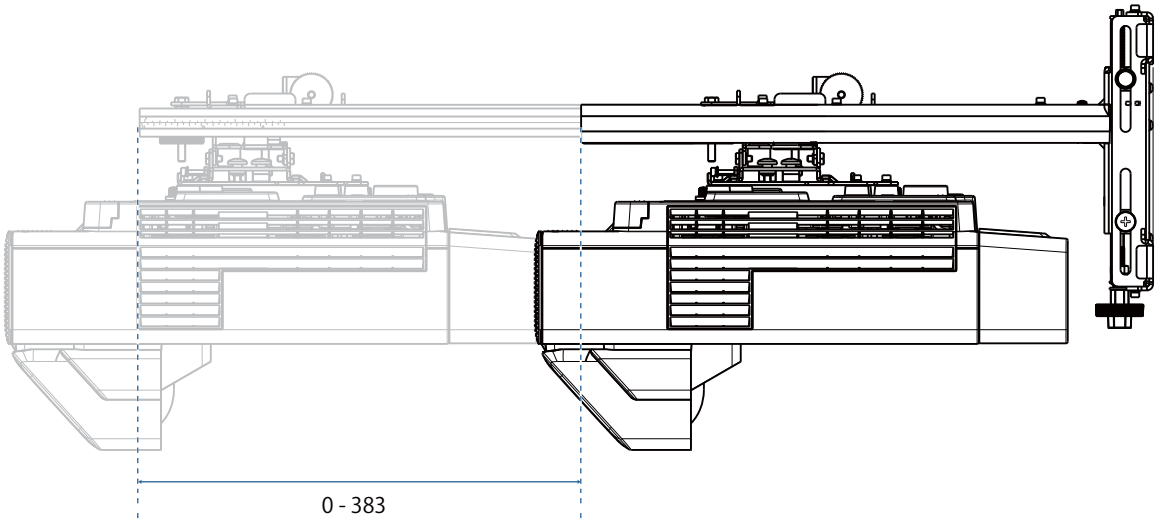
### 上下スライド


40
40

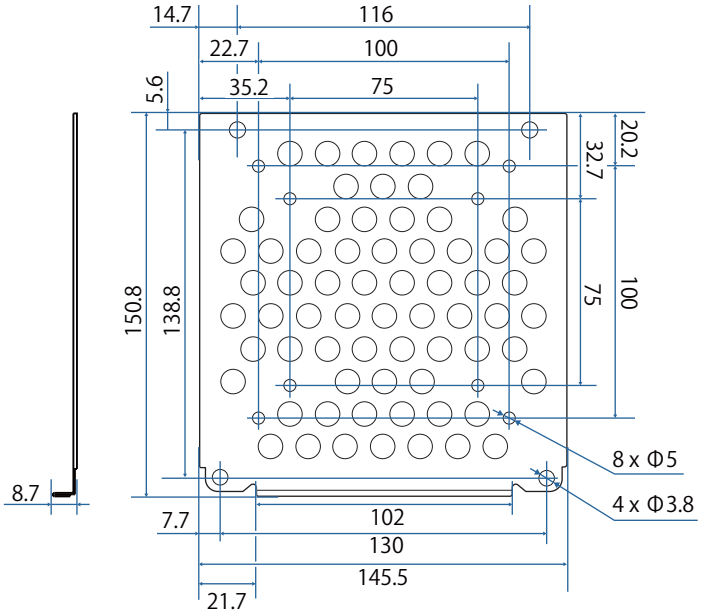
## 水平スライド




## 前後スライド



## ミニPC取り付け用プレート



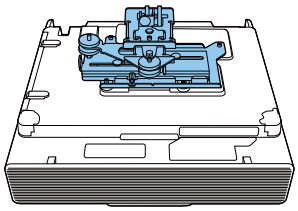

| 項目 | 仕様 |
|---|---|
| PC取り付け用ネジ穴（VESA規格対応） | 75mm x 75mm<br>100mm x 100mm |
| 取り付け可能なPCサイズ | 150mm x 150mm x 44mm以内 |
| 取り付け可能なPC重量 | 0.7kg以下 |

# 壁掛け金具取り付け手順

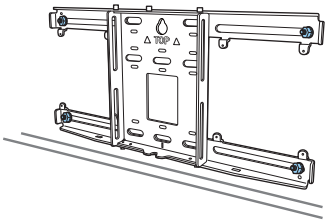
壁掛け金具は以下の流れで取り付けます。

ケーブル類の配線は金具を取り付ける前に済ませてください。

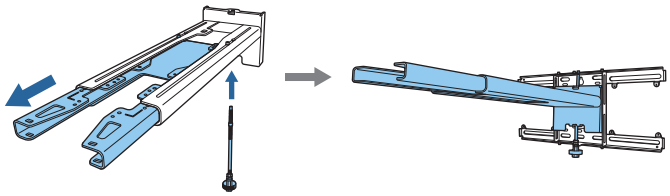
1. 投写距離表を確認して設置位置を決める（☛ p.28）
2. 調整ユニットをプロジェクターに取り付ける（☛ p.39）



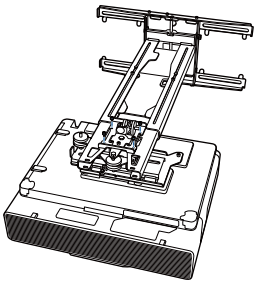
3. ウォールプレートを壁に取り付ける（☛ p.41）



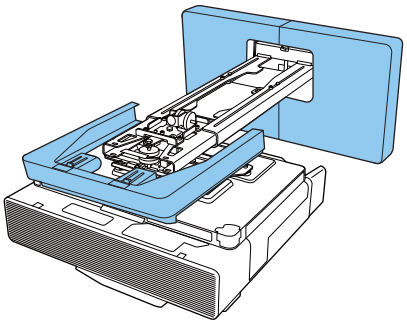
4. セッティングプレートのアームの長さを調整してから、ウォールプレートに取り付ける（☛ p.43）



5. セッティングプレートに調整ユニットを取り付けて、ケーブルや周辺機器を接続する（☛ p.47）



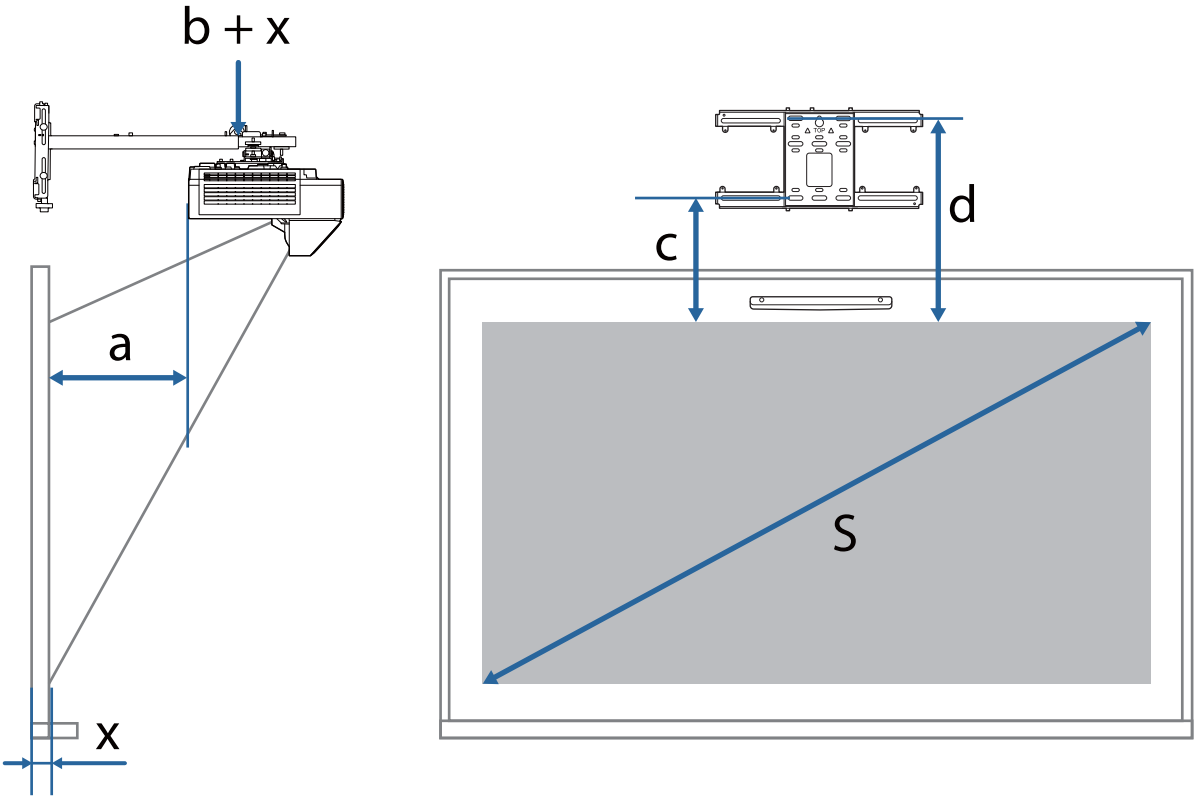
6. 映像の位置を調整する（☛ p.51）
7. カバー類を取り付ける（☛ p.66）



# 金具の取り付け

## 設置位置を決める（投写距離表）

投写したい画面サイズ（S）に合わせて、ウォールプレートの設置位置を決めます。下図を参考に、a～dまでの数値を確認してください。




| | | | |
|---|---|---|---|
| a: | 投写距離最短（ワイド）～最長（テレ） | c: | 映像上端からウォールプレート取り付けネジ穴（下側）までの距離 |
| b: | セッティングプレートのアームスライド目盛りの数値 | d: | 映像上端からウォールプレート仮留め用ネジ穴までの距離 |
| x: | 壁から投写面までの距離（100mm以内） | S: | 投写する画面サイズ |

### 16:10投写画面

［単位：mm］

| S | | a | b | c | d |
|---|---|---|---|---|---|
| 61型 | 1314 × 821 | 164 - 310 | 154 - 300 | 202 | 394 |
| 62型 | 1335 × 835 | 171 - 319 | 161 - 309 | 204 | 396 |
| 63型 | 1357 × 848 | 178 - 329 | 168 - 319 | 206 | 398 |
| 64型 | 1379 × 862 | 185 - 338 | 175 - 328 | 208 | 400 |
| 65型 | 1400 × 875 | 191 - 347 | 181 - 337 | 209 | 401 |
| 66型 | 1422 × 888 | 198 - 356 | 188 - 346 | 211 | 403 |
| 67型 | 1443 × 902 | 205 - 366 | 195 - 356 | 213 | 405 |
| 68型 | 1465 × 915 | 212 - 375 | 202 - 365 | 215 | 407 |
| 69型 | 1486 × 929 | 219 - 384 | 209 - 374 | 216 | 408 |
| 70型 | 1508 × 942 | 226 | 216 | 218 | 410 |
| 71型 | 1529 × 956 | 232 | 222 | 220 | 412 |
| 72型 | 1551 × 969 | 239 | 229 | 222 | 414 |
| 73型 | 1572 × 983 | 246 | 236 | 223 | 415 |
| 74型 | 1594 × 996 | 253 | 243 | 225 | 417 |
| 75型 | 1615 × 1010 | 260 | 250 | 227 | 419 |
| 76型 | 1637 × 1023 | 267 | 257 | 229 | 421 |
| 77型 | 1659 × 1037 | 274 | 264 | 230 | 422 |
| 78型 | 1680 × 1050 | 280 | 270 | 232 | 424 |
| 79型 | 1702 × 1063 | 287 | 277 | 234 | 426 |

| S | | a | b | c | d |
|---|---|---|---|---|---|
| 80型 | 1723 × 1077 | 294 | 197 | 236 | 428 |
| 81型 | 1745 × 1090 | 301 | 204 | 237 | 429 |
| 82型 | 1766 × 1104 | 308 | 211 | 239 | 431 |
| 83型 | 1788 × 1117 | 315 | 218 | 241 | 433 |
| 84型 | 1809 × 1131 | 321 | 224 | 243 | 435 |
| 85型 | 1831 × 1144 | 328 | 231 | 244 | 436 |
| 86型 | 1852 × 1158 | 335 | 238 | 246 | 438 |
| 87型 | 1874 × 1171 | 342 | 245 | 248 | 440 |
| 88型 | 1895 × 1185 | 349 | 252 | 250 | 442 |
| 89型 | 1917 × 1198 | 356 | 259 | 251 | 443 |
| 90型 | 1939 × 1212 | 363 | 266 | 253 | 445 |

## 16：9投写画面

［単位：mm］

| S | | a | b | c | d |
|---|---|---|---|---|---|
| 65型 | 1439 × 809 | 158 - 302 | 148 - 292 | 201 | 393 |
| 66型 | 1461 × 822 | 164 - 311 | 154 - 301 | 202 | 394 |
| 67型 | 1483 × 834 | 171 - 319 | 161 - 309 | 204 | 396 |
| 68型 | 1505 × 847 | 177 - 328 | 167 - 318 | 206 | 398 |
| 69型 | 1528 × 859 | 183 - 336 | 173 - 326 | 207 | 399 |
| 70型 | 1550 × 872 | 190 - 345 | 180 - 335 | 209 | 401 |
| 71型 | 1572 × 884 | 196 - 353 | 186 | 210 | 402 |
| 72型 | 1594 × 897 | 202 - 362 | 192 | 212 | 404 |
| 73型 | 1616 × 909 | 209 - 370 | 199 | 214 | 406 |
| 74型 | 1638 × 921 | 215 - 379 | 205 | 215 | 407 |
| 75型 | 1660 × 934 | 221 | 211 | 217 | 409 |
| 76型 | 1682 × 946 | 228 | 218 | 219 | 411 |
| 77型 | 1705 × 959 | 234 | 224 | 220 | 412 |
| 78型 | 1727 × 971 | 240 | 230 | 222 | 414 |
| 79型 | 1749 × 984 | 247 | 237 | 223 | 415 |

| S | | a | b | c | d |
|---|---|---|---|---|---|
| 80型 | 1771 × 996 | 253 | 156 | 225 | 417 |
| 81型 | 1793 × 1009 | 259 | 162 | 227 | 419 |
| 82型 | 1815 × 1021 | 266 | 169 | 228 | 420 |
| 83型 | 1837 × 1034 | 272 | 175 | 230 | 422 |
| 84型 | 1860 × 1046 | 278 | 181 | 232 | 424 |
| 85型 | 1882 × 1058 | 285 | 188 | 233 | 425 |
| 86型 | 1904 × 1071 | 291 | 194 | 235 | 427 |
| 87型 | 1926 × 1083 | 297 | 200 | 236 | 428 |
| 88型 | 1948 × 1096 | 304 | 207 | 238 | 430 |
| 89型 | 1970 × 1108 | 310 | 213 | 240 | 432 |
| 90型 | 1992 × 1121 | 316 | 219 | 241 | 433 |
| 91型 | 2015 × 1133 | 323 | 226 | 243 | 435 |
| 92型 | 2037 × 1146 | 329 | 232 | 245 | 437 |
| 93型 | 2059 × 1158 | 335 | 238 | 246 | 438 |
| 94型 | 2081 × 1171 | 342 | 245 | 248 | 440 |
| 95型 | 2103 × 1183 | 348 | 251 | 249 | 441 |
| 96型 | 2125 × 1195 | 354 | 257 | 251 | 443 |
| 97型 | 2147 × 1208 | 361 | 264 | 253 | 445 |
| 98型 | 2170 × 1220 | 367 | 270 | 254 | 446 |
| 99型 | 2192 × 1233 | 373 | 276 | 256 | 448 |
| 100型 | 2214 × 1245 | 380 | 283 | 257 | 449 |

### 4：3投写画面

［単位：mm］

| S | | a | b | c | d |
|---|---|---|---|---|---|
| 65型 | 1321 × 991 | 250 | 240 | 224 | 416 |
| 66型 | 1341 × 1006 | 258 | 248 | 226 | 418 |
| 67型 | 1361 × 1021 | 266 | 256 | 228 | 420 |
| 68型 | 1382 × 1036 | 273 | 263 | 230 | 422 |
| 69型 | 1402 × 1052 | 281 | 271 | 232 | 424 |
| 70型 | 1422 × 1067 | 289 | 279 | 234 | 426 |
| 71型 | 1443 × 1082 | 297 | 287 | 236 | 428 |
| 72型 | 1463 × 1097 | 304 | 294 | 238 | 430 |
| 73型 | 1483 × 1113 | 312 | 302 | 240 | 432 |
| 74型 | 1504 × 1128 | 320 | 310 | 242 | 434 |
| 75型 | 1524 × 1143 | 328 | 318 | 244 | 436 |
| 76型 | 1544 × 1158 | 335 | 325 | 246 | 438 |
| 77型 | 1565 × 1173 | 343 | 333 | 248 | 440 |
| 78型 | 1585 × 1189 | 351 | 341 | 250 | 442 |
| 79型 | 1605 × 1204 | 359 | 349 | 252 | 444 |
| 80型 | 1626 × 1219 | 366 | 269 | 254 | 446 |

### 16:6投写画面

［単位：mm］

| S | | a | b | c | d |
|---|---|---|---|---|---|
| 65型 | 1546 × 580 | 189 - 343 | 179 - 333 | 353 | 545 |
| 66型 | 1570 × 589 | 195 - 353 | 185 - 343 | 357 | 549 |
| 67型 | 1593 × 598 | 202 - 362 | 192 - 352 | 361 | 553 |
| 68型 | 1617 × 606 | 209 - 371 | 199 - 361 | 365 | 557 |
| 69型 | 1641 × 615 | 216 - 380 | 206 - 370 | 369 | 561 |
| 70型 | 1665 × 624 | 223 - 389 | 213 - 379 | 373 | 565 |
| 71型 | 1689 × 633 | 229 - 398 | 219 - 388 | 377 | 569 |
| 72型 | 1712 × 642 | 236 - 408 | 226 - 398 | 381 | 573 |
| 73型 | 1736 × 651 | 243 - 417 | 233 - 407 | 385 | 577 |
| 74型 | 1760 × 660 | 250 - 426 | 240 - 416 | 389 | 581 |
| 75型 | 1784 × 669 | 257 - 435 | 247 - 425 | 393 | 585 |
| 76型 | 1807 × 678 | 263 - 444 | 253 - 434 | 397 | 589 |
| 77型 | 1831 × 687 | 270 - 454 | 260 - 444 | 401 | 593 |
| 78型 | 1855 × 696 | 277 - 463 | 267 - 453 | 405 | 597 |
| 79型 | 1879 × 705 | 284 - 472 | 274 - 462 | 409 | 601 |

| S | | a | b | c | d |
|---|---|---|---|---|---|
| 80型 | 1903 × 713 | 291 - 481 | 194 - 384 | 413 | 605 |
| 81型 | 1926 × 722 | 297 - 490 | 200 - 393 | 417 | 609 |
| 82型 | 1950 × 731 | 304 - 500 | 207 - 403 | 421 | 613 |
| 83型 | 1974 × 740 | 311 - 509 | 214 - 412 | 425 | 617 |
| 84型 | 1998 × 749 | 318 - 518 | 221 - 421 | 429 | 621 |
| 85型 | 2022 × 758 | 325 - 527 | 228 - 430 | 433 | 625 |
| 86型 | 2045 × 767 | 331 - 536 | 234 - 439 | 437 | 629 |
| 87型 | 2069 × 776 | 338 - 545 | 241 - 448 | 441 | 633 |
| 88型 | 2093 × 785 | 345 - 555 | 248 - 458 | 445 | 637 |
| 89型 | 2117 × 794 | 352 - 564 | 255 - 467 | 449 | 641 |
| 90型 | 2140 × 803 | 359 | 262 | 453 | 645 |
| 91型 | 2164 × 812 | 365 | 268 | 457 | 649 |
| 92型 | 2188 × 821 | 372 | 275 | 461 | 653 |
| 93型 | 2212 × 829 | 379 | 282 | 465 | 657 |
| 94型 | 2236 × 838 | 386 | 289 | 469 | 661 |
| 95型 | 2259 × 847 | 393 | 296 | 473 | 665 |
| 96型 | 2283 × 856 | 400 | 303 | 477 | 669 |
| 97型 | 2307 × 865 | 406 | 309 | 481 | 673 |
| 98型 | 2331 × 874 | 413 | 316 | 485 | 677 |
| 99型 | 2354 × 883 | 420 | 323 | 489 | 681 |

| S | | a | b | c | d |
|---|---|---|---|---|---|
| 100型 | 2378 × 892 | 427 | 330 | 492 | 684 |
| 101型 | 2402 × 901 | 434 | 337 | 496 | 688 |
| 102型 | 2426 × 910 | 440 | 343 | 500 | 692 |
| 103型 | 2450 × 919 | 447 | 350 | 504 | 696 |
| 104型 | 2473 × 928 | 454 | 357 | 508 | 700 |
| 105型 | 2497 × 936 | 461 | 364 | 512 | 704 |
| 106型 | 2521 × 945 | 468 | 371 | 516 | 708 |
| 107型 | 2545 × 954 | 474 | 377 | 520 | 712 |
| 108型 | 2569 × 963 | 481 | 384 | 524 | 716 |
| 109型 | 2592 × 972 | 488 | 391 | 528 | 720 |
| 110型 | 2616 × 981 | 495 | 398 | 532 | 724 |
| 111型 | 2640 × 990 | 502 | 405 | 536 | 728 |
| 112型 | 2664 × 999 | 508 | 411 | 540 | 732 |
| 113型 | 2687 × 1008 | 515 | 418 | 544 | 736 |
| 114型 | 2711 × 1017 | 522 | 425 | 548 | 740 |
| 115型 | 2735 × 1026 | 529 | 432 | 552 | 744 |
| 116型 | 2759 × 1035 | 536 | 439 | 556 | 748 |
| 117型 | 2783 × 1043 | 542 | 445 | 560 | 752 |
| 118型 | 2806 × 1052 | 549 | 452 | 564 | 756 |
| 119型 | 2830 × 1061 | 556 | 459 | 568 | 760 |
| 120型 | 2854 × 1070 | 563 | 466 | 572 | 764 |

## 21：9投写画面

［単位：mm］

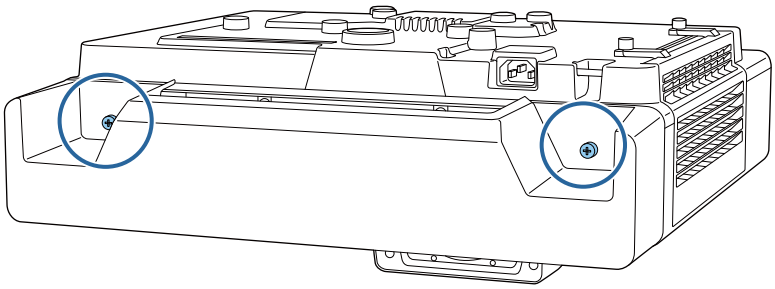
| S | | a | b | c | d |
|---|---|---|---|---|---|
| 65型 | 1518 × 650 | 181 - 332 | 171 - 322 | 308 | 500 |
| 66型 | 1541 × 660 | 187 - 341 | 177 - 331 | 311 | 503 |
| 67型 | 1564 × 670 | 194 - 350 | 184 - 340 | 315 | 507 |
| 68型 | 1588 × 680 | 201 - 359 | 191 - 349 | 318 | 510 |
| 69型 | 1611 × 690 | 207 - 368 | 197 - 358 | 321 | 513 |
| 70型 | 1634 × 700 | 214 - 378 | 204 - 368 | 324 | 516 |
| 71型 | 1658 × 710 | 221 - 387 | 211 - 377 | 328 | 520 |
| 72型 | 1681 × 720 | 227 - 396 | 217 - 386 | 331 | 523 |
| 73型 | 1704 × 730 | 234 - 405 | 224 - 395 | 334 | 526 |
| 74型 | 1728 × 740 | 241 - 414 | 231 - 404 | 338 | 530 |
| 75型 | 1751 × 750 | 247 - 423 | 237 - 413 | 341 | 533 |
| 76型 | 1774 × 760 | 254 - 432 | 244 - 422 | 344 | 536 |
| 77型 | 1798 × 770 | 261 - 441 | 251 - 431 | 347 | 539 |
| 78型 | 1821 × 780 | 267 - 450 | 257 - 440 | 351 | 543 |
| 79型 | 1844 × 790 | 274 - 459 | 264 - 449 | 354 | 546 |

| S | | a | b | c | d |
|---|---|---|---|---|---|
| 80型 | 1868 × 800 | 281 - 468 | 184 - 371 | 357 | 549 |
| 81型 | 1891 × 810 | 287 - 477 | 190 - 380 | 360 | 552 |
| 82型 | 1914 × 820 | 294 - 486 | 197 - 389 | 364 | 556 |
| 83型 | 1938 × 830 | 301 - 495 | 204 - 398 | 367 | 559 |
| 84型 | 1961 × 840 | 307 - 504 | 210 - 407 | 370 | 562 |
| 85型 | 1984 × 850 | 314 - 513 | 217 - 416 | 374 | 566 |
| 86型 | 2008 × 860 | 321 - 522 | 224 - 425 | 377 | 569 |
| 87型 | 2031 × 870 | 327 - 531 | 230 - 434 | 380 | 572 |
| 88型 | 2054 × 880 | 334 - 540 | 237 - 443 | 383 | 575 |
| 89型 | 2078 × 890 | 341 - 549 | 244 - 452 | 387 | 579 |
| 90型 | 2101 × 900 | 347 - 558 | 250 - 461 | 390 | 582 |
| 91型 | 2125 × 911 | 354 - 567 | 257 - 470 | 393 | 585 |
| 92型 | 2148 × 921 | 361 | 264 | 396 | 588 |
| 93型 | 2171 × 931 | 367 | 270 | 400 | 592 |
| 94型 | 2195 × 941 | 374 | 277 | 403 | 595 |
| 95型 | 2218 × 951 | 381 | 284 | 406 | 598 |
| 96型 | 2241 × 961 | 388 | 291 | 410 | 602 |
| 97型 | 2265 × 971 | 394 | 297 | 413 | 605 |
| 98型 | 2288 × 981 | 401 | 304 | 416 | 608 |
| 99型 | 2311 × 991 | 408 | 311 | 419 | 611 |

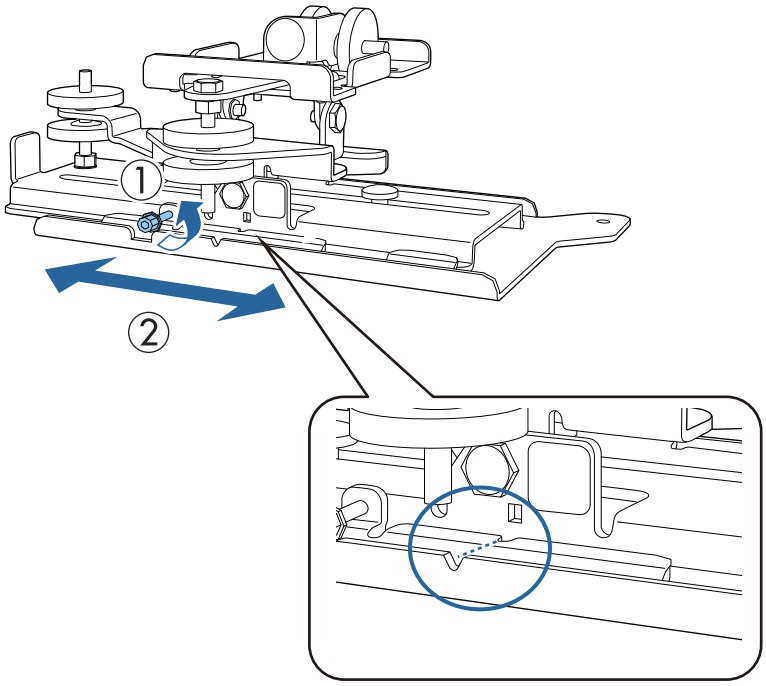
| S | | a | b | c | d |
|---|---|---|---|---|---|
| 100型 | 2335 × 1001 | 414 | 317 | 423 | 615 |
| 101型 | 2358 × 1011 | 421 | 324 | 426 | 618 |
| 102型 | 2381 × 1021 | 428 | 331 | 429 | 621 |
| 103型 | 2405 × 1031 | 434 | 337 | 432 | 624 |
| 104型 | 2428 × 1041 | 441 | 344 | 436 | 628 |
| 105型 | 2451 × 1051 | 448 | 351 | 439 | 631 |
| 106型 | 2475 × 1061 | 454 | 357 | 442 | 634 |
| 107型 | 2498 × 1071 | 461 | 364 | 446 | 638 |
| 108型 | 2521 × 1081 | 468 | 371 | 449 | 641 |
| 109型 | 2545 × 1091 | 474 | 377 | 452 | 644 |
| 110型 | 2568 × 1101 | 481 | 384 | 455 | 647 |
| 111型 | 2591 × 1111 | 488 | 391 | 459 | 651 |
| 112型 | 2615 × 1121 | 494 | 397 | 462 | 654 |
| 113型 | 2638 × 1131 | 501 | 404 | 465 | 657 |
| 114型 | 2661 × 1141 | 508 | 411 | 468 | 660 |
| 115型 | 2685 × 1151 | 514 | 417 | 472 | 664 |
| 116型 | 2708 × 1161 | 521 | 424 | 475 | 667 |
| 117型 | 2732 × 1171 | 528 | 431 | 478 | 670 |
| 118型 | 2755 × 1181 | 534 | 437 | 482 | 674 |
| 119型 | 2778 × 1191 | 541 | 444 | 485 | 677 |
| 120型 | 2802 × 1201 | 548 | 451 | 488 | 680 |

## 調整ユニットをプロジェクターに取り付ける

1 ネジ（2本）を緩め、プロジェクターからケーブルカバーを取り外す

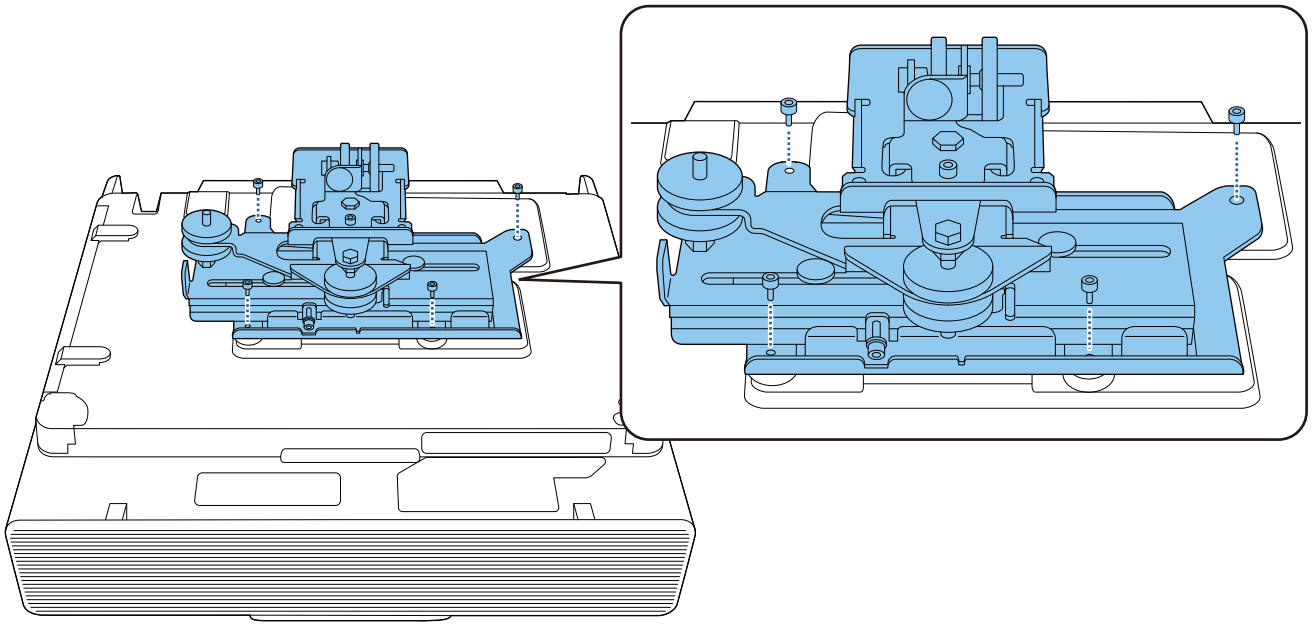


## 2 調整ユニットのM4ボルトを緩めてから、各パーツの目印の位置を合わせる




位置が合ったらM4ボルトを締め直します。

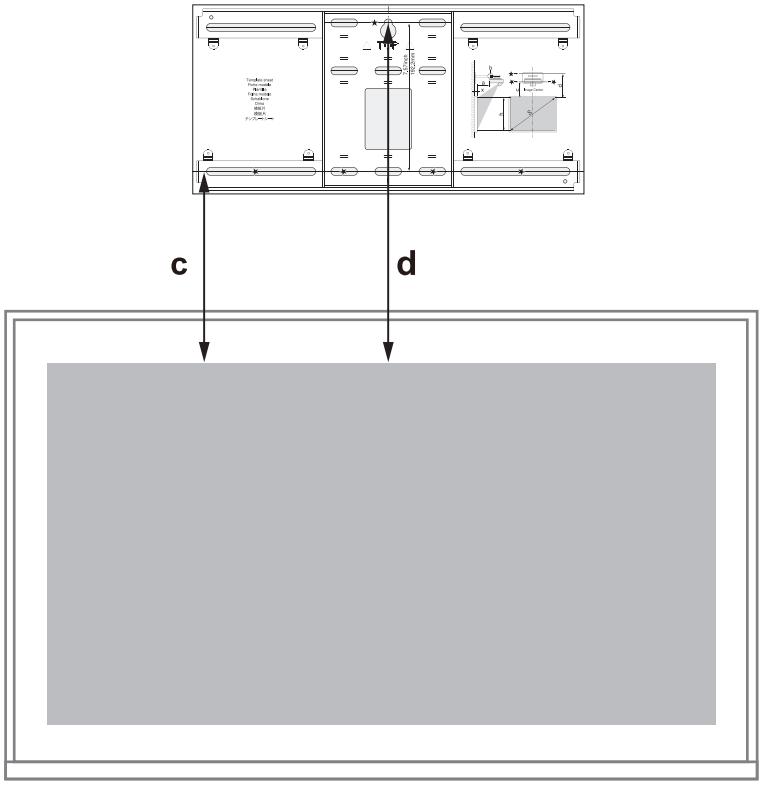
## 3 同梱のM4 x 12mmボルト（4本）で、調整ユニットをプロジェクターの底面に固定する



## ウォールプレートを壁に取り付ける

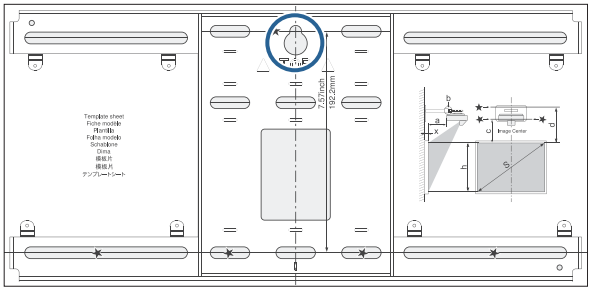
### 1 テンプレートシートを壁に貼る

投写距離表（p.28）で確認した設置位置に合わせて、テンプレートシートを貼りつけます。



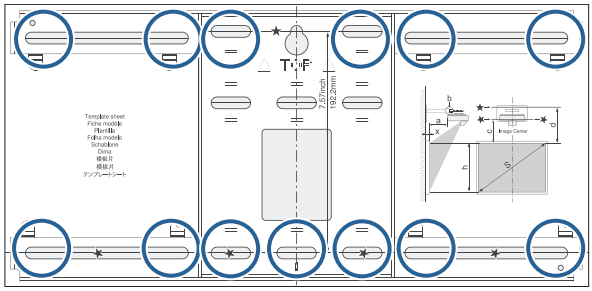

### 2 ウォールプレートの仮留め用ネジ穴の位置に市販のM10ネジを打つ

壁とネジ頭部の間を6mm以上空けてください。



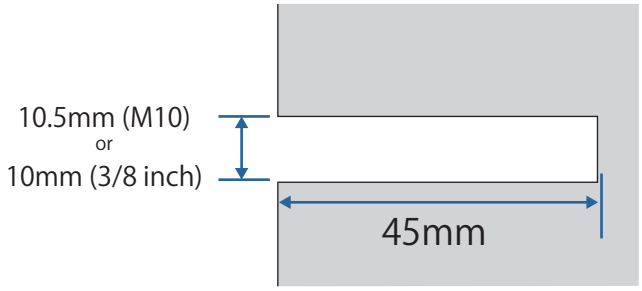
### 3 ウォールプレートの取り付け穴をあける位置を決める

下図のネジ穴の中から、バランスがとれる4箇所以上を固定してください。



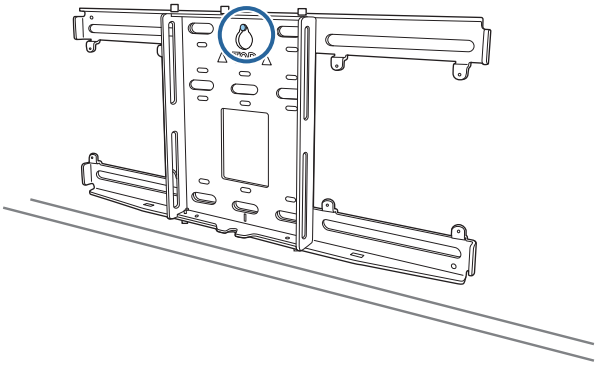
## 4 ドリルで壁に穴をあける

ドリル径：10.5mm (M10)または10mm (3/8インチ)
下穴深さ：45mm
埋込深さ：40mm

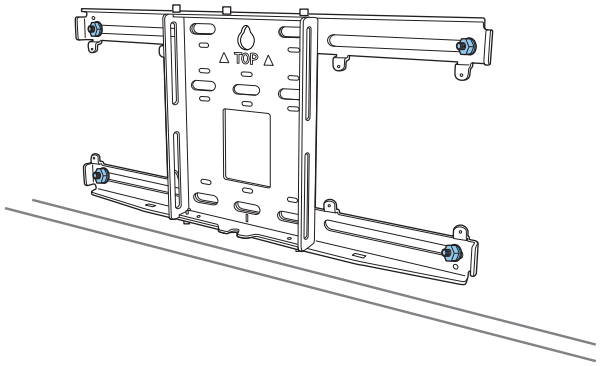


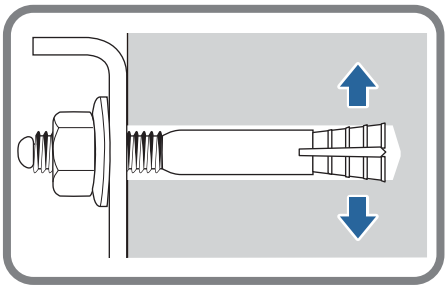

## 5 テンプレートシートを取り外す

## 6 手順2で打った仮留め用のM10ネジにウォールプレートをひっかけて配置する



## 7 手順4であけた穴を使って、ウォールプレートを市販のM10または3/8インチ x 60mmアンカーボルトで固定する

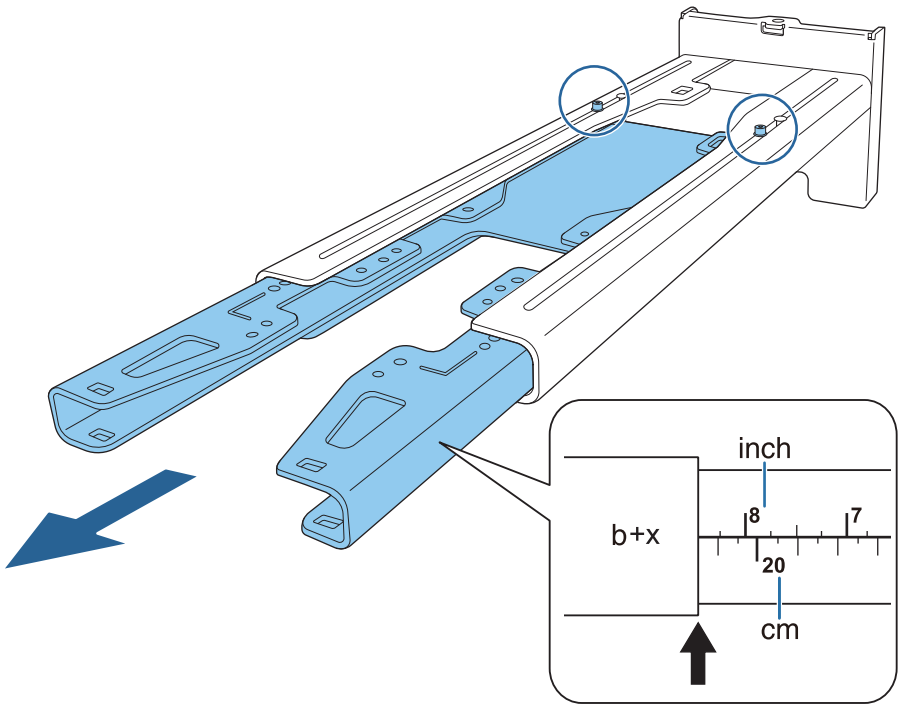


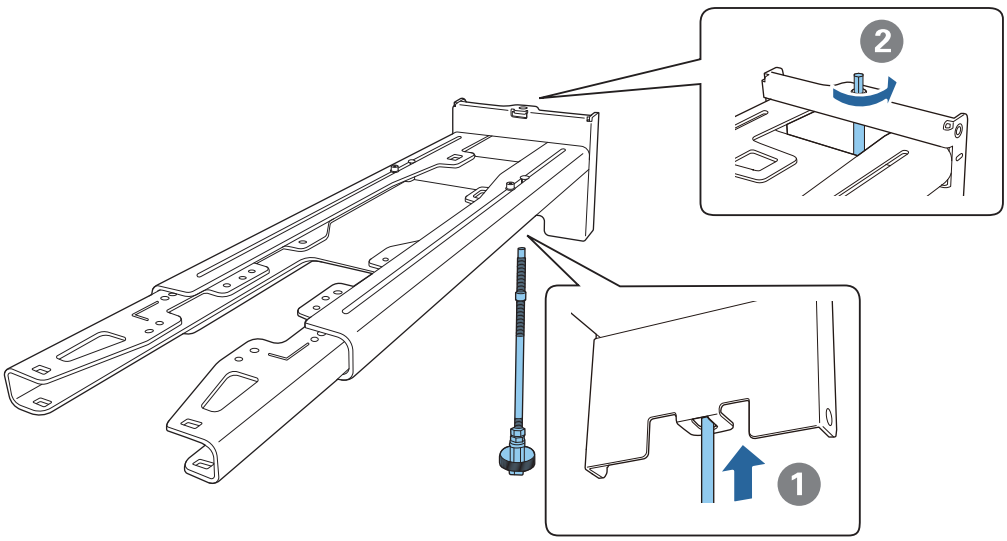
## セッティングプレートをウォールプレートに取り付ける

### 1 M4 x 12mmボルト（2本）を緩めてから、セッティングプレートのアームスライドを引き出す

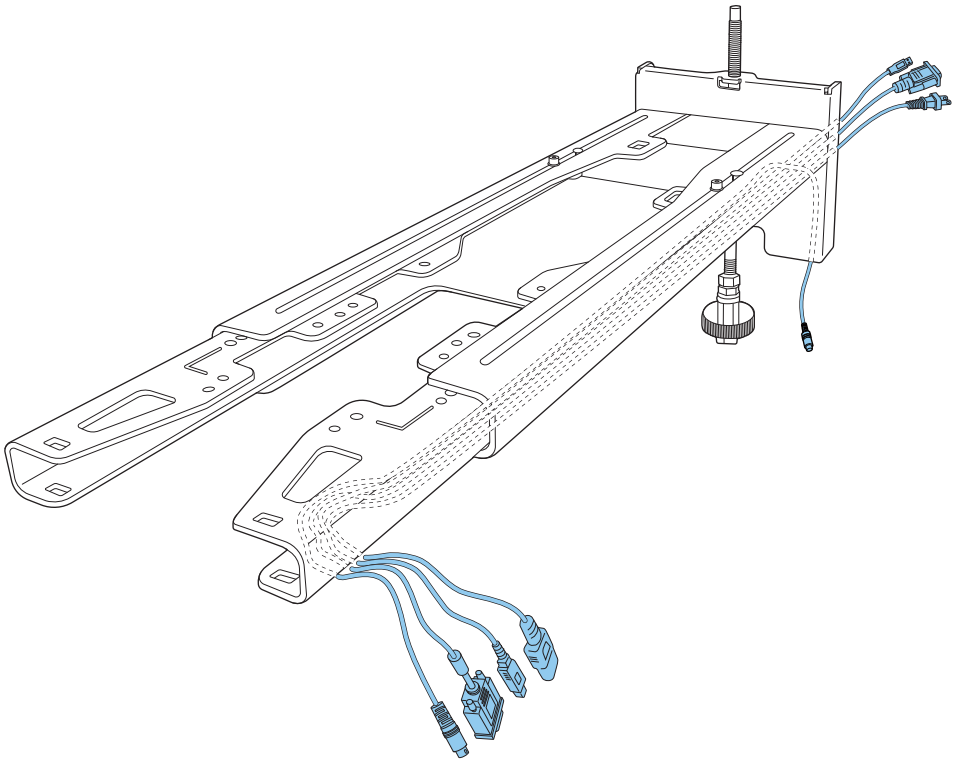
投写距離表（p.28）で確認した（b）の値に、壁から投写面までの厚み（x）を足した合計距離をスライダーの目盛りに合わせます。




### 2 六角軸をセッティングプレートに差し込む



## 3 必要なケーブル類をセッティングプレート内に通す



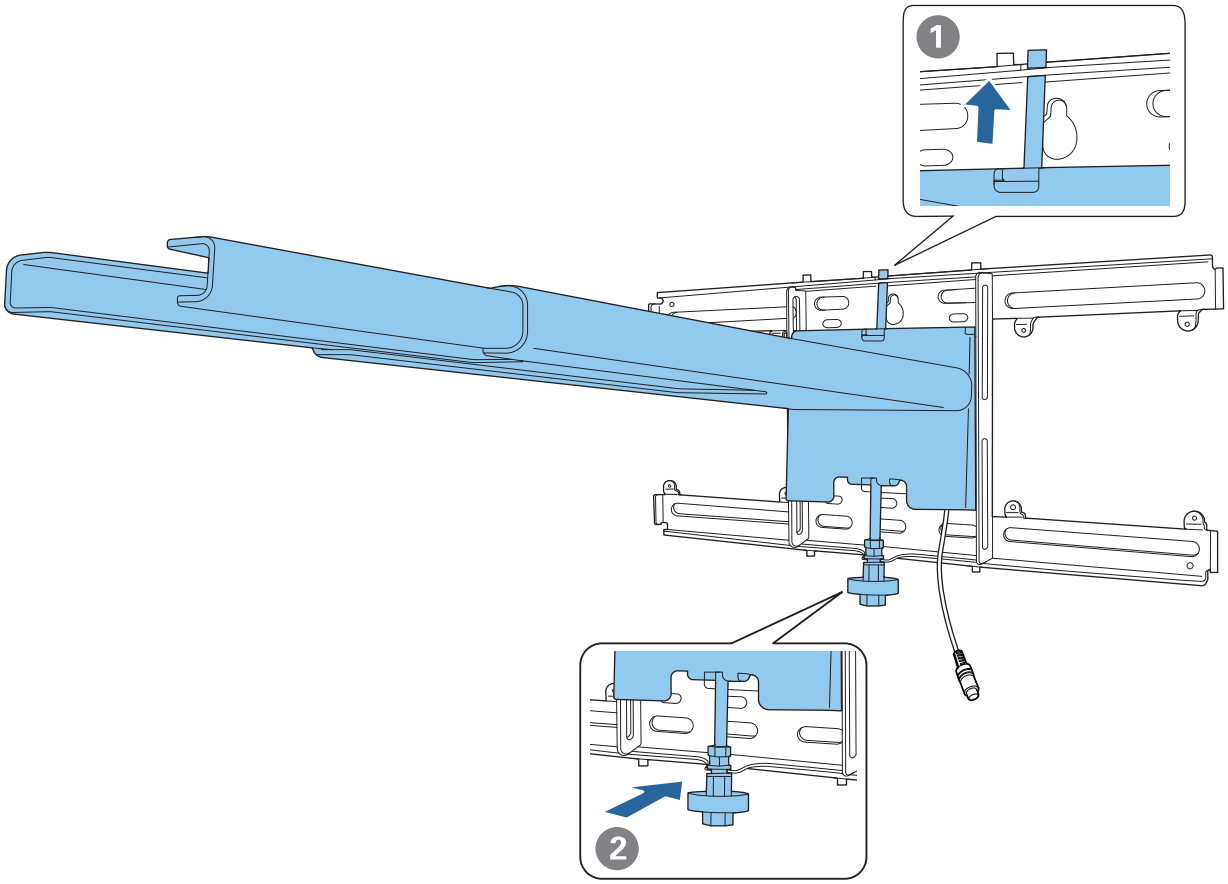
**⚠ 警告**

余ったケーブルをセッティングプレートの上に乗せないでください。落下事故の原因となります。

- 以下の端子は、壁内等に通さずセッティングプレートの下方へ出るようにしてください。
  - タッチユニット接続ケーブル
  - ミニPC等、周辺機器に接続するためのケーブル

## 4 セッティングプレートをウォールプレートに組み付ける

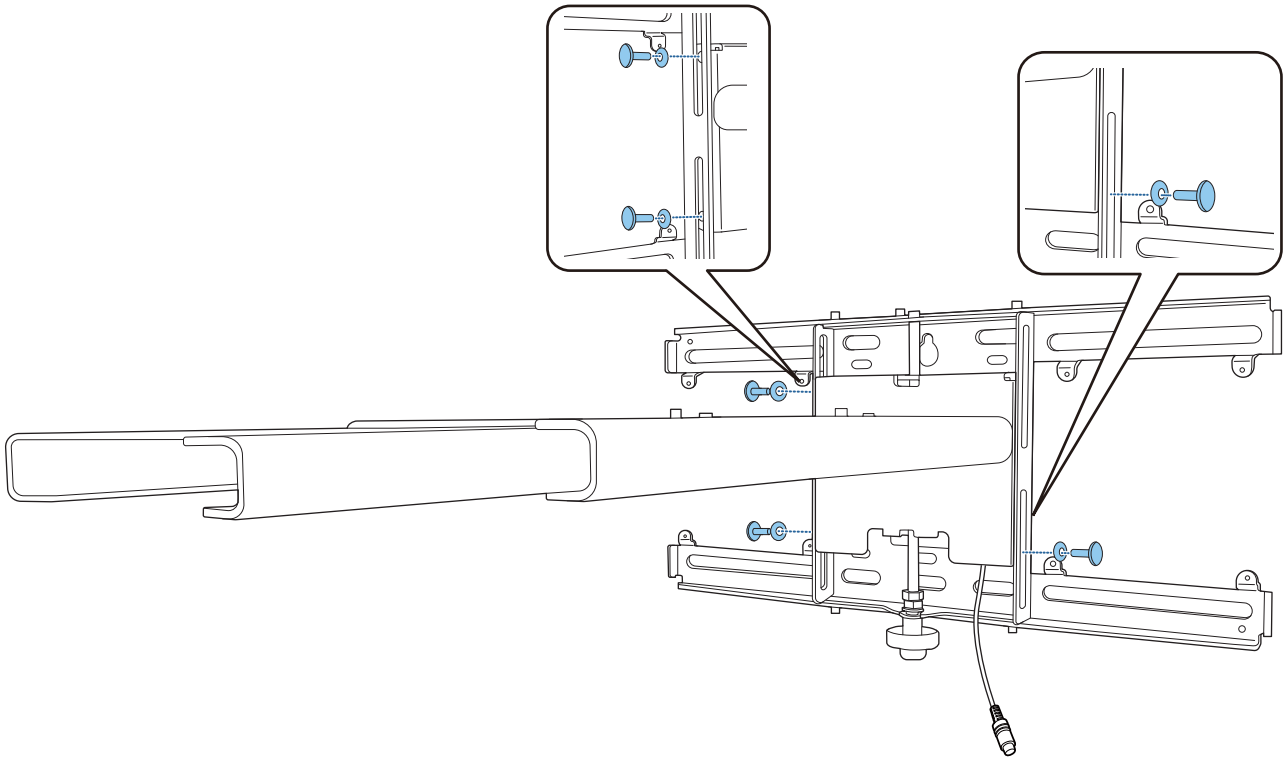
六角軸の上部を差し込んでから、下部を差し込みます。



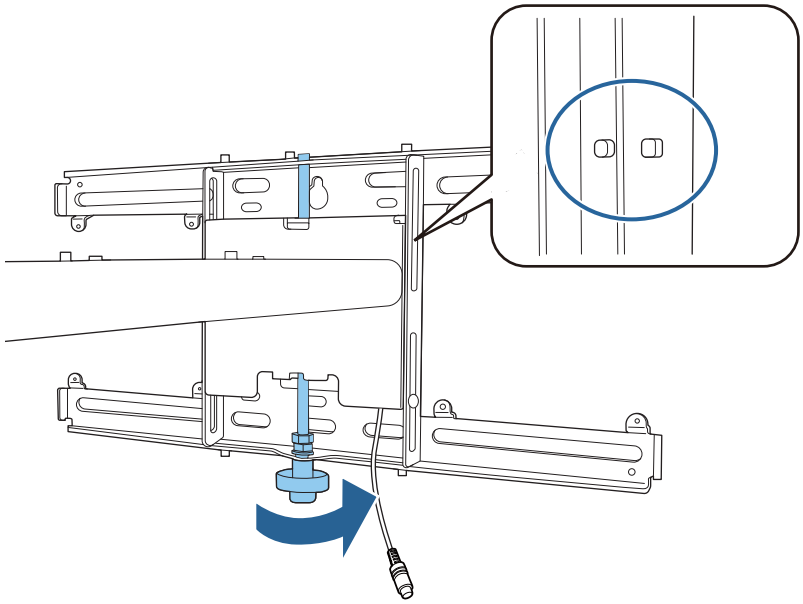

> ⚠ 注意
>
> セッティングプレートとウォールプレートの間にケーブル類を挟まないように注意してください。

## 5 セッティングプレートを仮固定する

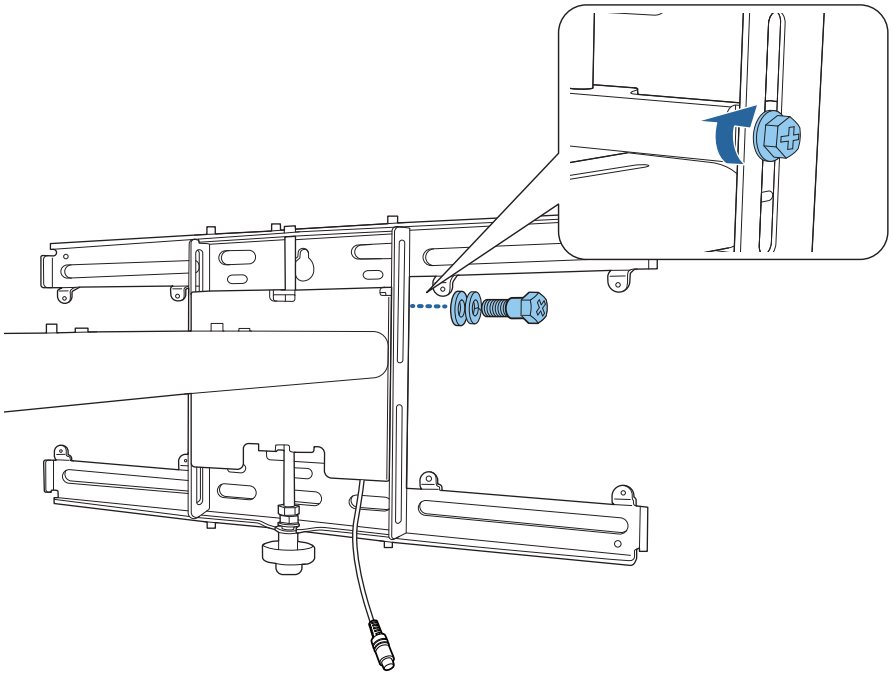
同梱のM6ネジ（3本）で、3箇所を固定します。



## 6 上下スライドを両口スパナで調整して、ウォールプレートとセッティングプレートの目印の位置を合わせる



### 7 M6ボルト（1本）で、セッティングプレートの位置を固定する

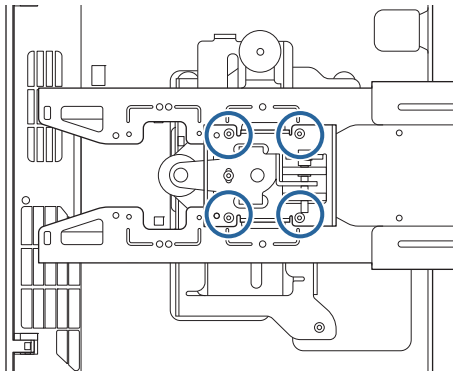


## セッティングプレートに調整ユニットを取り付ける

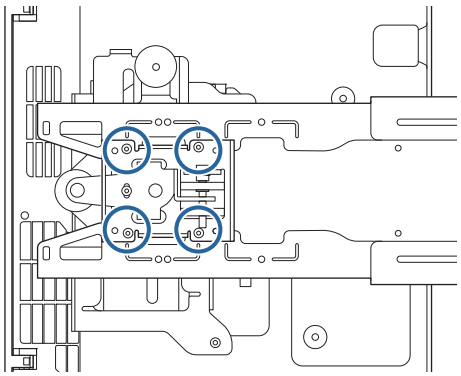
### 1 調整ユニットの取り付け位置を確認する

取り付け位置はセッティングプレートに目印が刻印されています。投写したい画面サイズに合わせて適切な位置に取り付けます。

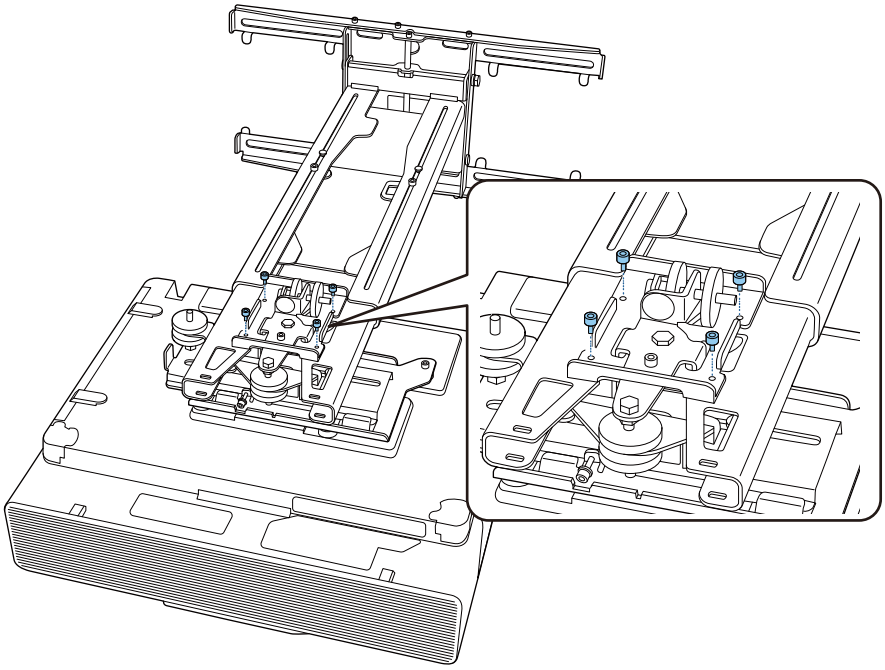
- 80型未満の画面を投写する場合：○の箇所に取り付けます。



- 80型以上の画面を投写する場合：○○の箇所に取り付けます。



**2** 同梱のM4 x 12mmボルト（4本）で、調整ユニットをセッティングプレートに固定する



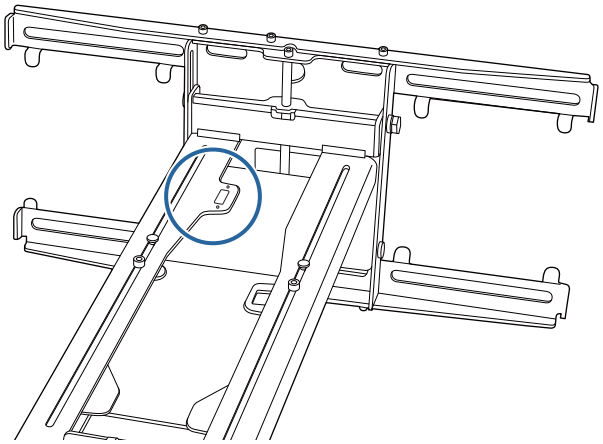
**3** ケーブル類をプロジェクターに接続する

電源コードは最後に接続してください。

## 周辺機器を取り付ける

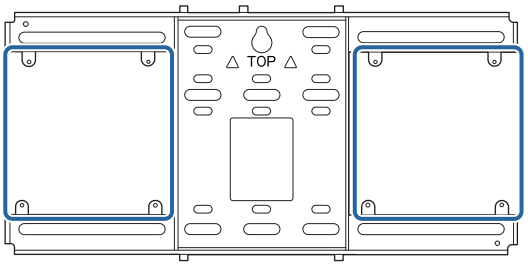
### 外付けチューナーやアクセサリーを取り付ける

外付けチューナーやアクセサリーは、下図のネジ穴に市販のM4ネジで固定します。



### ミニPC・スティックPCを取り付ける

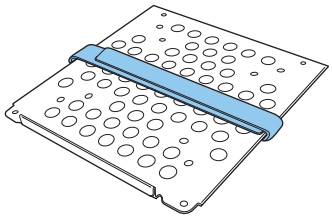
ミニPC・スティックPCは、ミニPC用プレートに取り付けてウォールプレートの左右いずれかに固定します。



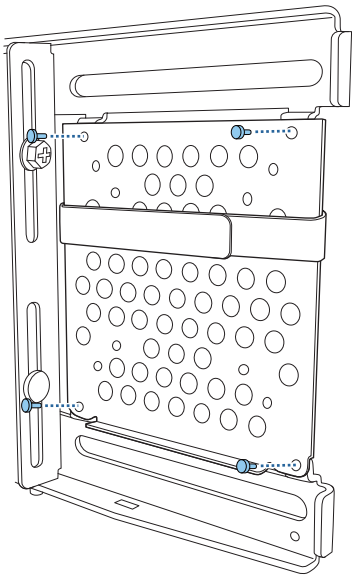

PCの吸排気口をふさがない向きで取り付けてください。
上側に排気口、下側に吸気口が来るように設置することをお勧めします。

### ミニPC用ベルトで固定する場合

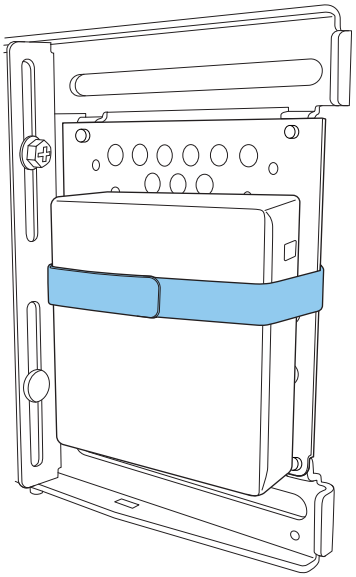
1 ミニPC用プレートにベルトを巻きつける



2 同梱のM3x6mmネジ（4本）を使って、ミニPC用プレートをウォールプレートに固定する



## 3 ミニPC用プレートの下側の突起にPC本体をのせて、ベルトで固定する

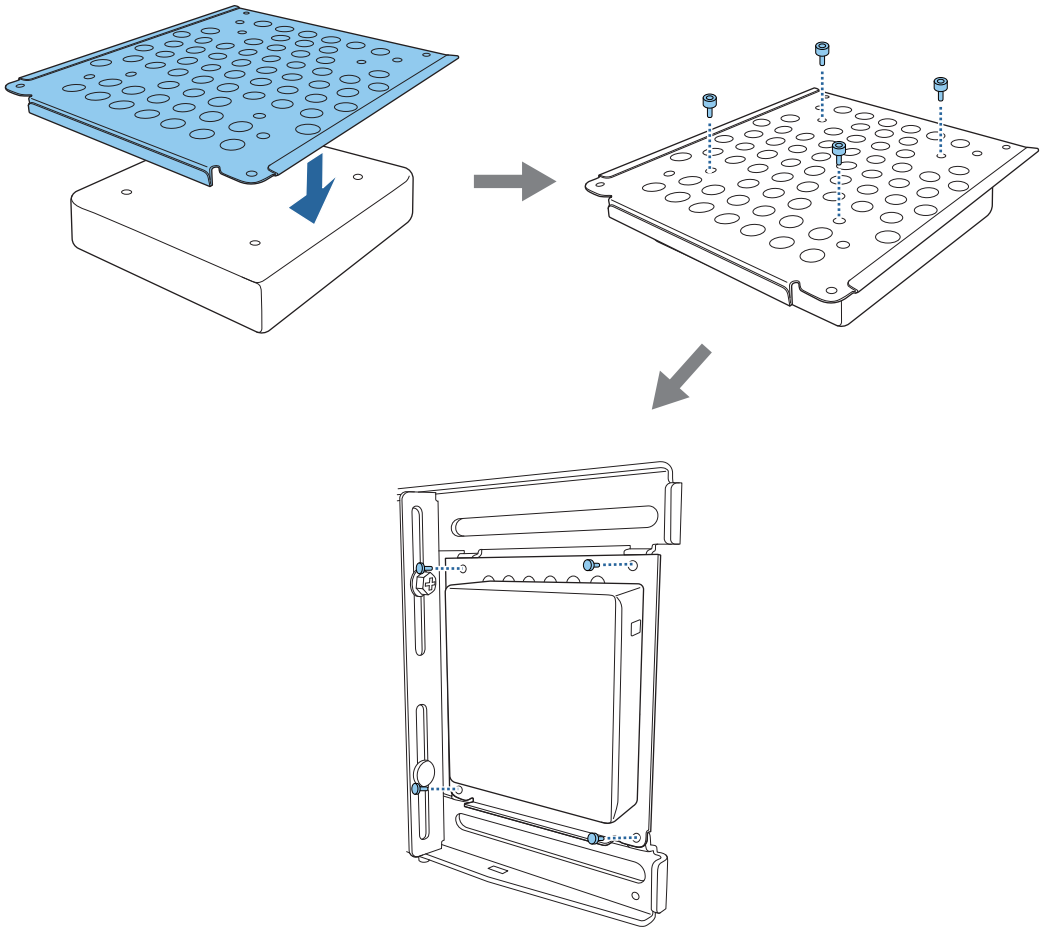


### ネジで固定する場合

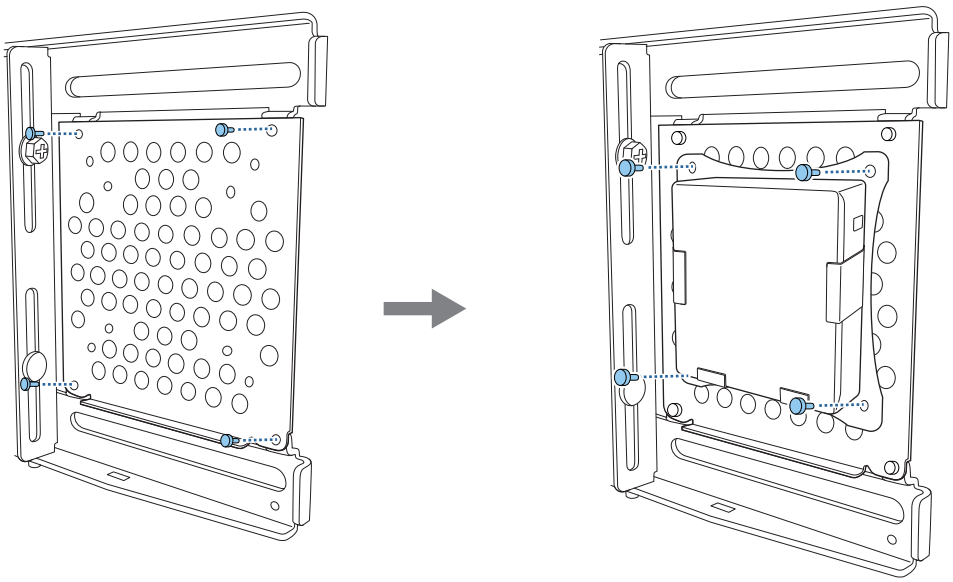
お使いのミニPCの形状やネジ穴の向きによって、取り付ける順番が異なります。事前に取り付け手順をご確認ください。

**取り付け例**

- PCを取り付けたミニPC用プレートを、同梱のM3x6mmネジ（4本）を使ってウォールプレートに固定する



- 同梱のM3x6mmネジ（4本）を使ってウォールプレートにミニPC用プレートを固定してから、PCを取り付ける

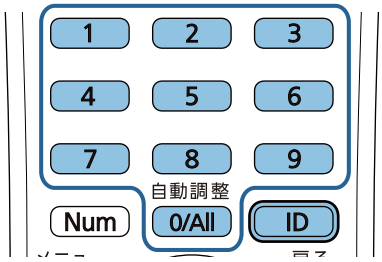


## 投写映像の位置調整

投写映像の位置調整は、下記のいずれかの方法で行います。

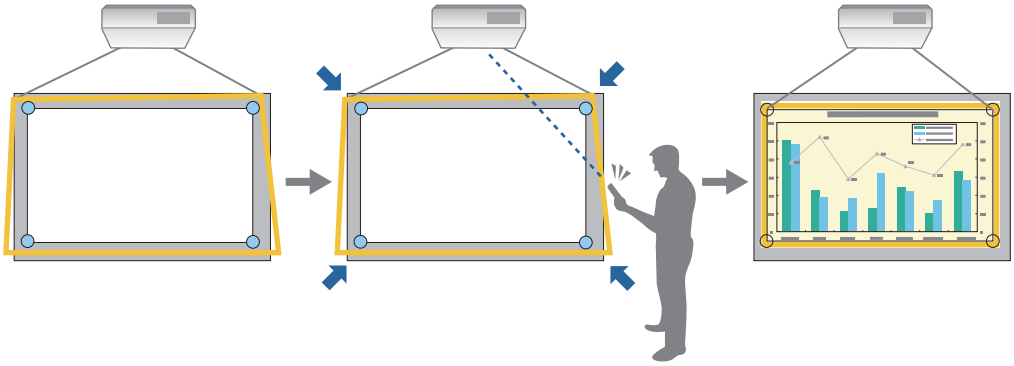
同じ部屋に複数台のプロジェクターを設置しているときは、リモコンの干渉を防ぐためにプロジェクターIDを設定することをお勧めします。

プロジェクターの電源をオンにして、［設置］ - ［プロジェクターID］でプロジェクターにID番号を設定します。対象のプロジェクターを操作するときは、リモコンの【ID】ボタンを押したまま、対象のプロジェクターのIDと同じ数字のボタンを押します。



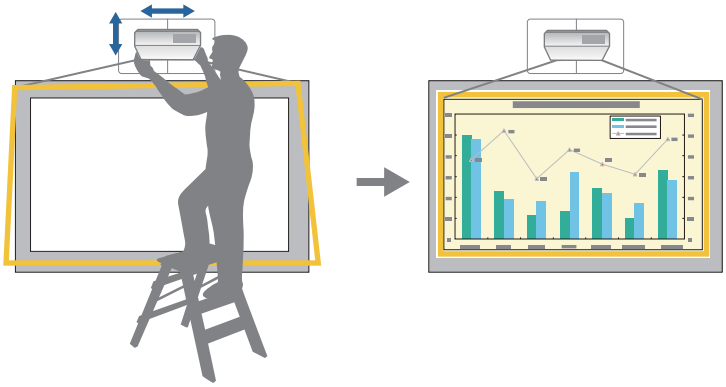

- 自動画面調整（ p.54）

  投写する位置の四隅にコーナーマーカーを貼りつけて、映像の位置を自動で調整します。指定の位置に大まかに合わせて調整したいときに便利です。



- セッティングプレート調整ガイドによる調整（ p.57）

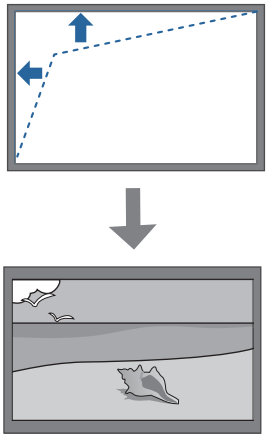
表示されるガイド画面に合わせて、金具の位置を手動で調整します。画質を維持したままで投写位置を細かく調整したいときに便利です。



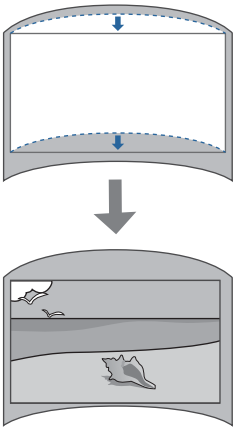
- プロジェクターメニューによる調整（p.61）

  調整したいエリアを選択して、手動で映像を補正します。設置ガイドで調整を行った後、投写位置を微調整するときに便利です。

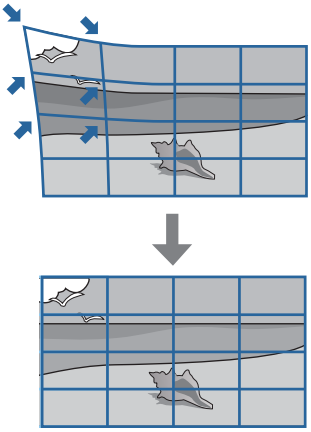
Quick Corner



湾曲補正



ポイント補正

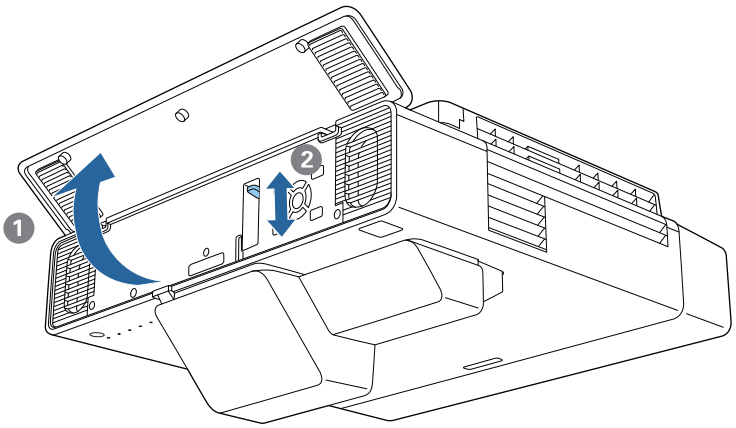


- プロジェクターの電源を入れた直後は映像が安定しません。投写開始後、20分以上経ってから映像の調整を行ってください。
- 本機を2台以上設置する場合に、一括設定機能を使って設定を行うときは、投写画面を調整する前に行ってください。
- 映像の画質を維持するためには、金具の位置を動かして映像を調整することをお勧めします。

## 調整前の準備

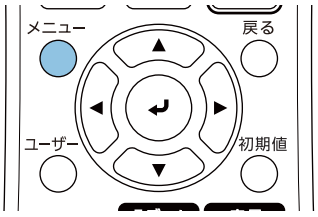
1 リモコンまたは操作パネルの電源【⏻】ボタンを押して、プロジェクターの電源を入れる

## 2 プロジェクターのフロントカバーを開けて、フォーカスレバーで大まかにピントを合わせる

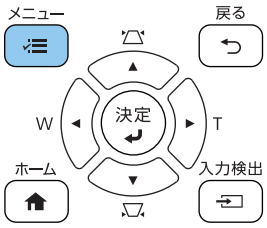



## 3 【メニュー】ボタンを押す

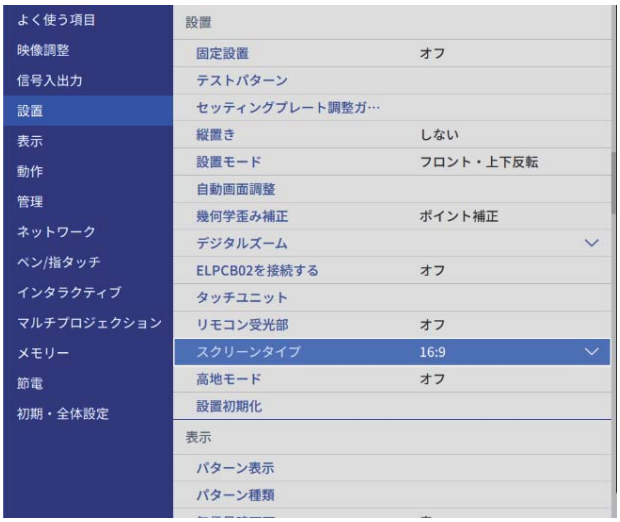
リモコンの場合




操作パネルの場合




## 4 [設置]メニューの[スクリーンタイプ]で、投写しているスクリーンのアスペクト比を設定する




## 5 必要に応じて、アスペクト比を切り替える

接続機器からの映像を投写して、リモコンの【アスペクト】ボタンを押します。

押すたびに画面上にアスペクト名が表示され、アスペクト比が切り替わります。

> 接続機器からの映像が投写されていないときはアスペクト比は切り替えられません。

## 自動画面調整

投写する位置の四隅にコーナーマーカーを貼りつけて、映像の位置を自動で調整します。

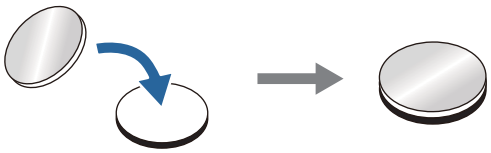
自動画面調整が正しく動作する条件は以下のとおりです。

- 投写サイズ：110インチ以下
- プロジェクターの設置角度：上下左右±3°以内

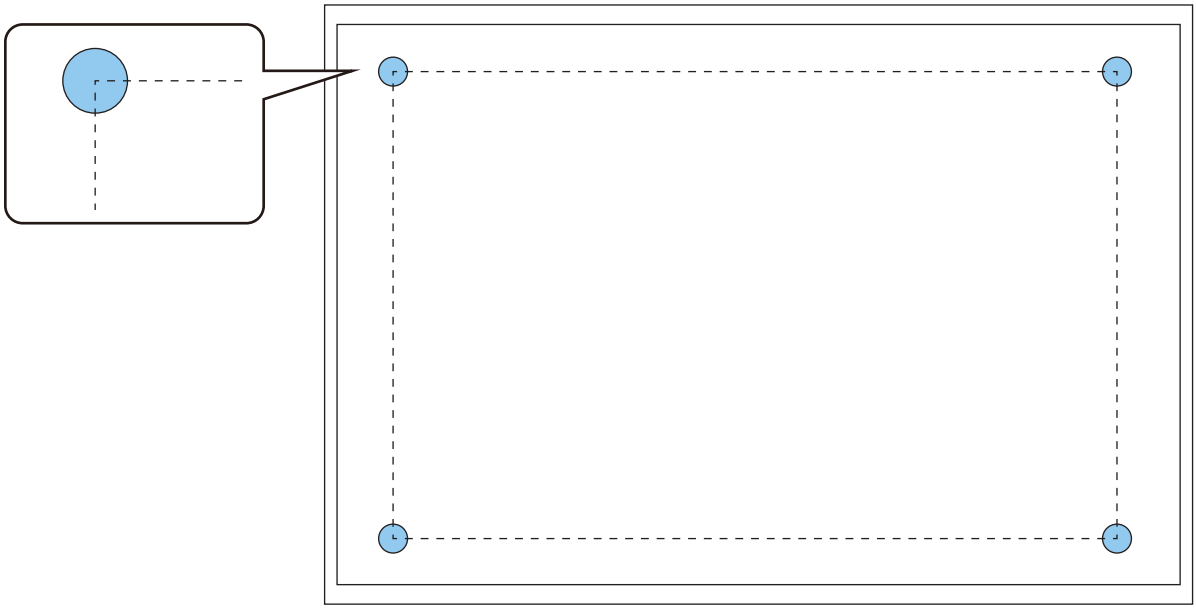
- 投写面の状態によっては、自動画面調整がうまく動作しないことがあります。自動画面調整を行うために必要な条件は以下のとおりです。
  - 投写面が平らであること
  - 投写面に模様や汚れ、障害物がないこと
- 事前にスクリーンタイプを正しく設定してください。自動画面調整を実行したあとにスクリーンタイプを変更すると、補正前の状態に戻ります。

### 1 投写したい位置の四隅にコーナーマーカーを貼りつける

- コーナーマーカーは貼り直しできません。貼りつける位置に事前に印をつけておくことをお勧めします。
- 貼り直しが必要な場合は、同梱のマグネットシートにコーナーマーカーを貼りつけてお使いください。

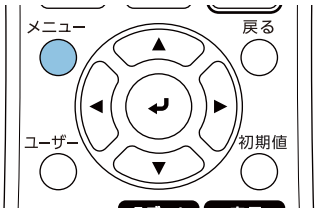


投写位置の角がコーナーマーカーの中心に重なるように貼りつけます。

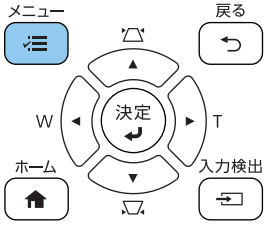


## 2 【メニュー】ボタンを押す

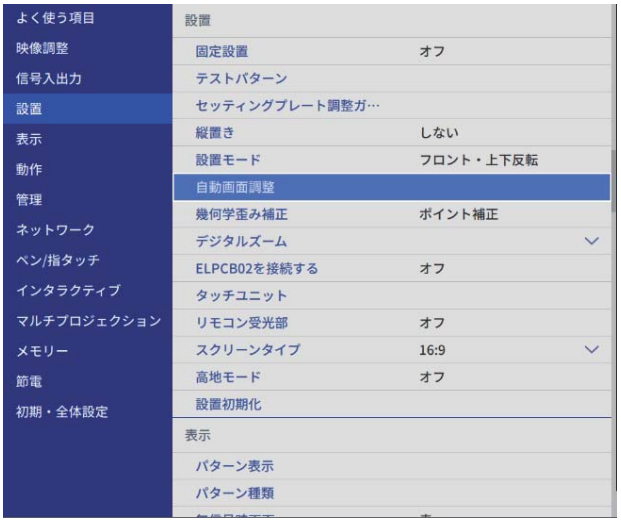
リモコンの場合




操作パネルの場合

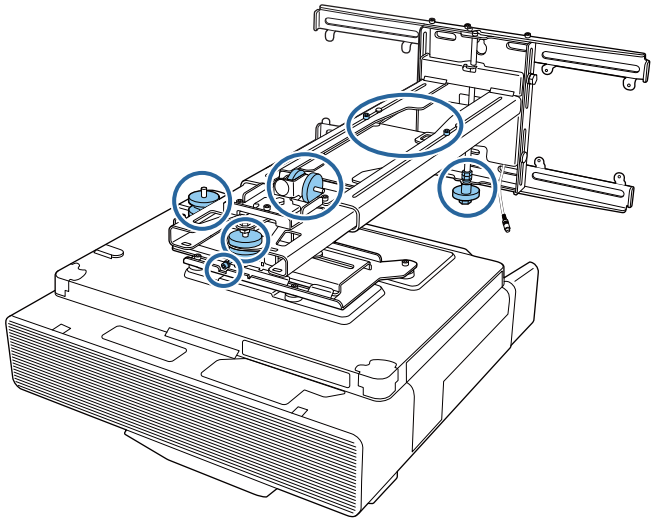



## 3 ［設置］メニューの［自動画面調整］を選択する



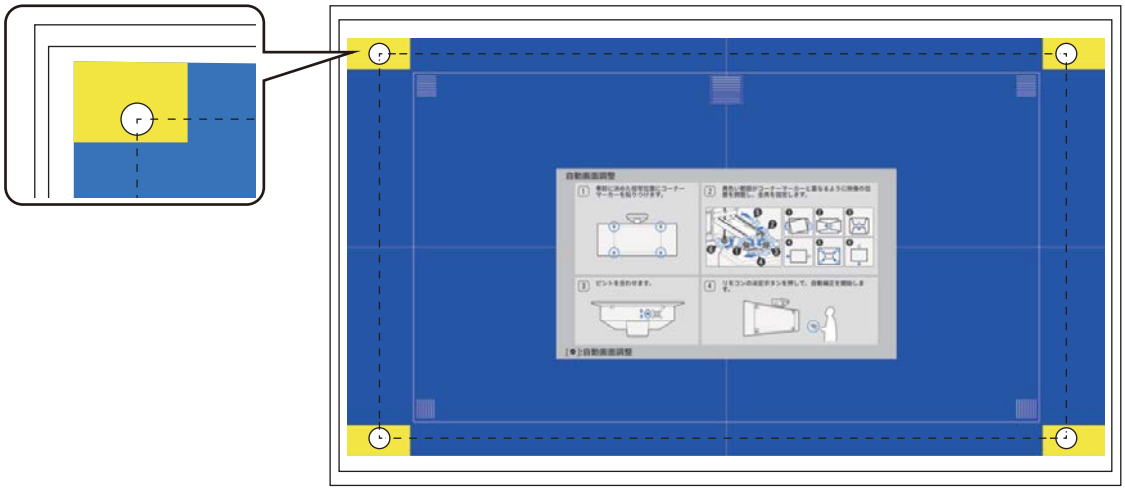

自動画面調整のガイド画面が表示されます。

## 4 すべての調整ダイヤル・調整ネジを緩める

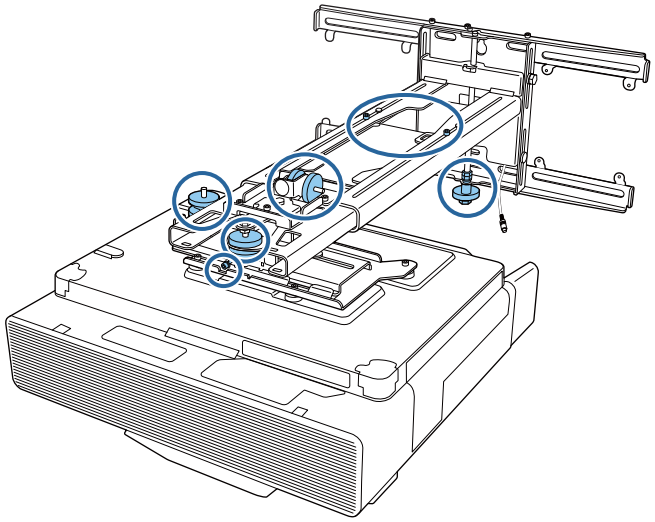


## 5 プロジェクターを動かして、ガイド画面の四隅にある黄色いエリアがコーナーマーカーに重なるように映像の位置を調整する

すべてのコーナーマーカーが黄色いエリアの中に収まっていることを確認してください。



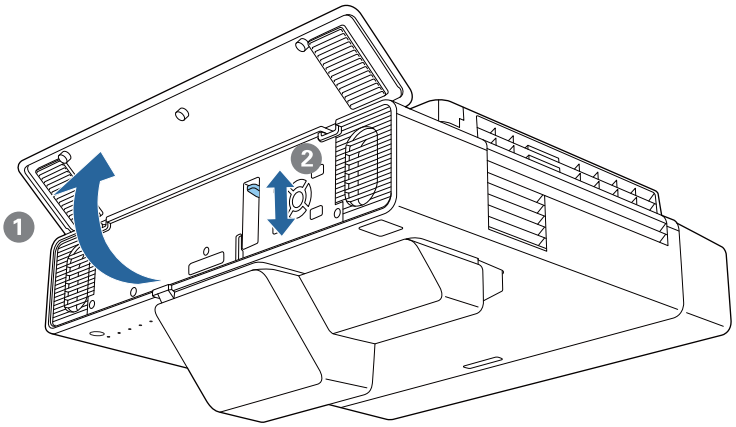
## 6 位置が決まったら、手順4で緩めた調整ダイヤル・調整ネジを全て締める



**⚠ 警告**

すべてのボルトやネジを完全に締め直してください。十分に締めないと落下によりけがや事故の原因となります。

### 7 プロジェクターのフロントカバーを開け、フォーカスレバーでピントを調整する




### 8 【決定】ボタンを押して、自動調整を開始する

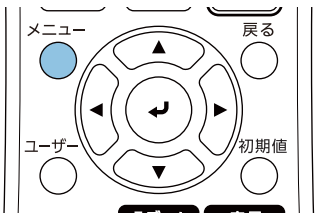
自動調整が終わったあと、さらに微調整を行う場合はQuick Corner（ p.62）をお使いください。湾曲補正やポイント補正を使うと、映像が自動補正前の状態に戻ります。

## セッティングプレート調整ガイドを使った手動調整

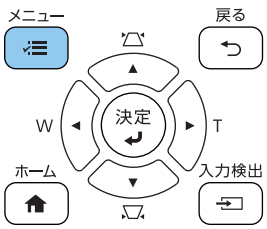
ガイド画面に従って、映像の位置を調整します。

### 1 【メニュー】ボタンを押す

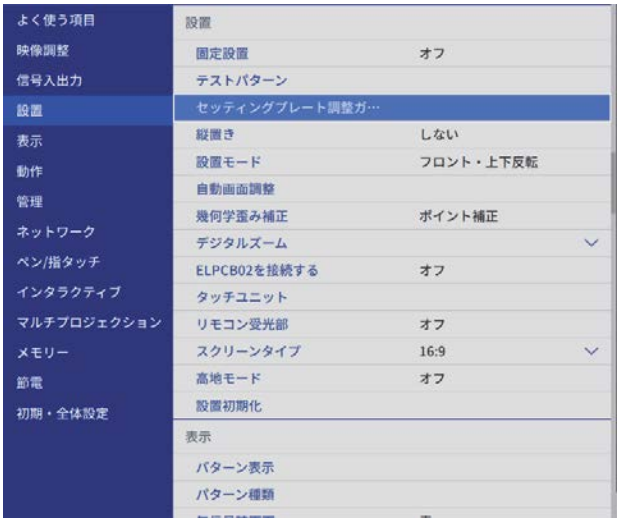
リモコンの場合




操作パネルの場合

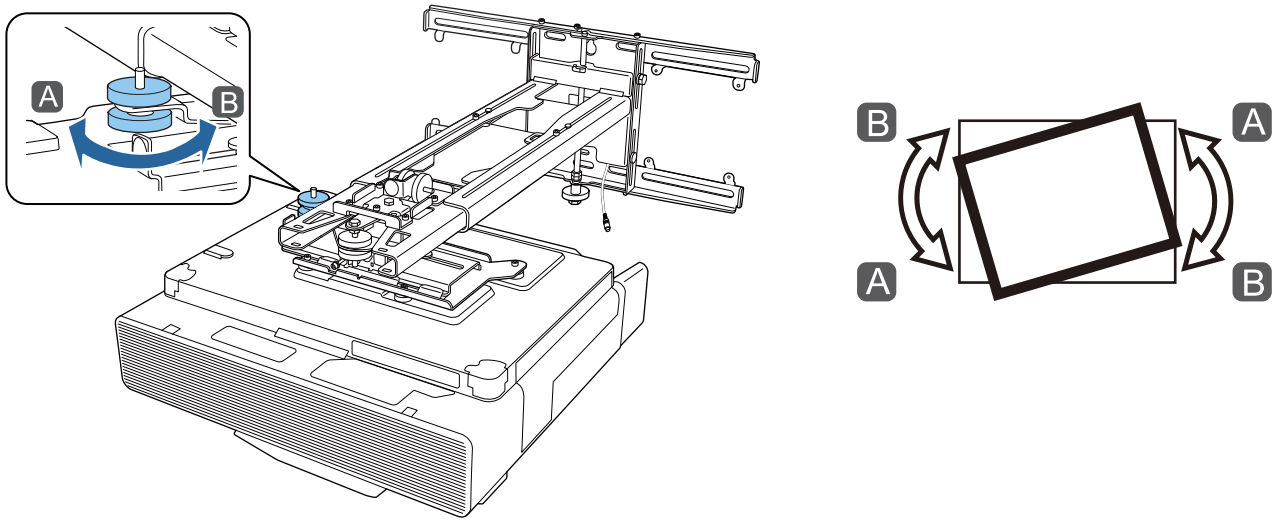



### 2 [設置]メニューの［セッティングプレート調整ガイド］を選択する

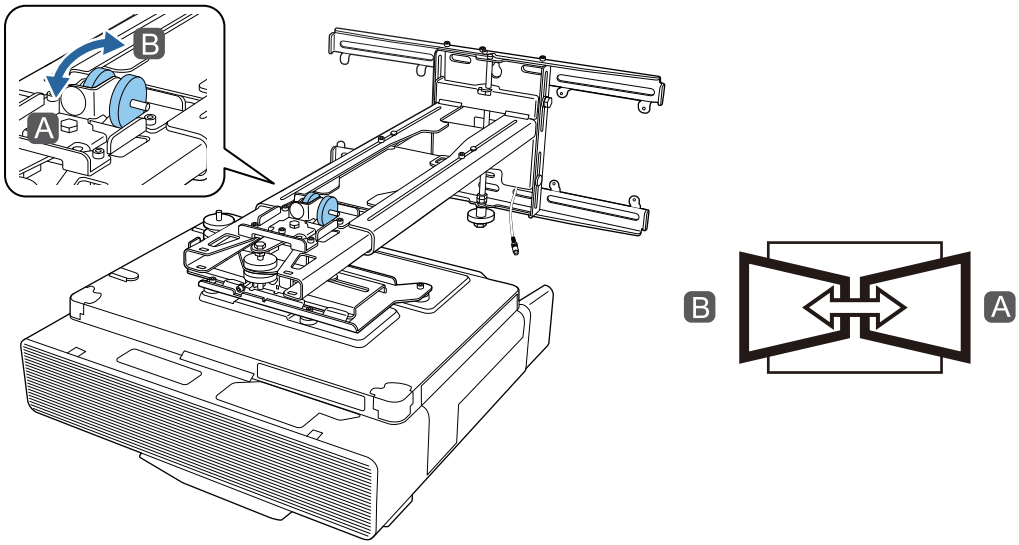



ガイド画面が表示されます。

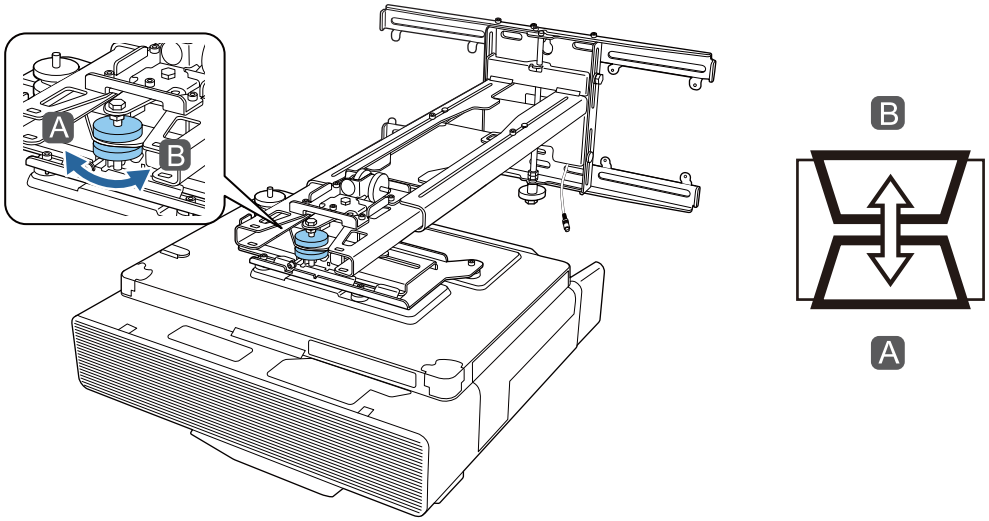
**3** 設置ガイド内 ❶ のダイヤルを回して水平ロールを調整する



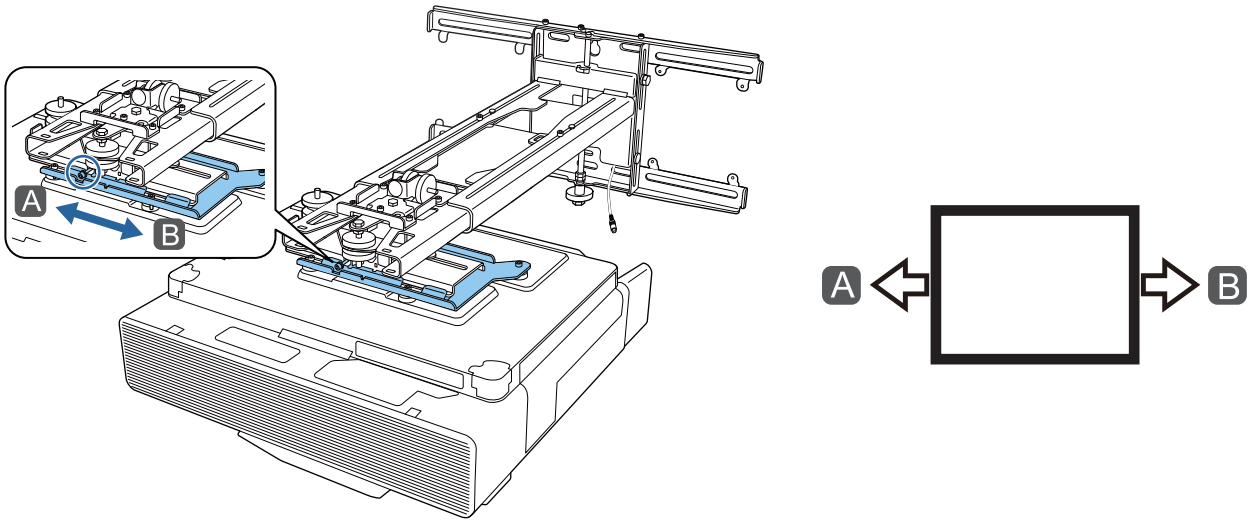

**4** M4ネジを緩めてから、設置ガイド内 ❷ のダイヤルを回して水平回転を調整する



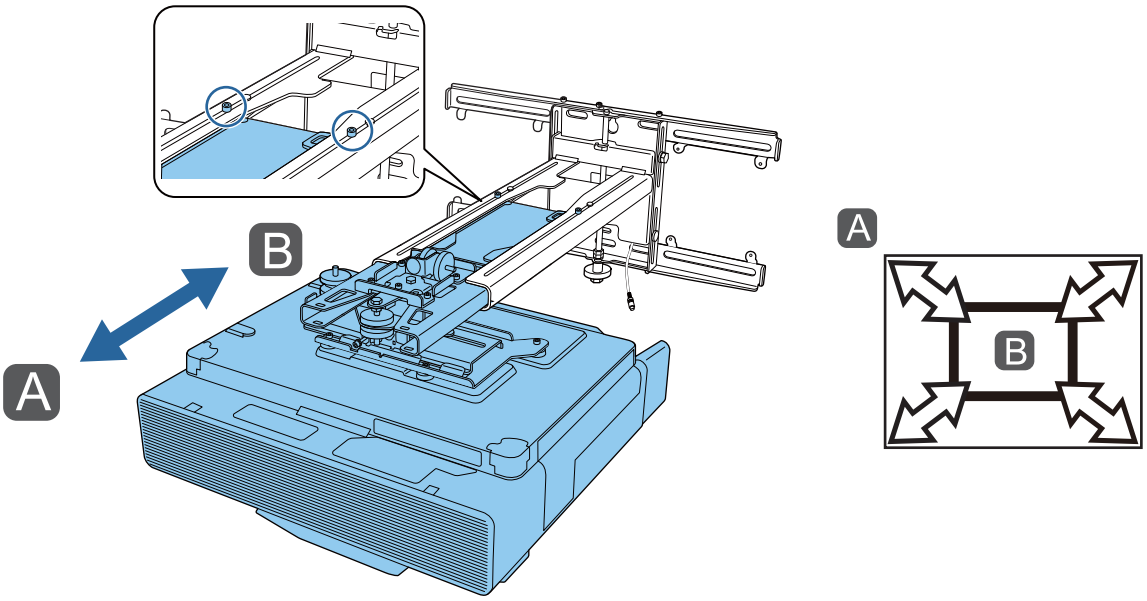

**5** 設置ガイド内 ❸ のダイヤルを回して上下チルトを調整する



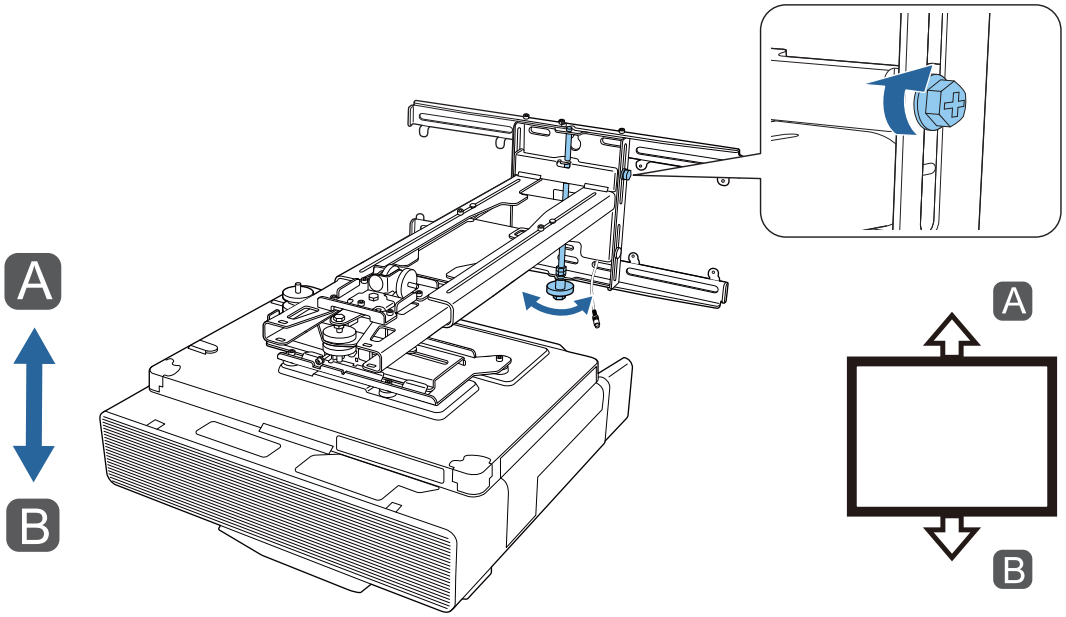
## 6 M4ボルトを緩めてから、水平スライドを調整する




## 7 M4ボルト（2本）を緩めてから、前後スライドを調整する



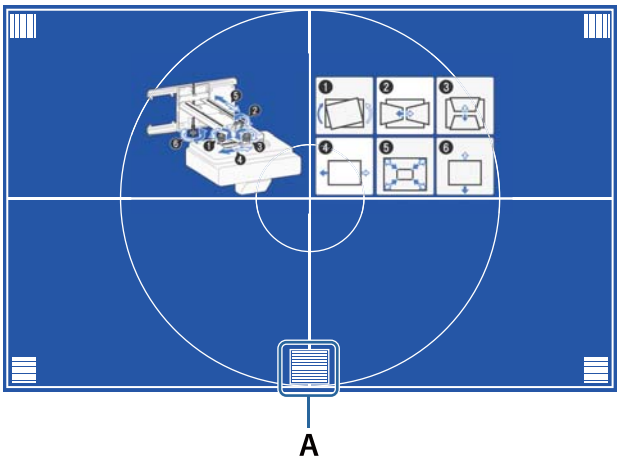
## 8 M6ボルトを緩めてから、上下スライドを調整する




## 9 手順3から手順8で緩めたネジやボルトを締め直す

> ⚠ 警告
>
> すべてのボルトやネジを完全に締め直してください。十分に締めないと落下によりけがや事故の原因となります。

## 10 下図Aのピントが合うようにフォーカスを調整する




## 11 調整が終了したら、リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押して、ガイド画面を消す

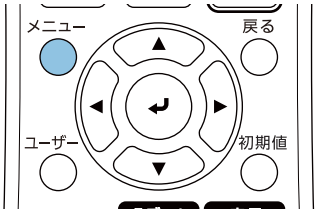
## プロジェクターメニューを使った調整

- 調整した値は、［幾何学歪み補正］メニューの［メモリー］から保存できます。
- 事前にスクリーンタイプを正しく設定してください。補正を行ったあとにスクリーンタイプを変更すると、補正前の状態に戻ります。

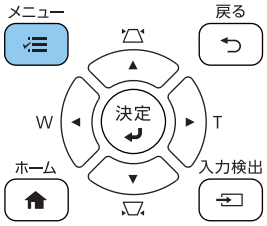
### 湾曲補正

**1** 【メニュー】ボタンを押す

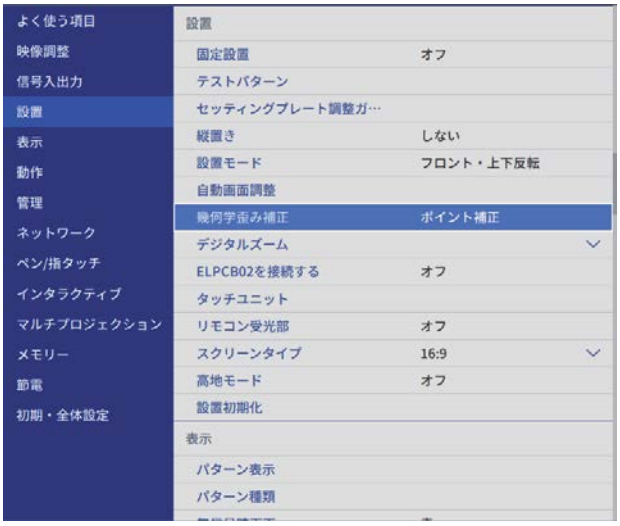
リモコンの場合




操作パネルの場合

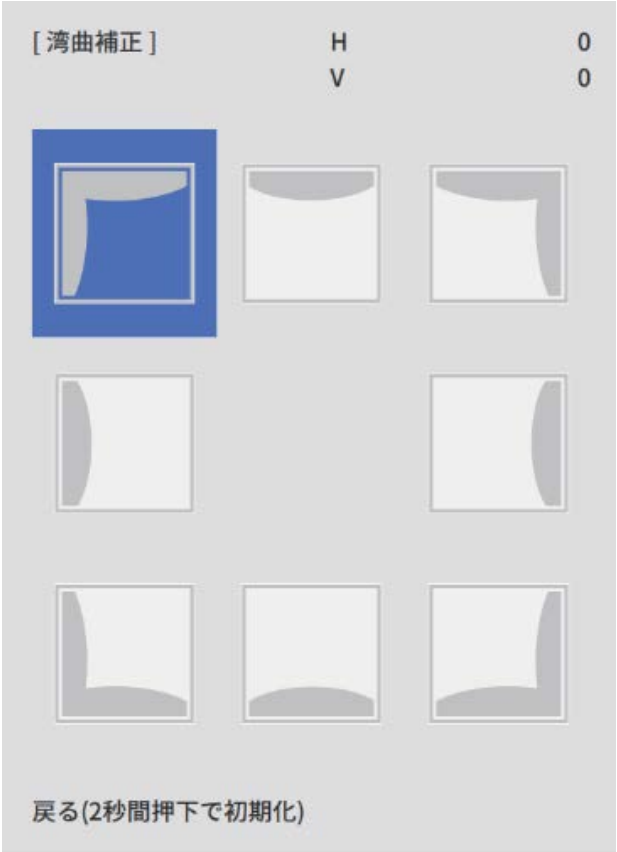



**2** ［設置］メニューの［幾何学歪み補正］を選択する




**3** ［湾曲補正］を選択する

## 4 補正する辺を選択して調整する



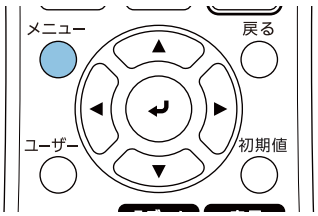

調整できない範囲に達したときは、［これ以上調整できません。］というメッセージが表示されます。

## 5 調整が終了したら、リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押して終了する

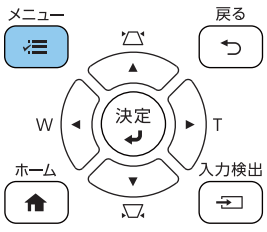
### Quick Corner

## 1 【メニュー】ボタンを押す

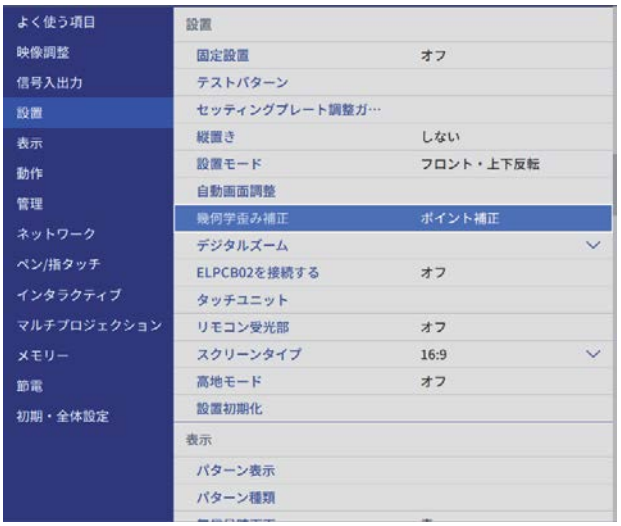
リモコンの場合




操作パネルの場合

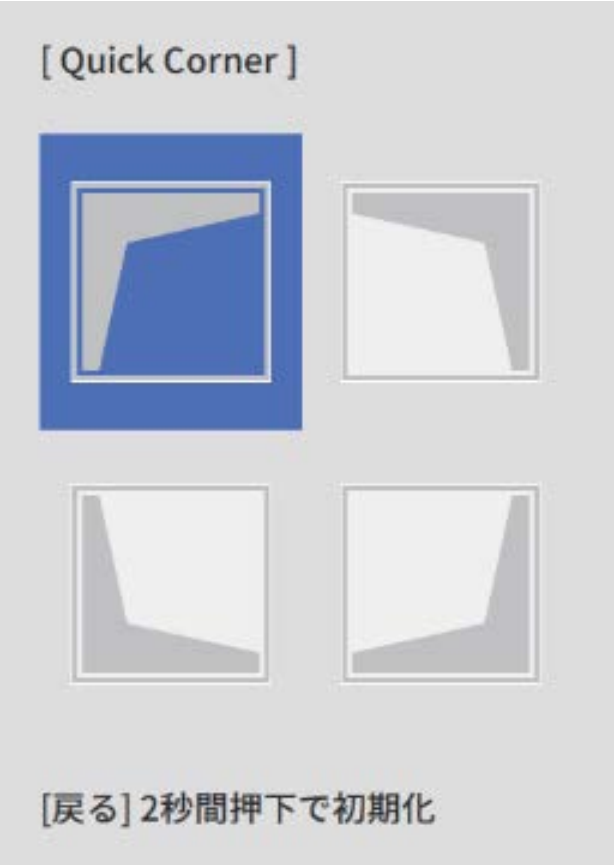


## 2 ［設置］メニューの［幾何学歪み補正］を選択する




## 3 ［Quick Corner］を選択する

## 4 補正する辺を選択して調整する




調整できない範囲に達したときは、［これ以上調整できません。］というメッセージが表示されます。

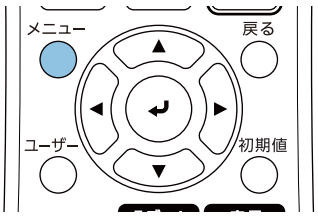
辺の調整中、リモコンの【1】【3】【7】【9】ボタンで補正する辺を切り替えられます。

## 5 調整が終了したら、リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押して終了する

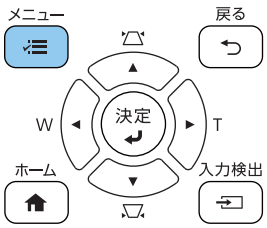
### ポイント補正

## 1 【メニュー】ボタンを押す

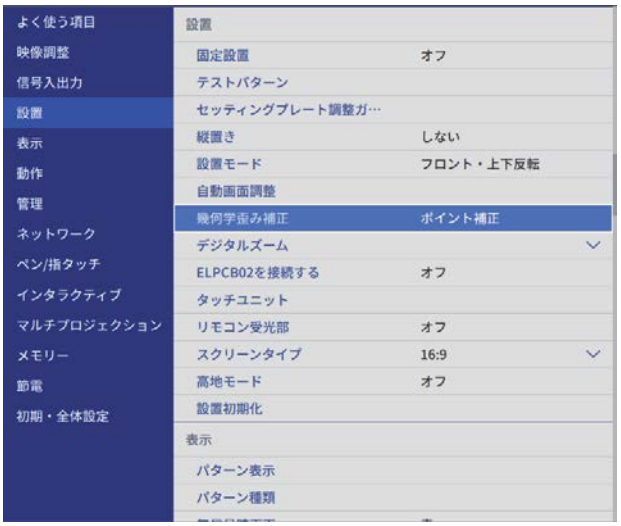
リモコンの場合




操作パネルの場合

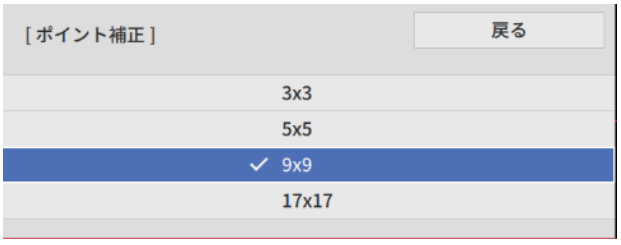


## 2 ［設置］メニューの［幾何学歪み補正］を選択する

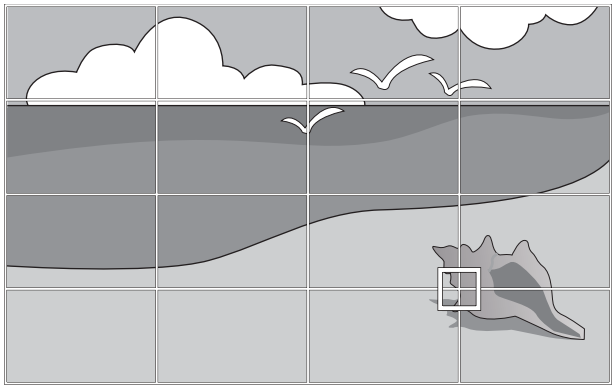


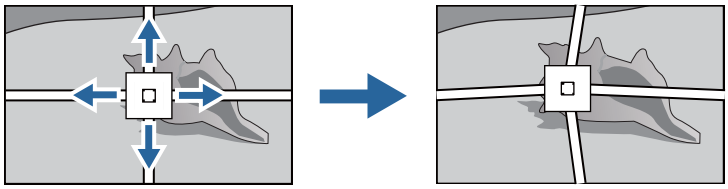

## 3 ［ポイント補正］を選択する

## 4 ［ポイント補正］を選択して、グリッド数を設定する



5 補正するポイントを選択して調整する



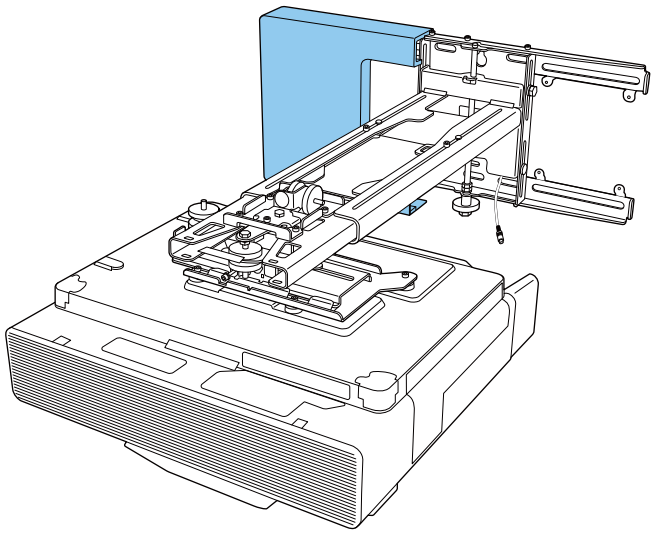


グリッドが見えにくいときは、［パターン色］でグリッドの色を変更します。

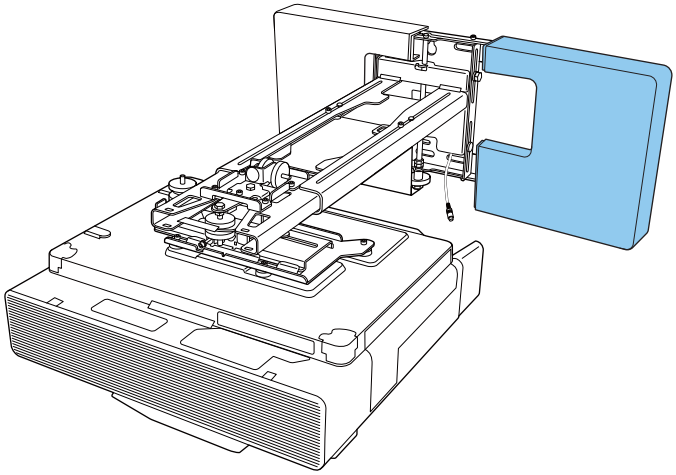
6 調整が終了したら、リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押して終了する

## カバーの取り付け

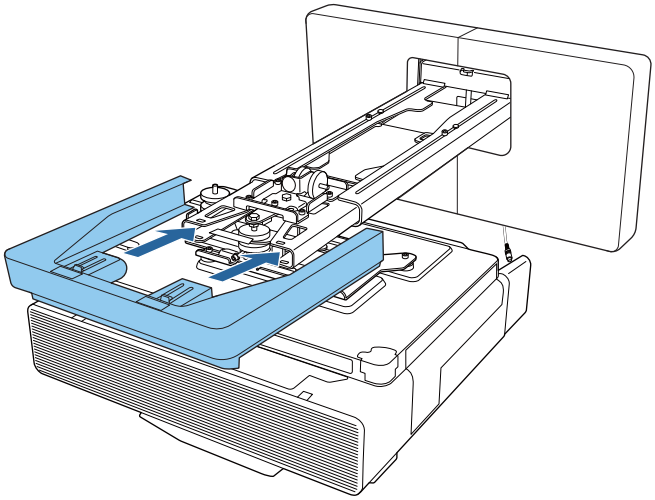
1 左側のウォールプレートカバーを取り付ける



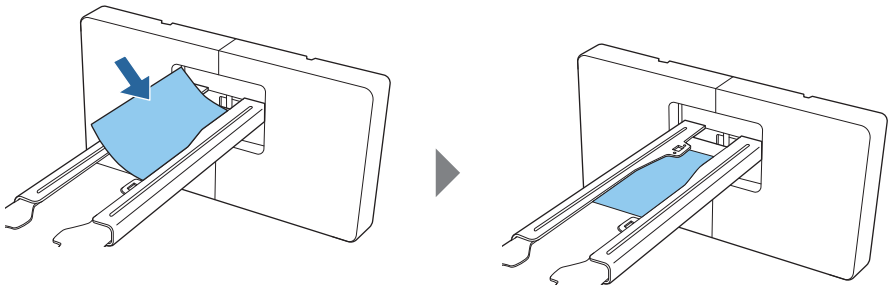
## 2 右側のウォールプレートカバーを取り付ける



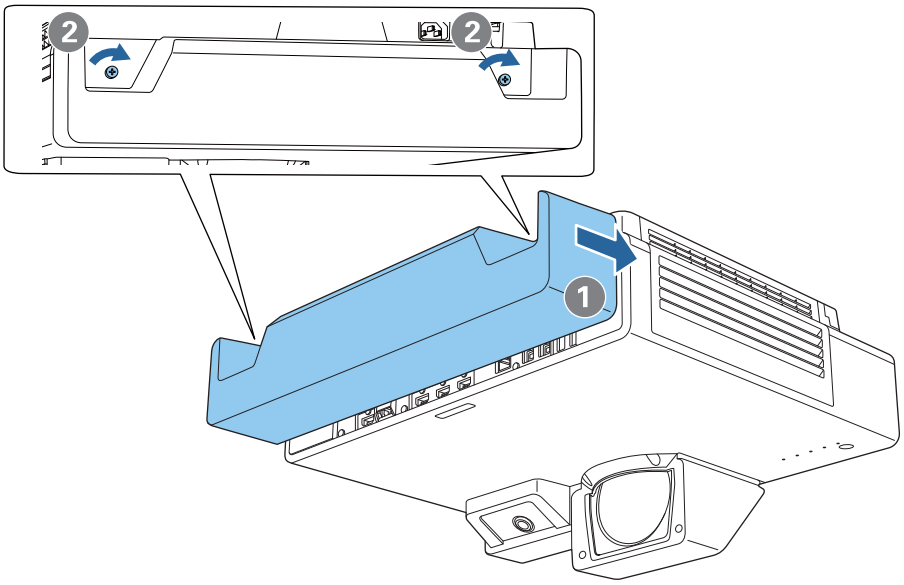
## 3 エンドキャップをセッティングプレートにはめ込む



アームの空洞が気になるときは、同梱の目隠しシールを貼り付けてください。



4 プロジェクターにケーブルカバーを取り付けて、ネジ（2本）で固定する

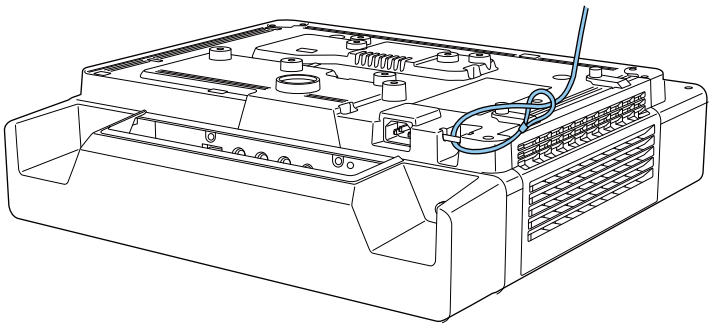



## セキュリティーケーブルの取り付け

必要に応じて、以下のいずれかの方法でセキュリティー対策を行ってください。

- 市販の盗難防止用ワイヤーロックを取り付ける

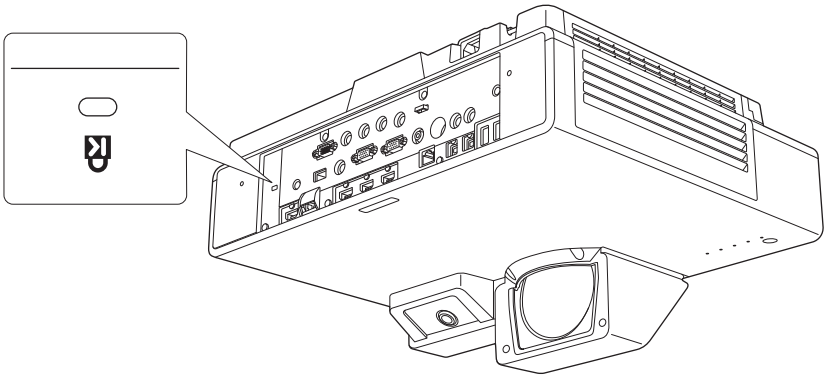
  プロジェクターとセッティングプレートそれぞれのセキュリティーケーブル取り付け部にワイヤーを通して施錠してください。



- Kensington社製のセキュリティーワイヤーを取り付ける

  Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティーシステムに対応したセキュリティースロットが搭載されています。マイクロセーバーセキュリティーシステムについての詳細は、以下をご覧ください。

  http://www.kensington.com/



# 一括設定機能

1台のプロジェクターで設定したプロジェクターメニューの内容を、他の複数のプロジェクターに一括で設定できます（一括設定機能）。一括設定機能は同じ型番のプロジェクター間でのみ使用できます。

以下のいずれかの方法で設定します。

- USBメモリーを使って設定する。
- コンピューターとプロジェクターをUSBケーブルで接続して設定する。
- Epson Projector Managementを経由して設定する。

本書では、USBメモリーを使う方法とUSBケーブルを使う方法を説明します。

Epson Projector Managementを経由して設定する方法は、『Epson Projector Management 操作ガイド』をご覧ください。

- 一括設定機能で反映する内容は、［管理］メニューの［一括設定範囲］で設定できます。
  - ［すべて］に設定すると、すべての設定項目が反映されます。
  - ［一部］に設定すると、［ネットワーク］メニュー（［メール通知］と［プロジェクター制御］を除く）の設定以外が反映されます。
- プロジェクターの位置調整を行う前に一括設定を行ってください。一括設定機能では、幾何学歪み補正などの投写画面の調整値も反映されます。プロジェクターの位置調整後に一括設定を行うと、調整した投写画面が変わってしまうことがあります。
- 一括設定機能を使うと、登録してあるユーザーロゴも他のプロジェクターに反映されます。機密情報などをユーザーロゴとして登録しないでください。

**注意**

一括設定は、お客様の責任において行ってください。停電や通信異常などが原因で一括設定に失敗したときは、修理費用が有償となることがあります。

## USBメモリーを使って設定する

USBメモリーを使って一括設定を行う方法を説明します。

- FAT 形式でフォーマットしたUSBメモリーを使用してください。
- セキュリティー機能が付いているUSBメモリーでは、一括設定機能が利用できません。セキュリティー機能の付いていないUSBメモリーをお使いください。
- USBカードリーダーやUSBハードディスクでは、一括設定機能は利用できません。

### 設定値をUSBメモリーに保存する

1 プロジェクターから電源コードを抜いて、プロジェクターのインジケーターがすべて消灯していることを確認する

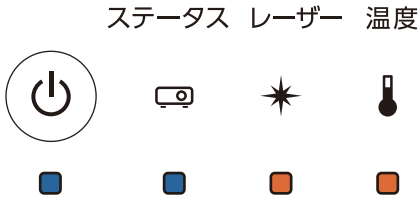
### 2 USBメモリーをプロジェクターのUSB-A端子に接続する

- USB メモリーは、プロジェクターに直接接続してください。USB ハブを介してUSBメモリーを接続すると、設定値の保存が正常に行われないことがあります。
- 空のUSBメモリーを接続してください。一括設定ファイル以外のデータが入っていると、設定値が正しく保存できないことがあります。
- 一括設定したファイルのファイル名はPJCONFDATA.binです。ファイル名を変更するときはPJCONFDATAの後ろに任意の文字列を追加してください。他のファイル名に変更すると、プロジェクターが正しく認識できないことがあります。
- 2バイト以上の文字は、ファイル名に使えません。

### 3 リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押したまま、プロジェクターに電源コードを接続する

電源インジケーターとステータスインジケーターが青色に、レーザーインジケーターと温度インジケーターが橙色に、それぞれ点灯します。

プロジェクターのインジケーターがすべて点灯したら、【戻る】ボタンを離してください。

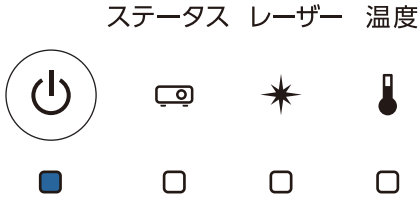



すべてのインジケーターが点滅に変わると、一括設定ファイルの書き込みが始まります。

**注意**

- ファイルの書き込み中は、プロジェクターから電源コードを抜かないでください。電源コードを抜くと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。
- ファイルの書き込み中は、プロジェクターからUSBメモリーを抜かないでください。USBメモリーを抜くと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。

書き込みが正常に終了すると、プロジェクターの電源がオフになり、電源インジケーターのみが青色に点灯します。




プロジェクターの電源がオフになったら、USBメモリーを抜きます。

## 保存した設定値を他のプロジェクターに反映する

### 1 プロジェクターから電源コードを抜いて、プロジェクターのインジケーターがすべて消灯していることを確認する

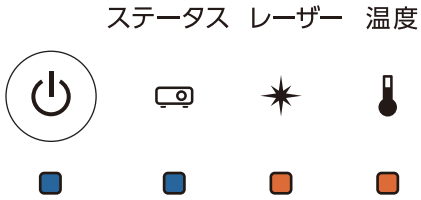
## 2 一括設定ファイルを保存したUSBメモリーを、プロジェクターのUSB-A端子に接続する

USBメモリーには一括設定ファイル以外のデータを入れないでください。一括設定ファイル以外のデータが入っていると、設定値が正しく反映できないことがあります。

## 3 リモコンまたは操作パネルの【メニュー】ボタンを押したまま、プロジェクターに電源コードを接続する

電源インジケーターとステータスインジケーターが青色に、レーザーインジケーターと温度インジケーターが橙色に、それぞれ点灯します。

プロジェクターのインジケーターがすべて点灯したら、【メニュー】ボタンを離してください。インジケーターは約75秒点灯します。

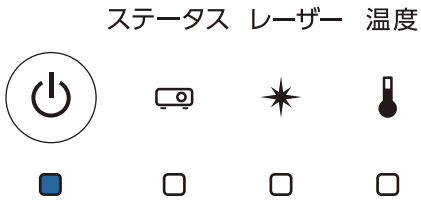



すべてのインジケーターが点滅に変わると、設定値の書き込みが始まります。

**注意**

- 設定値の書き込み中は、プロジェクターから電源コードを抜かないでください。電源コードを抜くと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。
- 設定値の書き込み中は、プロジェクターからUSBメモリーを抜かないでください。USBメモリーを抜くと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。

書き込みが正常に終了すると、プロジェクターの電源がオフになり、電源インジケーターのみが青色に点灯します。




プロジェクターの電源がオフになったら、USBメモリーを抜きます。

# コンピューターとプロジェクターをUSBケーブルで接続して設定する

一括設定機能の対応OSは以下のとおりです。

- Windows 7 以降
- OS X 10.11以降

## 設定値をコンピューターに保存する

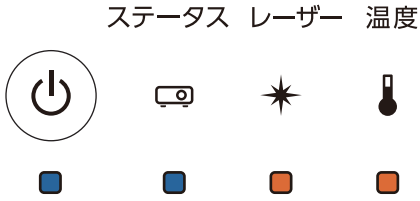
1 プロジェクターから電源コードを抜いて、プロジェクターのインジケーターがすべて消灯していることを確認する

2 コンピューターのUSB 端子とプロジェクターのUSB-B 端子をUSB ケーブルで接続する

3 リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押したまま、プロジェクターに電源コードを接続する

電源インジケーターとステータスインジケーターが青色に、レーザーインジケーターと温度インジケーターが橙色に、それぞれ点灯します。

プロジェクターのインジケーターがすべて点灯したら、【戻る】ボタンを離してください。




コンピューター上で、プロジェクターがリムーバブルディスクとして認識されます。

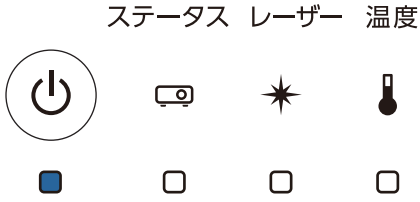
4 リムーバブルディスクを開き、一括設定ファイル（PJCONFDATA.bin）をコンピューターに保存する

一括設定ファイルのファイル名を変更するときはPJCONFDATAの後ろに任意の文字列を追加してください。他のファイル名に変更すると、正しく認識できないことがあります。2バイト以上の文字は、ファイル名に使えません。

5 コンピューター上で「USBデバイスの取り外し」を行ってから、USBケーブルを抜く

Macをお使いの場合は、「"EPSON_PJ"の取り出し」を行ってください。

プロジェクターの電源がオフになり、電源インジケーターのみが青色に点灯します。



## 保存した設定値を他のプロジェクターに反映する

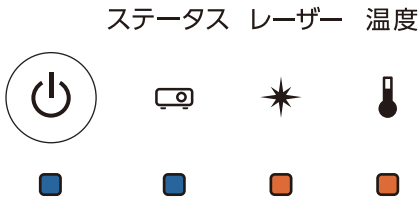
1 プロジェクターから電源コードを抜いて、プロジェクターのインジケーターがすべて消灯していることを確認する

2 コンピューターのUSB 端子とプロジェクターのUSB-B 端子をUSB ケーブルで接続する

3 リモコンまたは操作パネルの【メニュー】ボタンを押したまま、プロジェクターに電源コードを接続する

電源インジケーターとステータスインジケーターが青色に、レーザーインジケーターと温度インジケーターが橙色に、それぞれ点灯します。

プロジェクターのインジケーターがすべて点灯したら、【メニュー】ボタンを離してください。




コンピューター上で、プロジェクターがリムーバブルディスクとして認識されます。

4 コンピューターに保存した一括設定ファイル（PJCONFDATA.bin）をリムーバブルディスクの最上位フォルダーにコピーする

リムーバブルディスク上に、一括設定ファイル以外のファイルやフォルダーをコピーしないでください。

## 5 コンピューター上で「USBデバイスの取り外し」を行ってから、USBケーブルを抜く

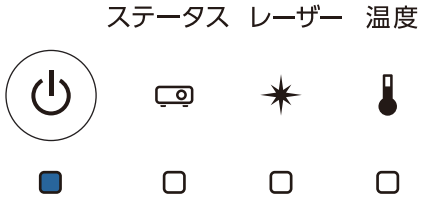
Macをお使いの場合は、「"EPSON_PJ"の取り出し」を行ってください。

すべてのインジケーターが点滅すると、設定値の書き込みが始まります。

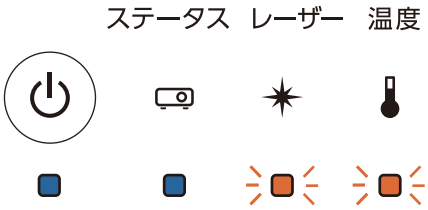
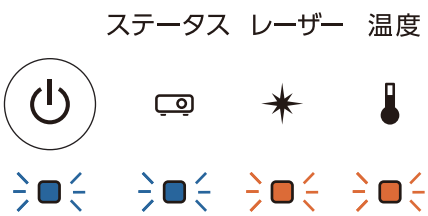
**注意**

設定値の書き込み中は、プロジェクターから電源コードを抜かないでください。電源コードを抜くと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。

書き込みが正常に終了すると、プロジェクターの電源がオフになり、電源インジケーターのみが青色に点灯します。

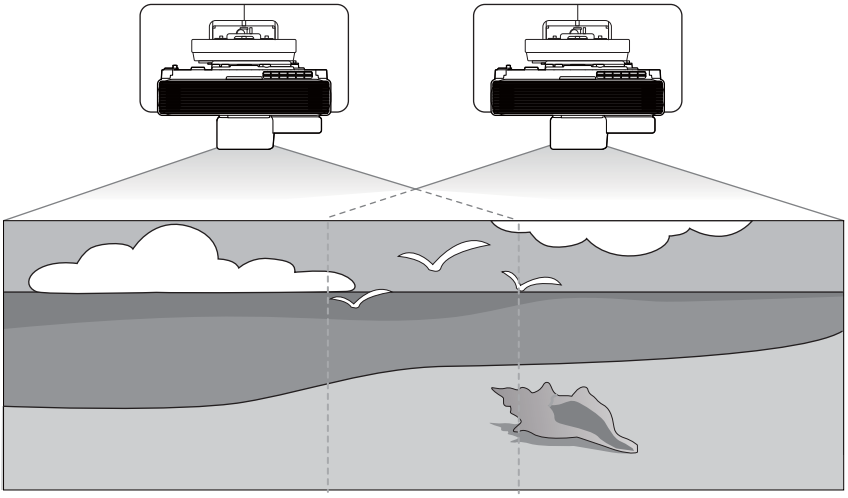



## 設定がうまくいかないときは

| 確認 | 対処法 |
|---|---|
| レーザーインジケーター、温度インジケーターが、橙色に速く点滅していませんか？<br>  | 一括設定ファイルに異常があるか、USBメモリーまたはUSBケーブルが正しく接続できていない可能性があります。USBメモリーまたはUSBケーブルを取り外し、プロジェクターの電源コードを抜いて差し直してから、もう一度お試しください。 |
| 電源インジケーターとステータスインジケーターが青色に、レーザーインジケーターと温度インジケーターが橙色に、それぞれ速く点滅していませんか？<br>  | 設定値の書き込みに失敗して、プロジェクターのファームウェアに異常が生じた可能性があります。ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。 |

# 本機を複数台並べて設置する（マルチプロジェクション）

複数台のプロジェクターを並べて設置して、1つの大きな画面を投写できます（マルチプロジェクション）。



マルチプロジェクションを行うときの接続方法については「複数台のプロジェクター同士の接続」p.14をご確認ください。

接続が終了したら、以下の設定が必要です。

- プロジェクターIDの設定（☛ p.76）
- マルチプロジェクションの接続設定（☛ p.77）
- HDMIリンク設定（☛ p.80）
- マルチプロジェクションの映像設定（☛ p.81）
- プロジェクターの同期設定（インタラクティブ機能を使用する場合のみ）（☛ p.82）
- EDID設定（インタラクティブ機能を使用する場合のみ）（☛ p.83）

マルチプロジェクションでインタラクティブ機能を使用するときは、上記の設定が済んでから下記を行ってください。

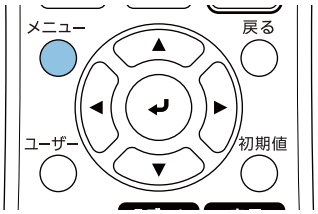
- インタラクティブペンの位置合わせ（☛ p.95）
- タッチユニット設置（☛ p.99）

マルチプロジェクションの設定を行うときは、プロジェクターメニューから［動作］ - ［スリープモード］を［オフ］にすることをお勧めします。

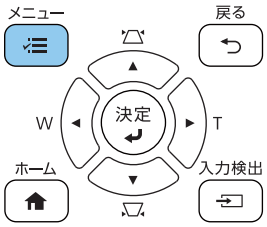
# プロジェクターID の設定

## 1 プロジェクターの電源をオンにして、【メニュー】ボタンを押す

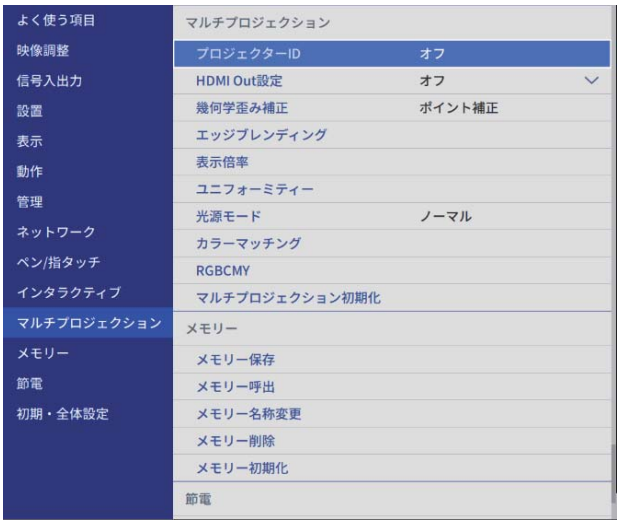
リモコンの場合




操作パネルの場合




## 2 [マルチプロジェクション] メニューで [プロジェクターID] を選択する

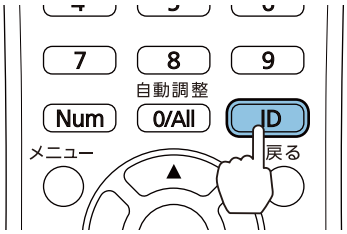



## 3 対象のプロジェクターに設定するID番号を選択する

## 4 【戻る】ボタンを押してメニューを終了する

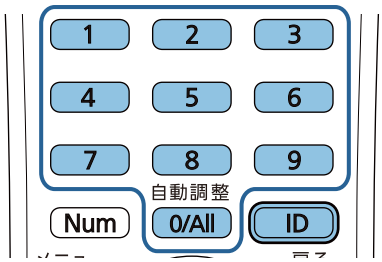
残りのプロジェクターについて、手順1 ～4 を繰り返します。

### 5 操作対象のプロジェクターにリモコンを向けて、【ID】ボタンを押す




投写画面上に現在のID番号が表示されます。

### 6 【ID】ボタンを押したまま、操作対象のプロジェクターIDと同じ数字のボタンを押す




選択したIDが設定されたプロジェクターのリモコン操作が有効になります。

- ［プロジェクターID］を［オフ］に設定しているときは、リモコンで選択したID設定に関わらず、プロジェクターをリモコンで操作できます。
- リモコンでIDを0に選択したときは、プロジェクターIDの設定に関わらず、すべてのプロジェクターを操作できます。
- 複数のリモコンを同時に操作すると、赤外線の干渉により意図しない動作となることがあります。

## マルチプロジェクションの接続設定

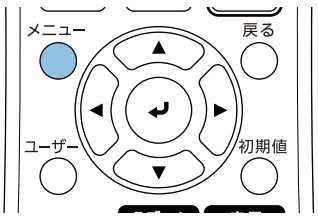
接続しているすべてのプロジェクターで、下記の設定を行ってください。インタラクティブ機能を使うかどうかによって設定が異なります。

- インタラクティブ機能を使用する場合（ p.77）
- インタラクティブ機能を使用しない場合（ p.79）

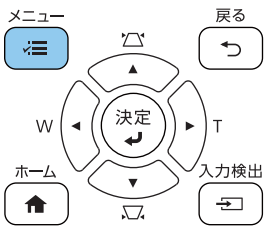
### インタラクティブ機能を使用する場合

### 1 プロジェクターの【メニュー】ボタンを押す

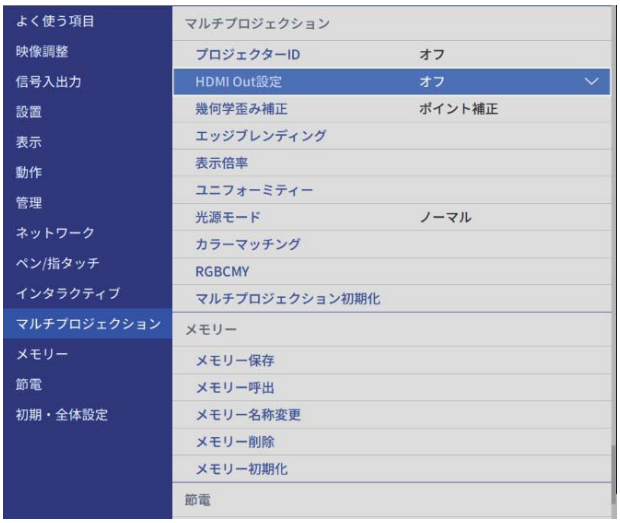
リモコンの場合




操作パネルの場合



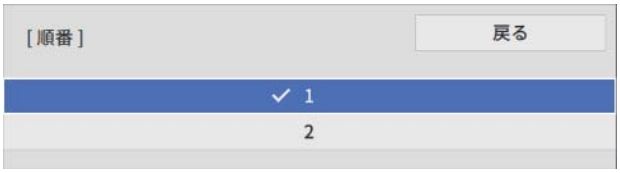
## 2 ［マルチプロジェクション］メニューの［HDMI Out設定］を選択する




## 3 ［複数台連結］を選択する

## 4 順番を設定する

左側のプロジェクターを［1］、右側のプロジェクターを［2］に設定します。



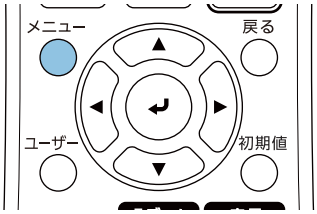

## 5 ［PCの接続］を設定する

コンピューターを接続しているプロジェクターのみ［する］に設定します。コンピューターを接続していないプロジェクターは［しない］に設定します。

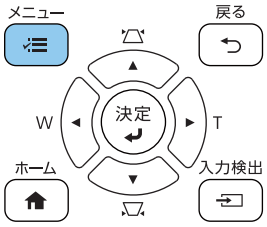
## インタラクティブ機能を使用しない場合

### 1 【メニュー】ボタンを押す

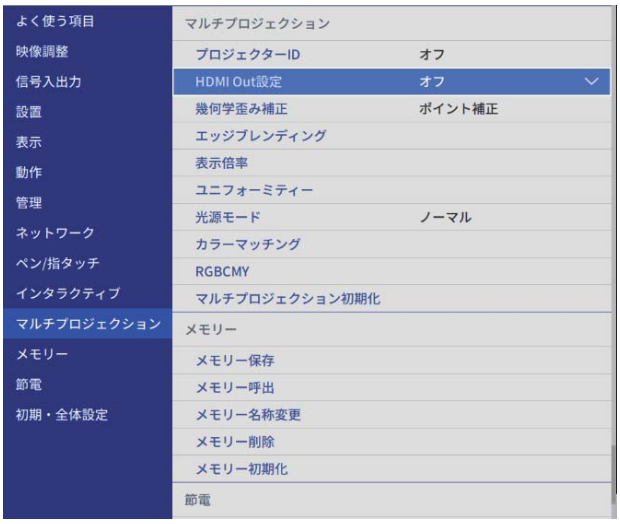
リモコンの場合




操作パネルの場合



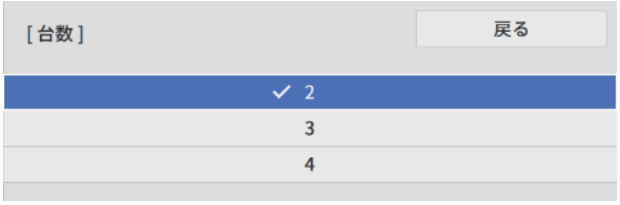

### 2 [マルチプロジェクション]メニューの[HDMI Out設定]を選択する




### 3 [パススルー]を選択する

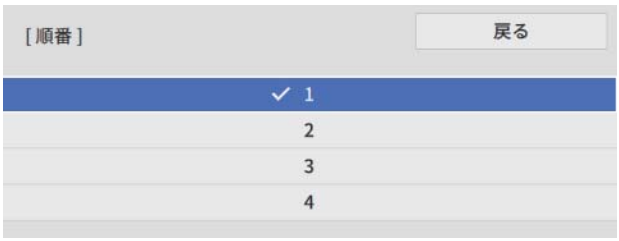
### 4 [台数]を設定する

接続している台数を設定します。



### 5 順番を設定する

左端にあるプロジェクターを［1］として、プロジェクターの位置を設定します。

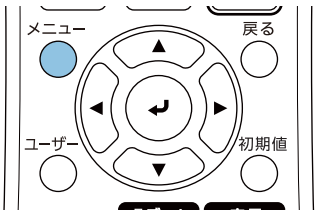



## HDMIリンク設定

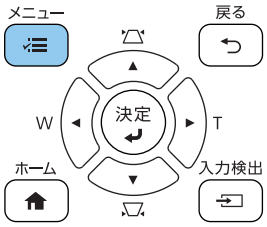
HDMIリンク機能を使って、複数のプロジェクターの電源オン/オフを連動します。

### 1 【メニュー】ボタンを押す

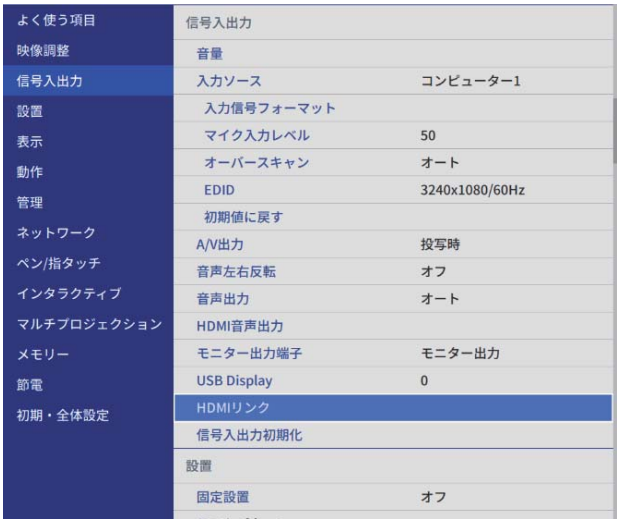
リモコンの場合




操作パネルの場合



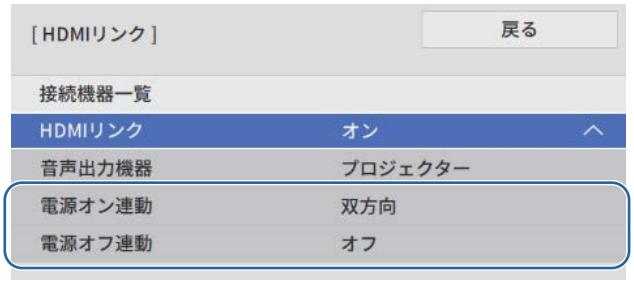

### 2 ［信号入出力］メニューの［HDMIリンク］を選択する




### 3 ［HDMIリンク］を選択する

## 4 [オン]を選択する

## 5 連動したい操作に合わせて、[電源オン連動]と[電源オフ連動]を設定する

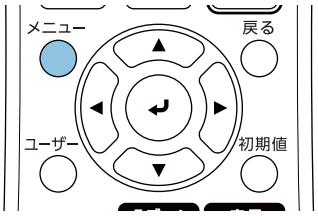



# マルチプロジェクションの映像調整

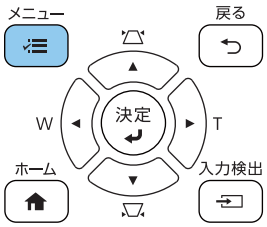
プロジェクターの電源を入れた直後は映像が安定しません。投写開始後、20分以上経ってから映像の調整を行ってください。

## 1 プロジェクターの電源をオンにして、【メニュー】ボタンを押す

リモコンの場合




操作パネルの場合




## 2 [マルチプロジェクション]メニューで、必要な設定を行う

設定方法の詳細はプロジェクターの『取扱説明書』をご覧ください。

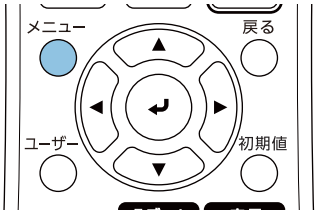
| | |
|---|---|
| [エッジブレンディング]<br>[黒レベル調整] | 映像のつなぎ目や映像が重なった部分を目立たないように調整します。<br>(☛「取り付け寸法図」 p.11) |
| [表示倍率] | 映像の拡大率と切り出し位置を設定します。 |
| [ユニフォーミティー]<br>[カラーマッチング]<br>[RGBCMY] | 映像全体の色が均一に見えるように、プロジェクターごとの映像の色味を調整します。 |

## プロジェクターの同期設定（インタラクティブ機能を使う場合のみ）

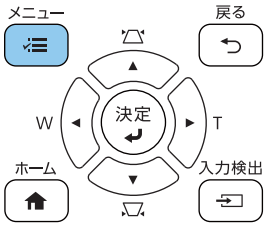
事前にワイヤードリモコンケーブル（ELPKC28）でプロジェクター同士を接続します。詳細は「複数台のプロジェクター同士の接続」 p.14をご確認ください。

### 1 【メニュー】ボタンを押す

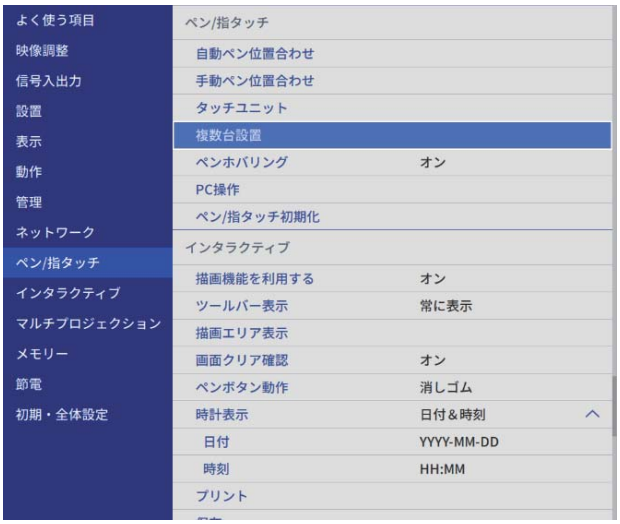
リモコンの場合




操作パネルの場合




### 2 [ペン/指タッチ]メニューの[複数台設置]を選択する



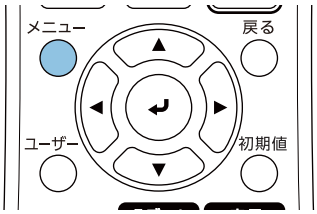

### 3 [複数台同期]を選択する

### 4 [有線接続]を選択する

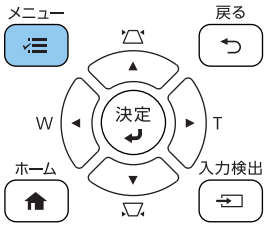
# EDIDの設定（インタラクティブ機能を使う場合のみ）

## 1 【メニュー】ボタンを押す

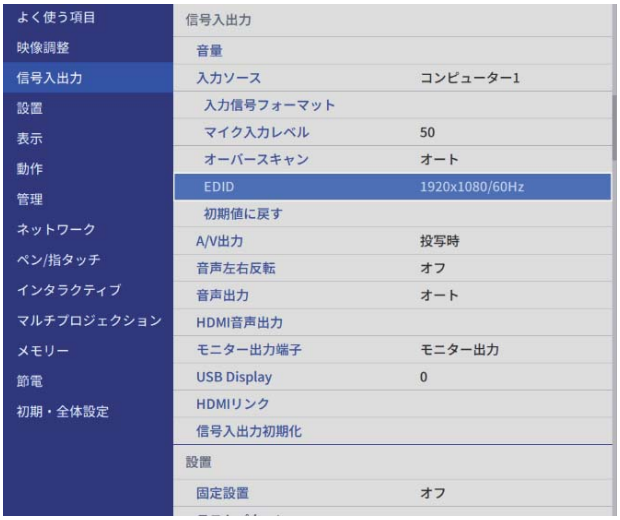
リモコンの場合




操作パネルの場合




## 2 [信号入出力]メニューの［EDID］を選択する




## 3 [3240x1080/60Hz]を選択する

# コントロールパッドに関するご注意

| ⚠警告 | |
|---|---|
| **EB-1485FT以外のプロジェクターや他の機器に接続しないでください。**<br>機器が故障する可能性があります。 | |
| **ケーブルはネジやボルトを避けて配線してください。**<br>ケーブルの取り扱いを誤ると、火災・感電の原因となります。 | |
| **同梱の電源ケーブルはELPHD02専用です。他の機器には使用しないでください** | |
| **破損した電源ケーブルは使用しないでください。**<br>火災・感電の原因となります。万が一、電源ケーブルが破損（芯線の露出、断線など）した場合は、お買い上げの販売店またはエプソン各修理センターにご相談ください。 | |
| **電源ケーブルをコントロールパッドに接続するときは、同梱のACアダプター以外のACアダプターは使用しないでください。**<br>故障、過熱、発煙のおそれがあり、火災・感電の原因となります。 | |
| **ACアダプターは、指定された電源電圧以外の電圧では使用しないでください。**<br>故障、過熱、発煙のおそれがあり、火災・感電の原因となります。 | |
| **ACアダプターのコードを引っ張ったり、コードの上に重いものをのせないでください。また、電源ケーブルを加工しないでください。**<br>火災・感電の原因となります。 | |
| **ACアダプターを踏んだり、落としたり、叩いたりなど、強い力や衝撃を与えないでください。**<br>破損するおそれがあります。ACアダプターが破損した場合はコントロールパッドの電源を切って電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店へご相談ください。破損したまま使用すると火災・感電の原因となります。 | |
| **濡れた手でコントロールパッドやACアダプター、電源プラグを操作しないでください。**<br>故障や火災・感電の原因となります。 | |
| **電源プラグをつなぐ前に、必ず接地接続を行ってください。また、接地接続を外すときは、電源プラグを外してから行ってください。** | |
| **電源プラグの取り扱いには注意してください。**<br>取り扱いを誤ると、断線や破損の原因となり、火災・感電のおそれがあります。取り扱いの際は、次の点を守ってください。<br>• たこ足配線はしない。<br>• ホコリなどの異物を付着させたまま電源プラグを差し込まない。<br>• 電源プラグは根本まで確実に差し込む。<br>• 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。<br>• 電源プラグを抜くときは、電源ケーブルを引っ張らないようにして、必ずプラグ本体を持って抜く。 | |
| **コントロールパッドを移動するときは、必ず電源を切り、ACアダプターを外し、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。** | |

| ⚠ 警告 | |
|---|---|
| **次のような異常のときは、すぐに電源を切り、ACアダプター、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンターにご相談ください。**<br>• 煙が出ている、変なにおい、変な音がする<br>• コントロールパッドの内部に水や異物が入った<br>• コントロールパッドを落としたり、ケースを破損した | |
| **ACアダプターにお茶、コーヒー、ジュースなどの飲み物をこぼしたり、殺虫剤をかけたりしないでください。**<br>故障や火災・感電の原因となります。飲み物などがACアダプターにかかってしまった場合には、電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 | |
| **ACアダプターを狭い場所に設置したり、同梱のACアダプターホルダー以外の布などをかぶせないでください。**<br>ACアダプターが高温になり、やけどや思わぬ事故につながるおそれがあります。 | |
| **ACアダプターに電源コードを巻きつけて使用しないでください。**<br>断線や異常発熱の原因となります。 | |
| **コントロールパッドの分解・改造は絶対にしないでください。** | |
| **お手入れの際には、ACアダプター、電源プラグをコンセントから抜いて、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。** | |
| **長期間掃除を行わないと、ホコリがたまり火災や感電の原因となります。**<br>定期的に掃除を行ってください。 | |

| ⚠ 注意 | |
|---|---|
| **コントロールパッドを廃棄するときは分解しないでください。**<br>国や地域の法令や条例に従って廃棄してください。 | |

## 電波障害自主規制について

この装置は、一般財団法人VCCI協会の基準に基づくクラスB情報技術機器です。

## JIS C 61000-3-2適合品

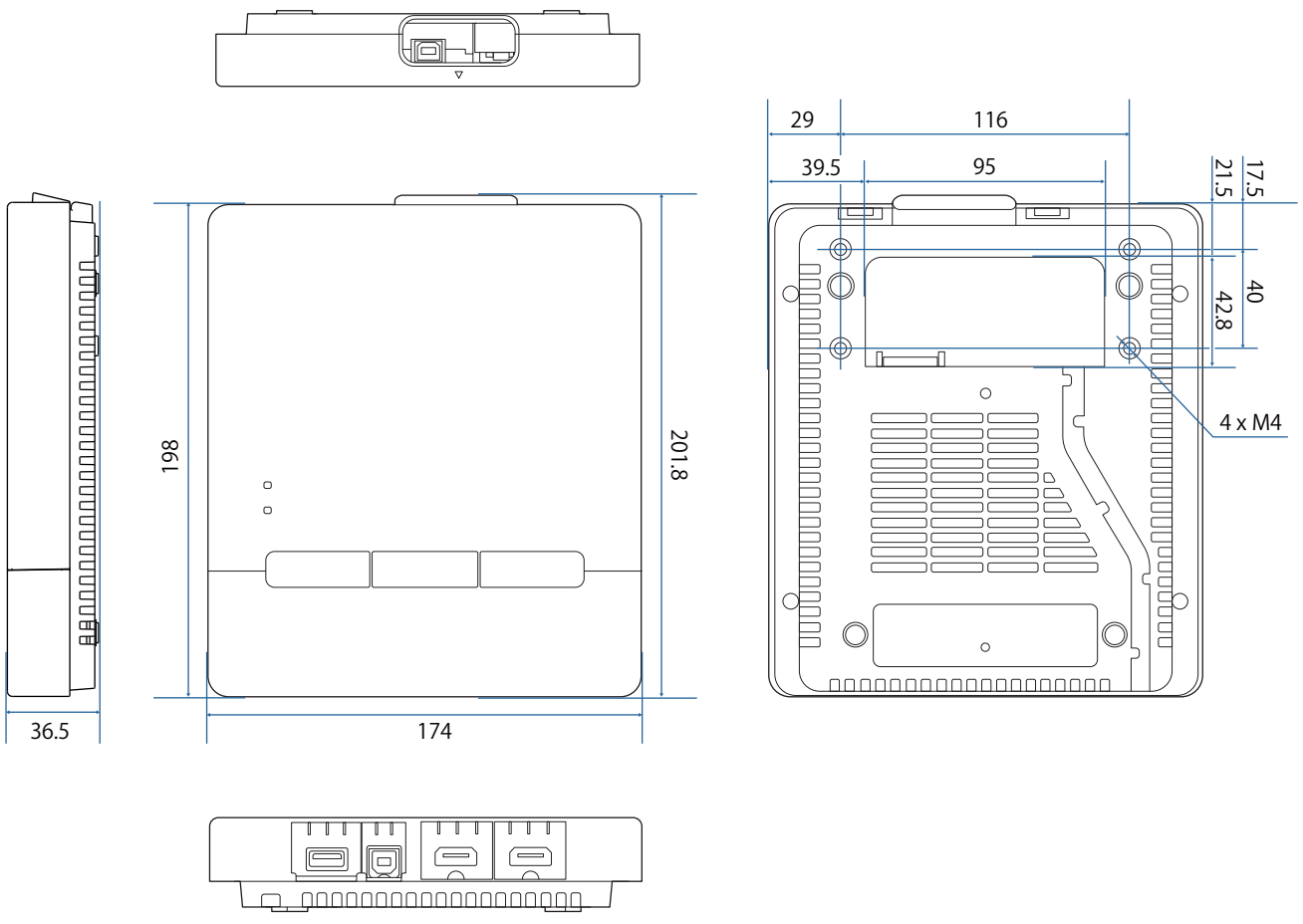
本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

# コントロールパッド仕様

| 項目 | 仕様 |
|---|---|
| コントロールパッド質量 | 約0.63kg |
| 電源（ACアダプター） | 100 - 240 V AC +/- 10%, 50/60 Hz |
| 電源 | 12VDC 2.5A 30W |
| 動作時消費電力 | 4.5W |
| 動作温度範囲 | 0～40℃（結露しないこと） |
| 動作高度 | 0 - 3048m |

## 外形寸法

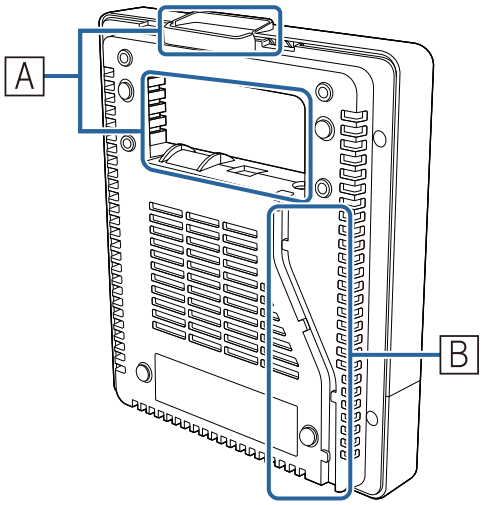
［単位：mm］




## ケーブル配線口

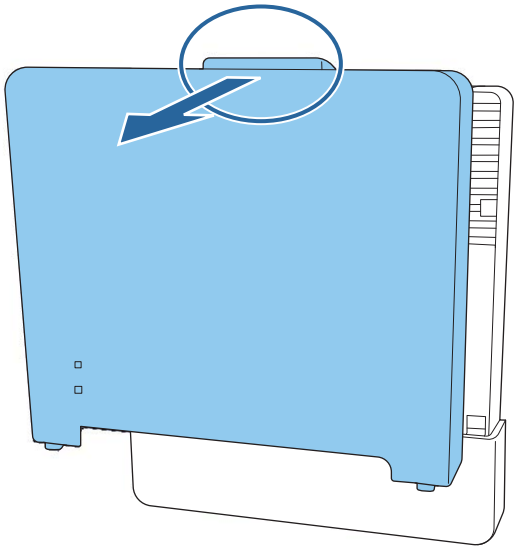
ケーブル配線口は下図 A のいずれかを使用できます。

電源ケーブルは、コントロールパッド背面にある溝（ B ）の中へ通せます。

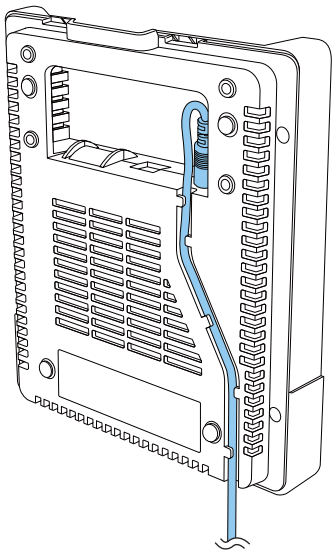

A
B

# コントロールパッド取り付け手順

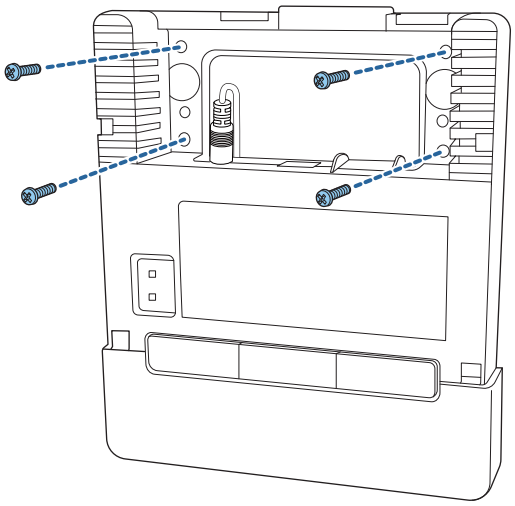
1 上部の穴に指をかけて、前面カバーを取り外す



2 電源ケーブルを接続して、余ったケーブルを背面に入れる



## 3 取り付け位置を確認して、市販のM4ネジ（20mm×4本）で固定する

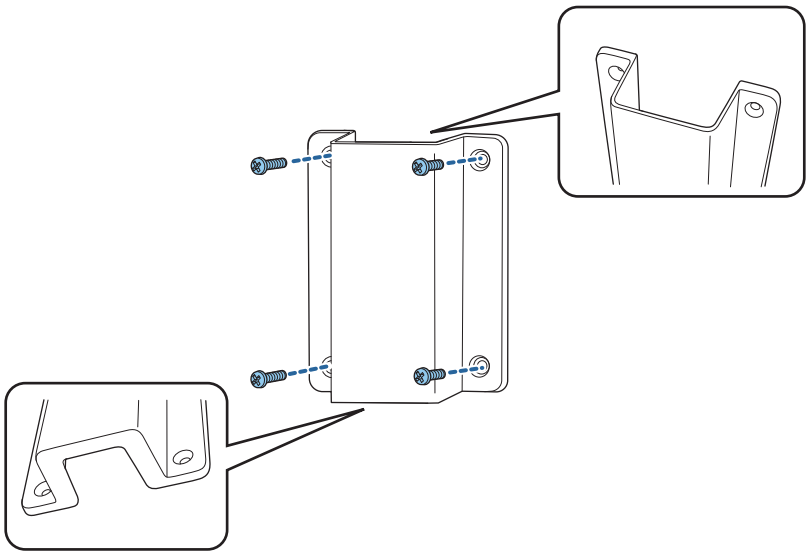


**警告**

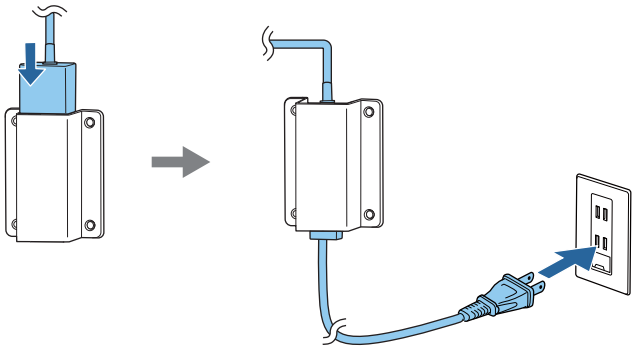
- 取り付け面に対してネジが斜めにならないように固定してください。
- コントロールパッドが確実に固定されていることを確認してください。
- コントロールパッドを両面テープやマグネットで固定しないでください。

ネジで固定する前に、コントロールパッドの動作確認を行うことをお奨めします。

## 4 ACアダプターを市販のM4ネジ（4本）で壁に固定する



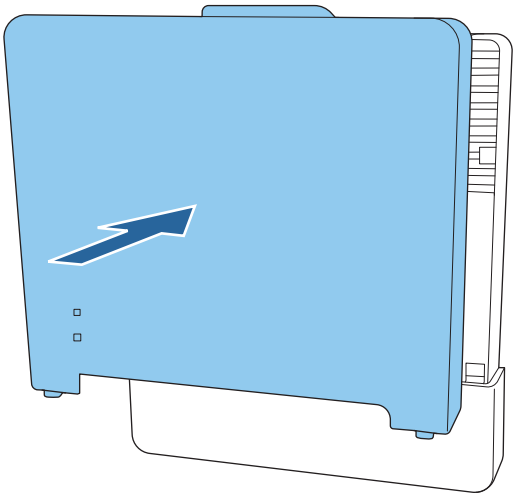
## 5 ACアダプターをホルダーに入れて、電源に接続する



## 6 プロジェクターに接続されているケーブルを、コントロールパッドに接続する

接続方法は「タッチユニットとコントロールパッドの接続」 p.13をご確認ください。

## 7 前面カバーを取り付ける



# ペンスタンドに関するご注意

| ⚠ 警告 | |
|---|---|
| **心臓ペースメーカー等の医療機器を装着している方は、ペンスタンドに近づかないでください。また、ペンスタンドを取り扱うときは、近くに心臓ペースメーカー等の医療機器を装着している方がいないことを確認してください。**<br>マグネットの磁力が強力なため電磁妨害が生じ、医療機器が誤動作する可能性があります。 | |

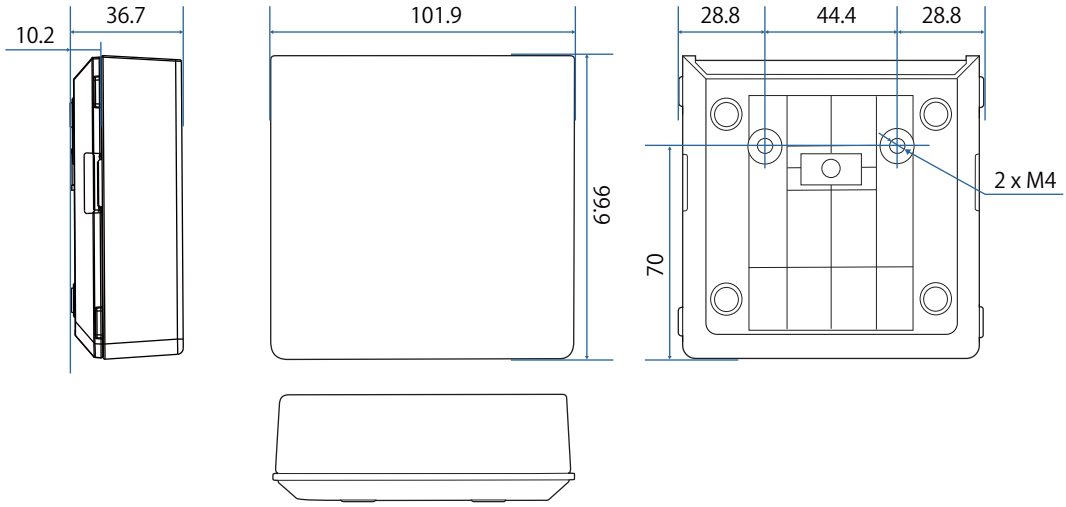
| ⚠ 注意 | |
|---|---|
| **磁気カードなどの磁気記憶媒体や、コンピューター、電子腕時計、携帯電話などの精密電子機器をペンスタンドに近づけないでください。**<br>マグネットの磁力が強力なためデータの破損や故障の原因となる可能性があります。 | |
| **ペンスタンド背面のマグネットと設置面の間には、非常に強い吸引力が働きます。取り付ける際にマグネットと設置面の間に指や体の一部をはさまないようご注意ください。** | |

# ペンスタンド仕様

| 項目 | 仕様 |
|---|---|
| ペンスタンド質量 | 約93ｇ |

## 外形寸法

［単位：mm］

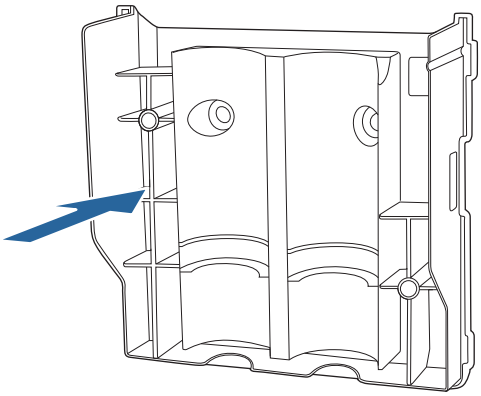


# ペンスタンド取り付け手順

ペンスタンドはマグネットまたは市販のM4ネジで固定します。

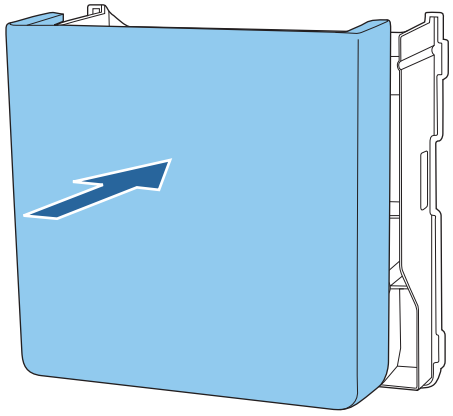
## マグネットで固定する場合

### 1 取り付け位置を確認して、マグネットで固定する



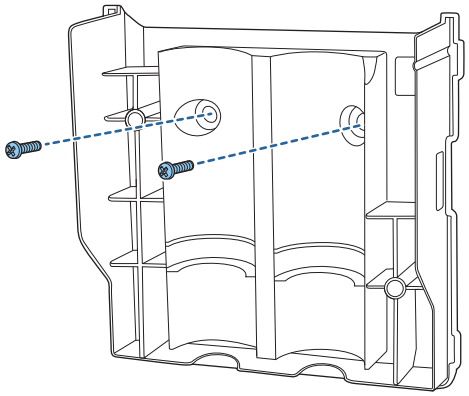
> ⚠ 注意
>
> マグネットと設置面の間には、非常に強い吸引力が働きます。マグネットと設置面の間に指や体の一部をはさまないようご注意ください。

### 2 カバーを取り付ける



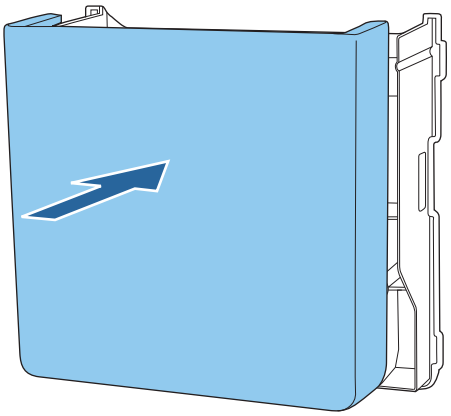
## ネジで固定する場合

**1** 取り付け位置を確認して、市販のM4ネジ（20mm×2本）で固定する



> ⚠ 警告
>
> - 取り付け面に対してネジが斜めにならないように固定してください。
> - ペンスタンドが確実に固定されていることを確認してください。

**2** カバーを取り付ける



# インタラクティブペンの位置合わせ

ペン位置合わせを行う前に、プロジェクターの映像調整を済ませてください。

ペン位置合わせは、［自動ペン位置合わせ］と［手動ペン位置合わせ］の2つの方法があります。

初めてペン位置合わせをするときは、より正確に位置を合わせるために、［手動ペン位置合わせ］を行ってください。

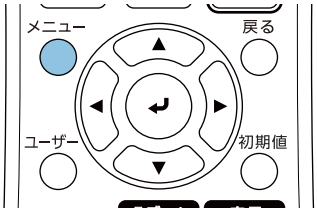
2回目以降にペン位置合わせをするときは、［自動ペン位置合わせ］を行います。( p.97)

［スクリーンタイプ］を［16:6］に設定しているときは、ソフトペン先をハードペン先に交換してお使いください。

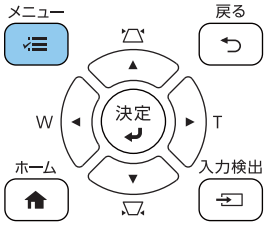
## 手動ペン位置合わせ

### 1 プロジェクターの電源をオンにして、【メニュー】ボタンを押す

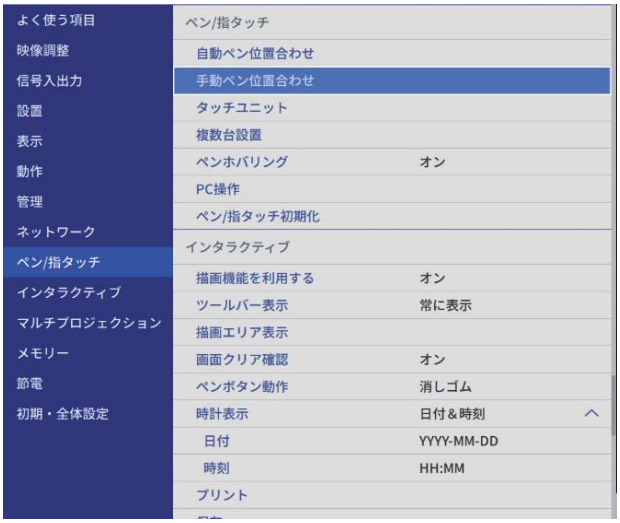
リモコンの場合




操作パネルの場合

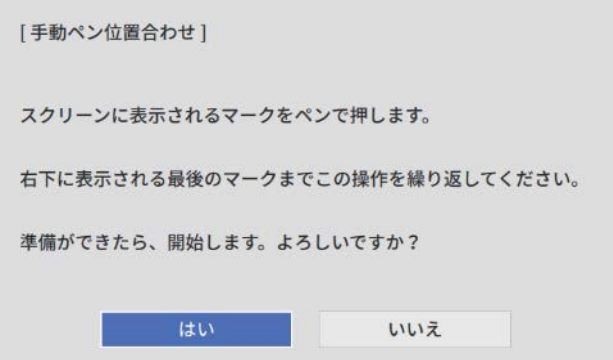



### 2 ［ペン／指タッチ］メニューで［手動ペン位置合わせ］を選択する




複数台のプロジェクターを並べて設置しているときは、隣に設置したプロジェクターの映像を一時的に遮断するようメッセージが表示されます。メッセージに従って、【A/Vミュート】ボタンを押して隣のプロジェクターの映像を遮断してください。

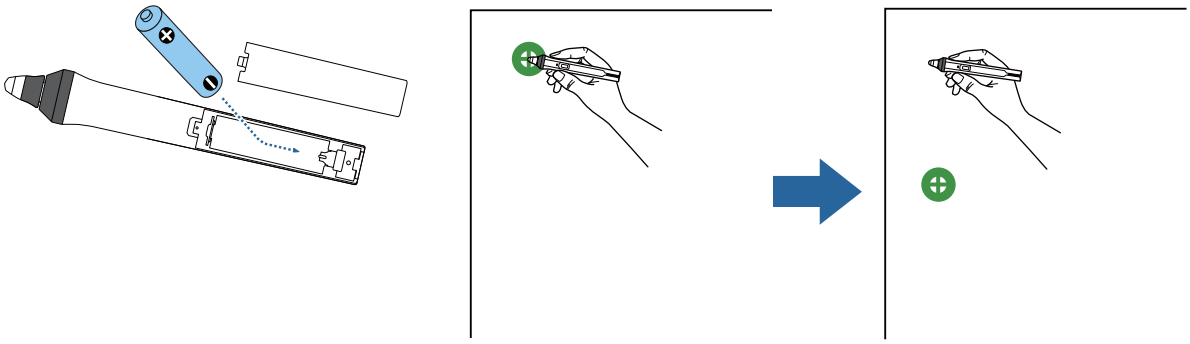
## 3 画面の内容を確認して、[はい] を選択する



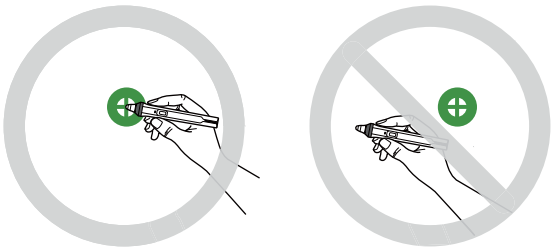

投写画面の左上に緑色のドットが表示されます。

## 4 ドットの中心をインタラクティブペンのペン先で押す

ドットが消えて次の位置に移動します。

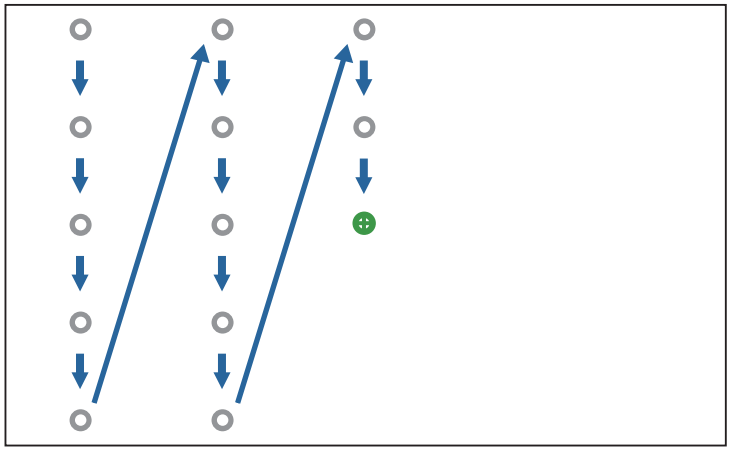


必ずドットの中心を押してください。中心以外を押すと位置ずれの原因となります。



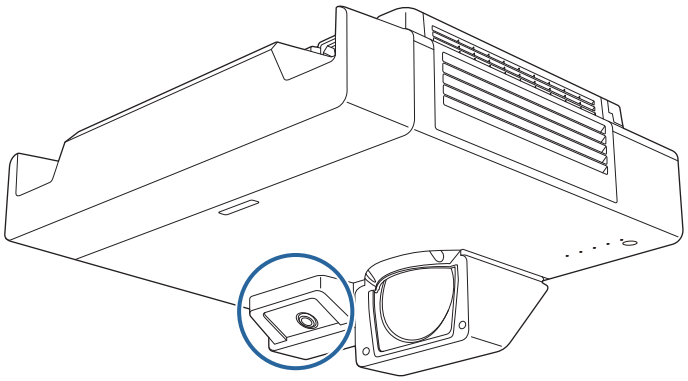
## 5 すべてのドットが消えるまで、手順4を繰り返す

ドットはスクリーンの左上から右下に向かって、順番に表示されます。



すべてのドットが消えると、手動ペン位置合わせが完了します。

- インタラクティブペンとインタラクティブペン受光部（下図）との間に障害物がないことを確認してください。

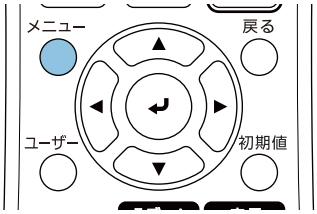


- 押す位置を間違えたときは、リモコンの【戻る】ボタンを押して1つ前のドットに戻ります。
- 中止するときは、【戻る】ボタンを2秒間押し続けます。

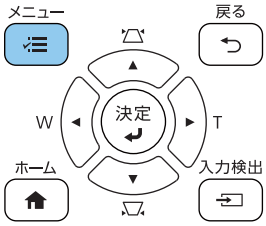
# 自動ペン位置合わせ

## 1 プロジェクターの電源をオンにして、【メニュー】ボタンを押す

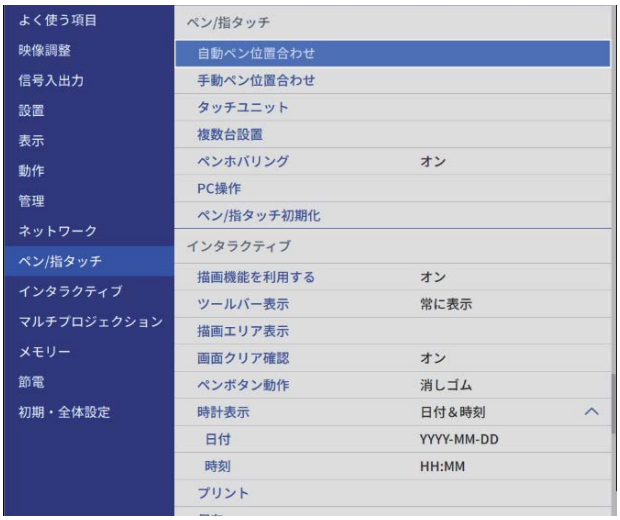
リモコンの場合




操作パネルの場合

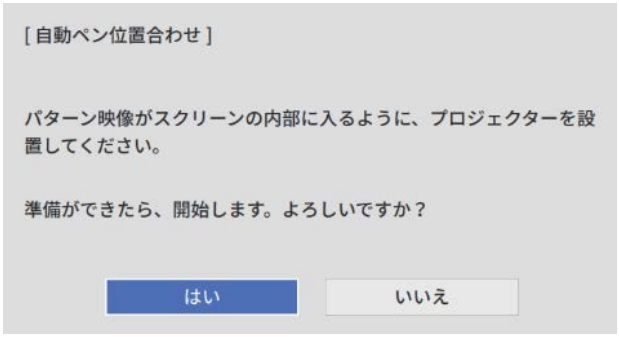


## 2 ［ペン／指タッチ］メニューで［自動ペン位置合わせ］を選択する




複数台のプロジェクターを並べて設置しているときは、隣に設置したプロジェクターの映像を一時的に遮断するようメッセージが表示されます。メッセージに従って、【A/Vミュート】ボタンを押して隣のプロジェクターの映像を遮断してください。

## 3 パターン映像が投写面に収まっていることを確認して、［はい］を選択する




自動的にペン位置合わせが始まります。

自動ペン位置合わせが失敗したときは、画面の指示に従って周辺環境を確認してください。または、［手動ペン位置合わせ］を行ってください。

# タッチユニットに関するご注意

| ⚠ 警告 | |
|---|---|
| **タッチユニットの分解・改造は絶対にしないでください。**<br>タッチユニットの内部には高出力のレーザー製品が組み込まれており、火災・感電・事故の原因となります。 | |
| **タッチユニットをEB-1485FT以外のプロジェクターや他の機器に接続しないでください。**<br>機器の故障や制限以上のレーザー光が放出される可能性があります。 | |
| **心臓ペースメーカー等の医療機器を装着している方は、タッチユニットに近づかないでください。また、タッチユニットを取り扱うときは、近くに心臓ペースメーカー等の医療機器を装着している方がいないことを確認してください。**<br>マグネットの磁力が強力なため電磁妨害が生じ、医療機器が誤動作する可能性があります。 | |

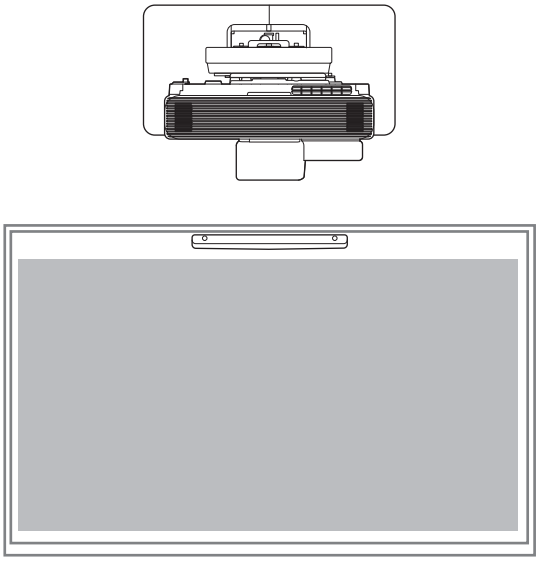
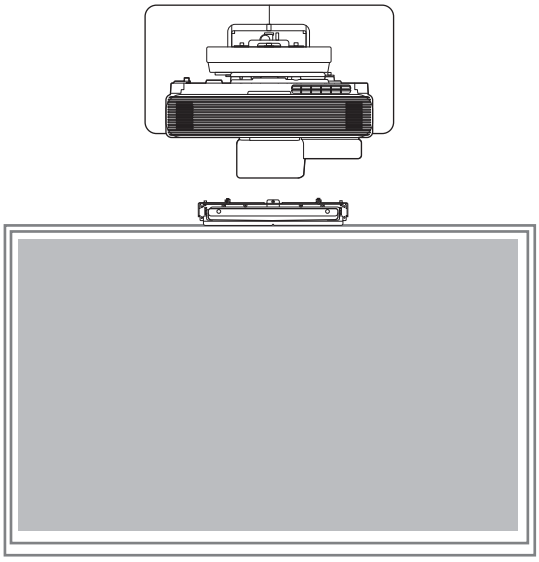
| ⚠ 注意 | |
|---|---|
| **磁気カードなどの磁気記憶媒体や、コンピューター、電子腕時計、携帯電話などの精密電子機器をタッチユニットに近づけないでください。**<br>マグネットの磁力が強力なためデータの破損や故障の原因となる可能性があります。 | |
| **タッチユニット背面のマグネットと設置面の間には、非常に強い吸引力が働きます。取り付ける際にマグネットと設置面の間に指や体の一部をはさまないようご注意ください。** | |
| **タッチユニットを廃棄する場合は分解しないでください。**<br>国や地域の法令や条例に従って廃棄してください。 | |

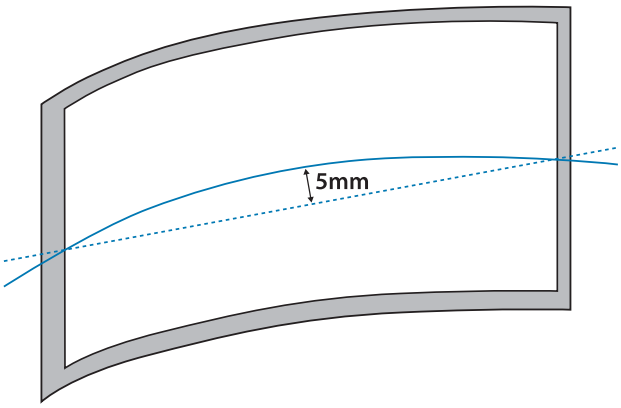
## 電波障害自主規制について

この装置は、一般財団法人VCCI協会の基準に基づくクラスB情報技術機器です。

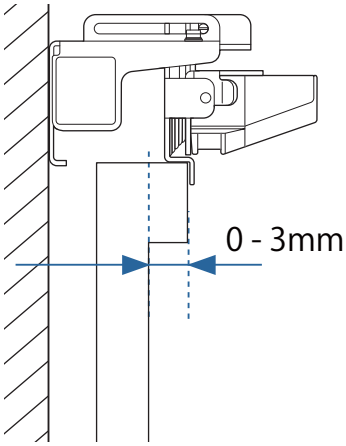
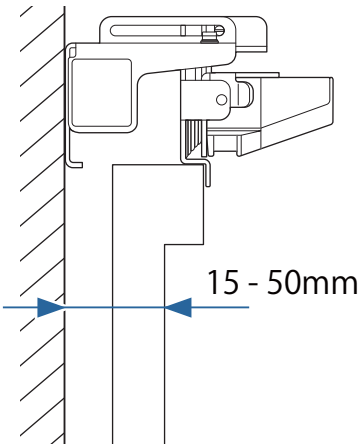
# タッチユニットの設置場所

タッチユニットは取り付け先によって固定方法が異なります。

| 投写面に取り付ける場合： マグネットまたはネジで固定 | 投写面以外に取り付ける場合： タッチユニット取り付け金具を使って固定 |
|---|---|
|  |  |

| 注意 | |
|---|---|
| タッチユニットを使用するときは、スクリーンの正面側に映像を投写してください。リアスクリーンに投写した映像では指タッチ操作できません。 | |
| タッチユニットを設置する前に、設置面にそりやゆがみがなく平らで、スクリーン表面の凹凸が5mm以下であることを確認してください。  | |

## タッチユニット取り付け金具に関するご注意

| ⚠ 注意 | |
|---|---|
| **スクリーンの周りに枠がある場合は、上枠の厚みが3mm以内であることを確認してください。**<br>上枠の厚みが3mmを超えると、タッチユニットが正しく動作しません。<br>  <br> | ❗ |
| **壁からスクリーン表面までの長さが50mm以内であることを確認してください。**<br>50mmを超える場合は、タッチユニット取り付け金具を設置できません。<br>  <br> | ❗ |

# レーザーに関するご注意

## 添付のラベルについて

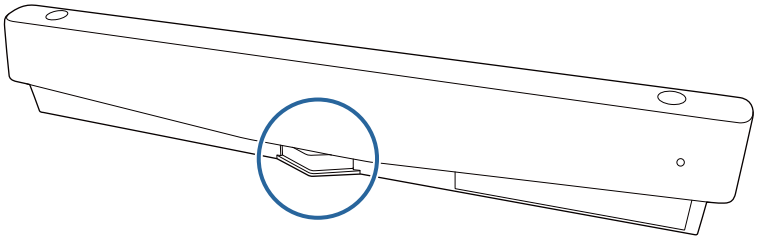
タッチユニットは、JIS C 6802:2018に適合したクラス1レーザー製品です。
タッチユニットには、クラス1レーザー製品であることと、警告を示すラベルが貼られています。

ラベルの内容は次のとおりです。

- クラス1レーザ製品
- 警告：ケースを開けないでください。内部には高出力レーザー製品が組み込まれています。
- 警告：
  - 注意：ここを開くとクラス3Bの不可視レーザー放射が出る
  - ビームの被ばくを避けること

## レーザー照射口

レーザー光は、タッチユニットの背面にあるレーザー照射口から照射されます。

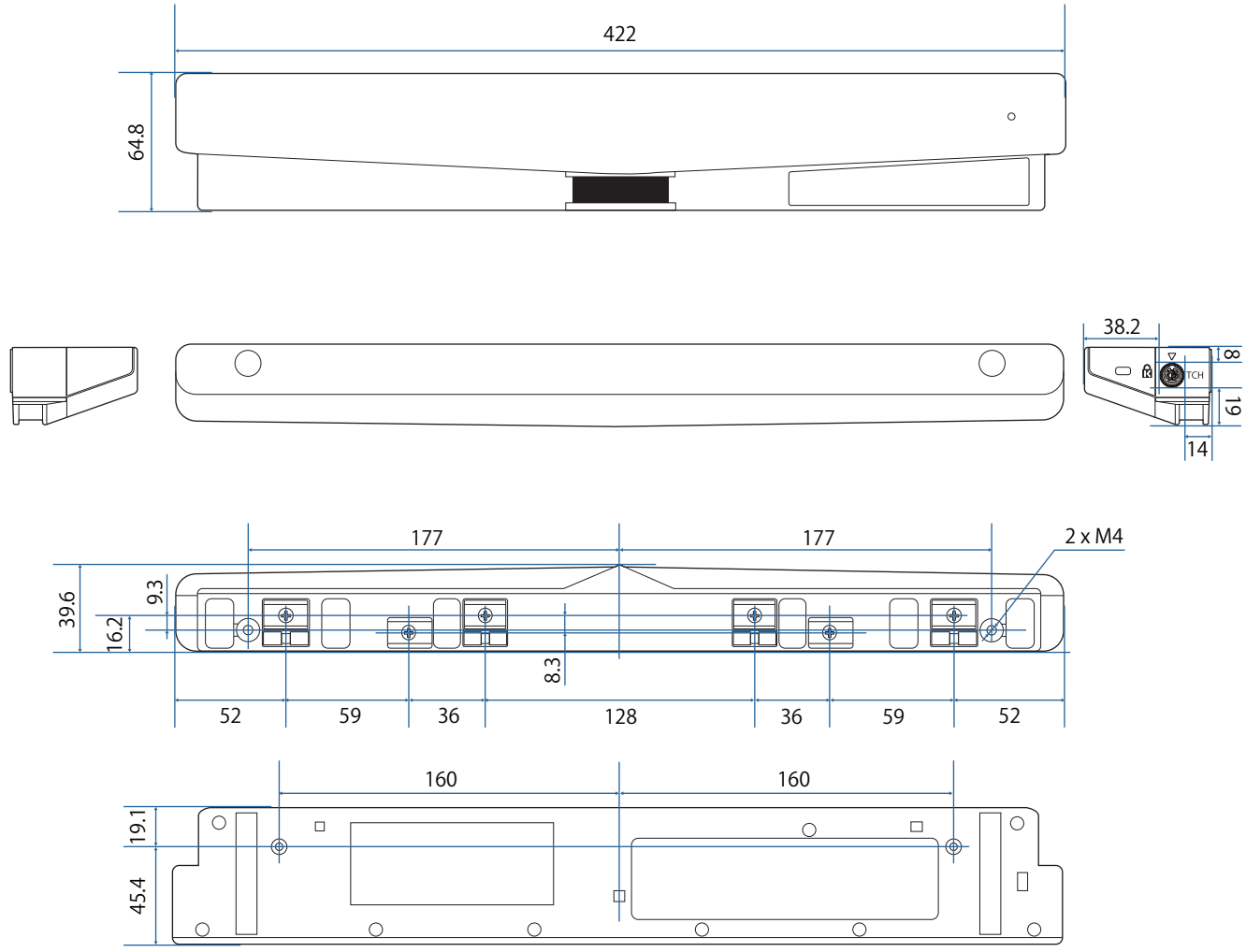


- 光源出力：最大 285W
- 波長：932 - 952nm

# タッチユニット仕様

| 項目 | 仕様 |
|---|---|
| タッチユニット質量 | 約0.6kg |
| 動作温度範囲 | 0 - 40℃ |
| 電源（プロジェクター本体から供給） | 5VDC 0.65 A |

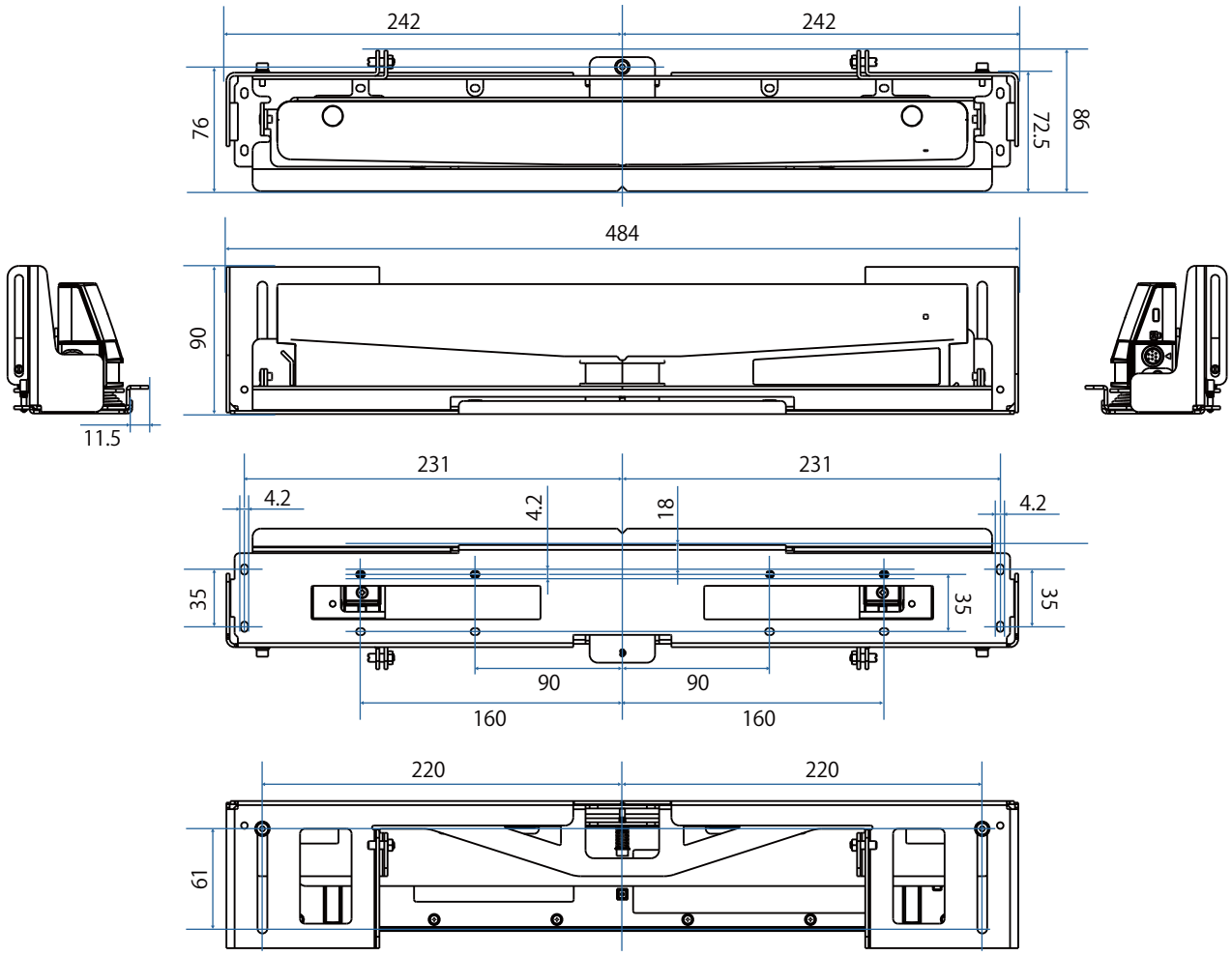
## 外形寸法



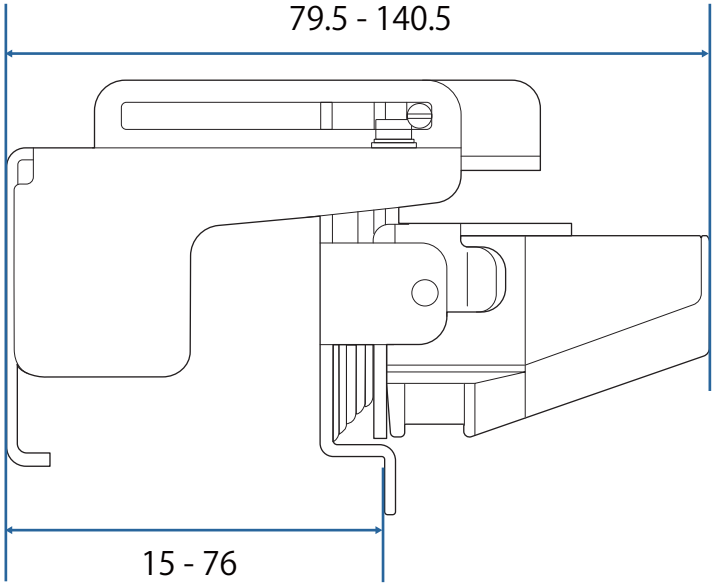
# タッチユニット取り付け金具仕様

| 項目 | 仕様 |
|---|---|
| タッチユニット取付金具質量 | 約1.8kg |
| 最大荷重 | 約8.8kg |

## 外形寸法



## 調整範囲

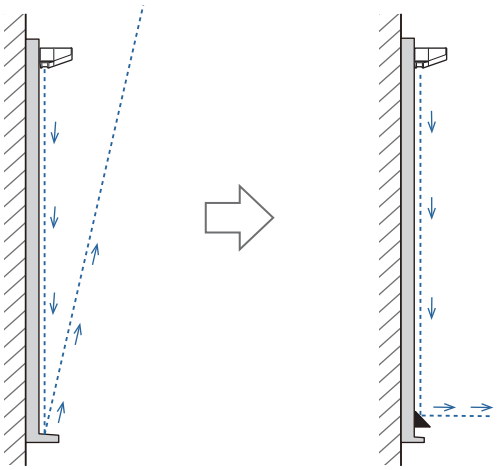


# タッチユニット取り付け手順

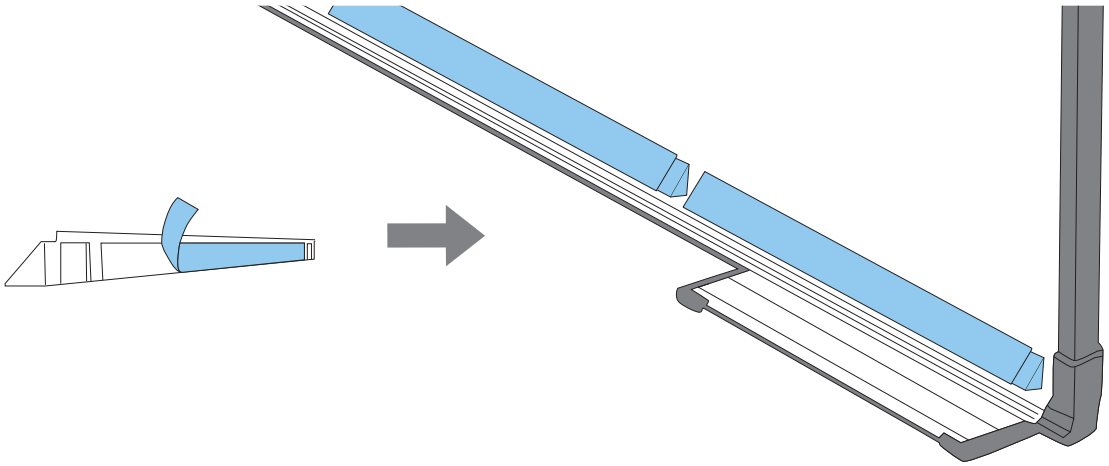
## 赤外線ディフレクターを取り付ける

投写面の下部にフレームやトレイなどの障害物があるときは、赤外線ディフレクターを貼りつけてください。

障害物があると下図のようにレーザーが反射して、指の位置が正しく検出されないことがあります。



1 障害物のある位置に、同梱の赤外線ディフレクターを貼りつける

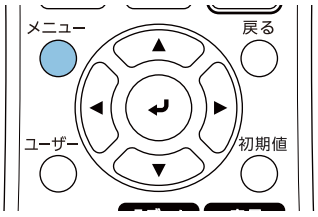


# タッチユニットを取り付ける

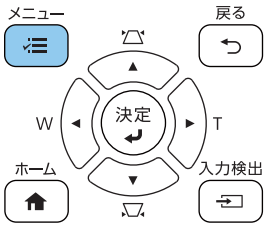
## 取り付け金具を使わずに投写面に取り付ける場合

**1** プロジェクターの電源をオンにして、【メニュー】ボタンを押す

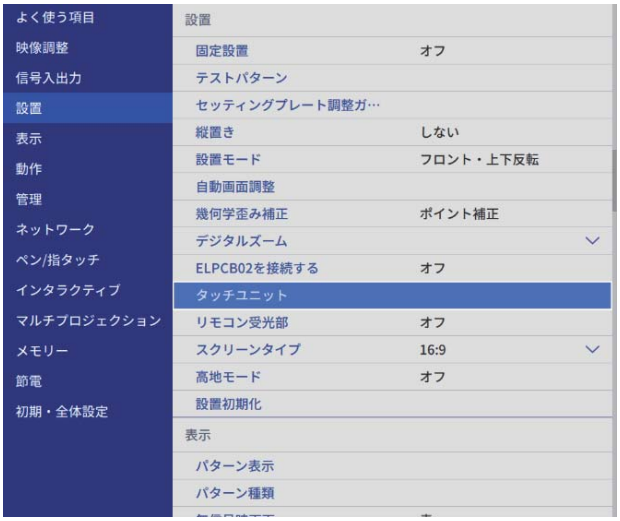
リモコンの場合



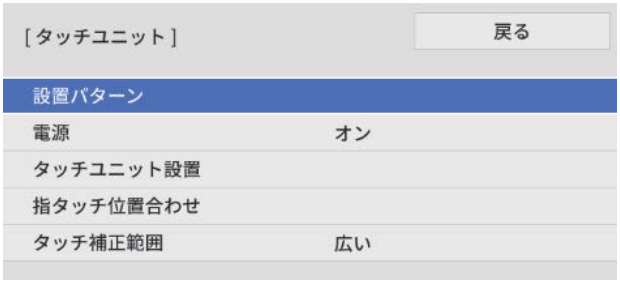

操作パネルの場合



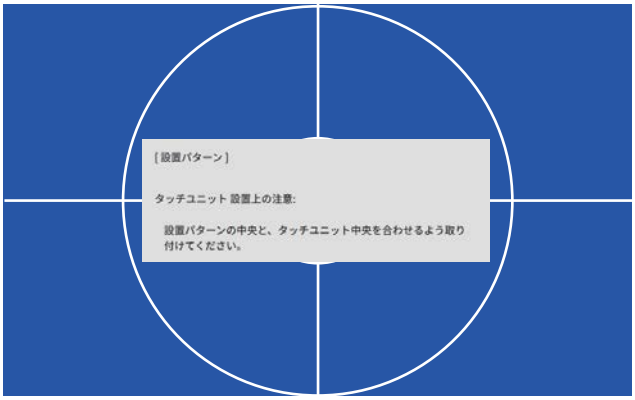

**2** ［設置］メニューで［タッチユニット］を選択する



## 3 ［設置パターン］を選択する



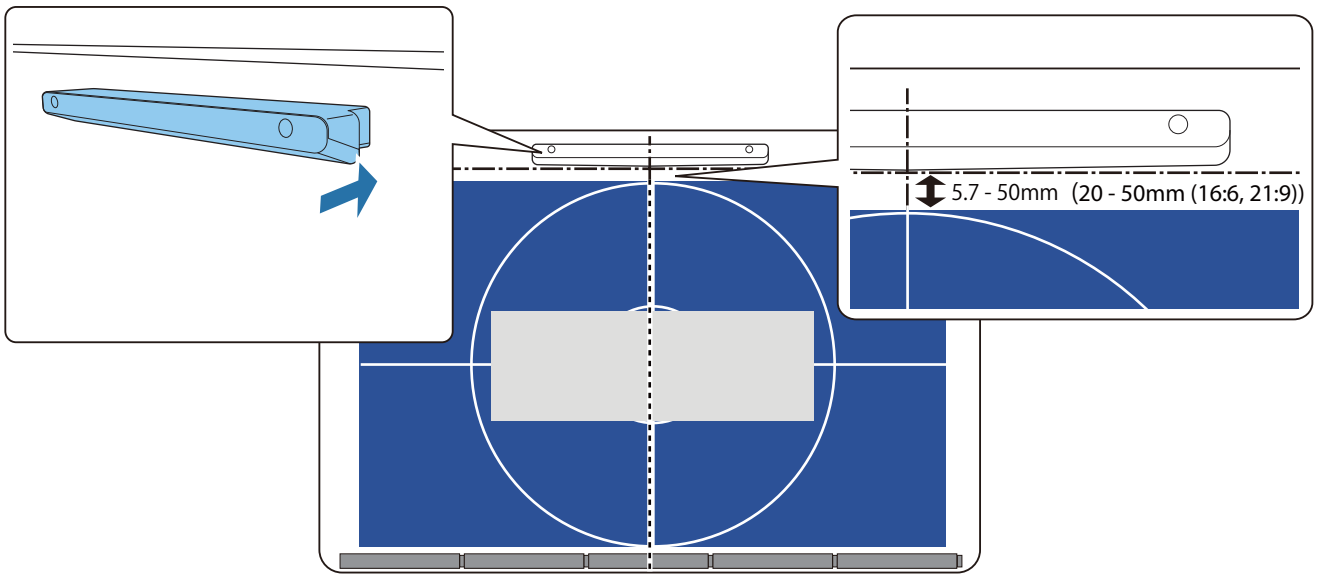

投写画面に設置パターンが表示されます。




## 4 マグネットが使える面に取り付ける場合は、取り付け位置を確認してタッチユニットをマグネットで固定する

マグネットが使えない面に取り付ける場合は、次の手順へ進んでください。

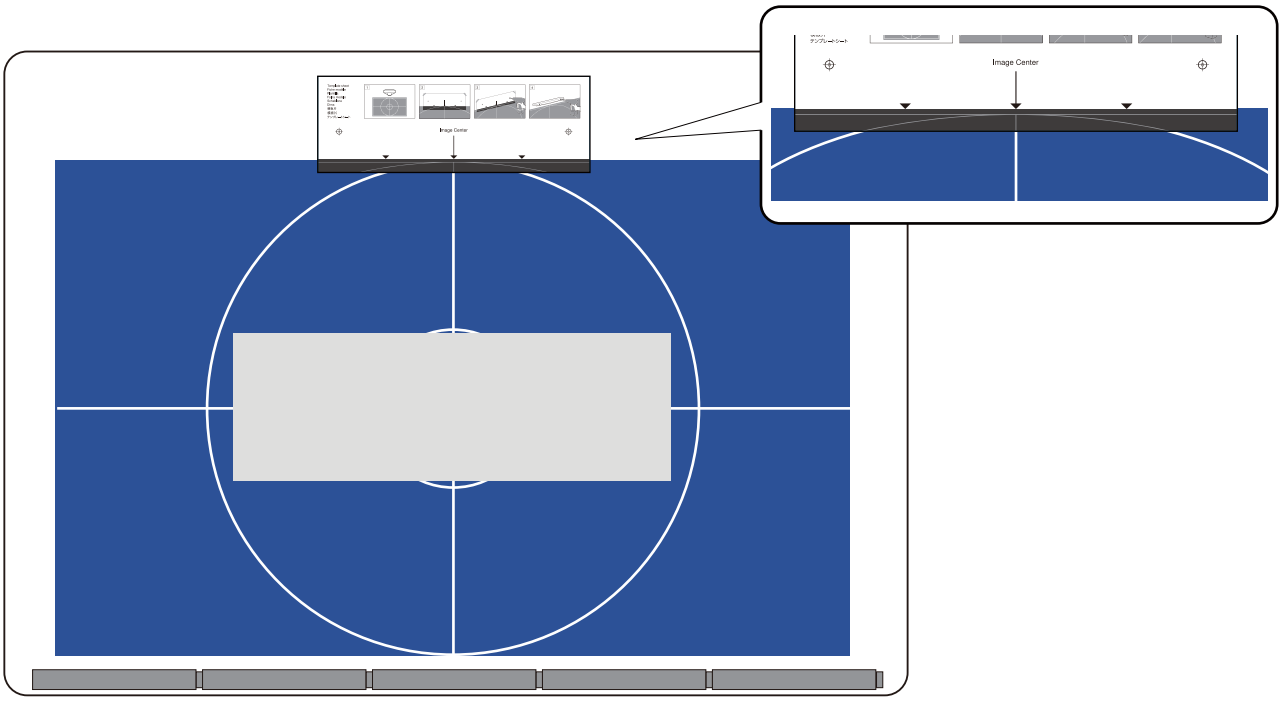
> ⚠ 注意
>
> マグネットと設置面の間には、非常に強い吸引力が働きます。マグネットと設置面の間に指や体の一部をはさまないようご注意ください。




固定できたら、「タッチユニットの電源を入れる」 p.116へ進んでください。

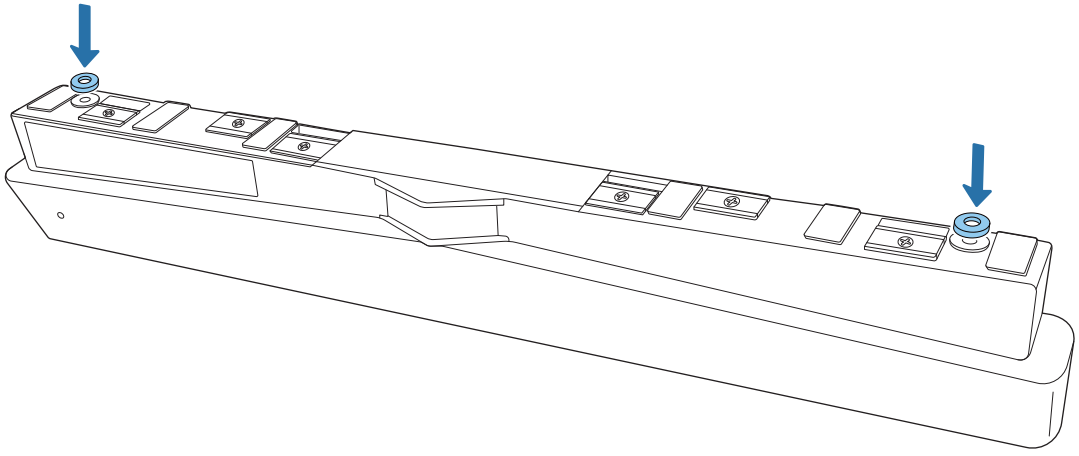
## 5 マグネットが使えない面へ取り付ける場合は、タッチユニットの取り付け位置にテンプレートシートを貼る

下図のように、テンプレートシートの下側が設置パターンに重ねて貼りつけます。

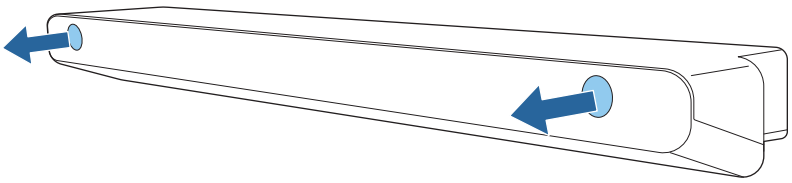



## 6 設置面に穴を開け、テンプレートシートを取り外す

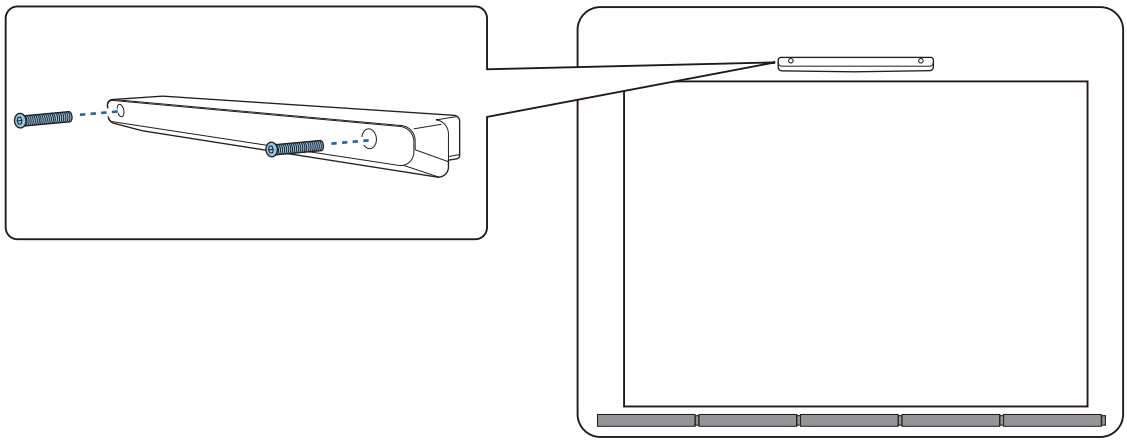
## 7 タッチユニット背面のネジ穴に、同梱のスペーサー（2個）を貼りつける



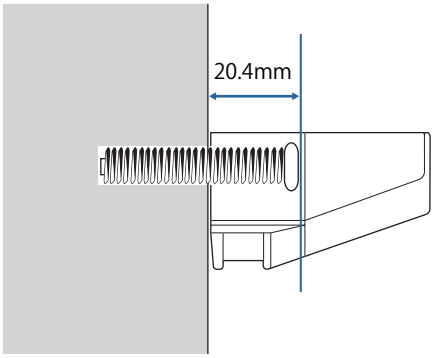
## 8 タッチユニット前面のゴムキャップ（2個）を取り外す



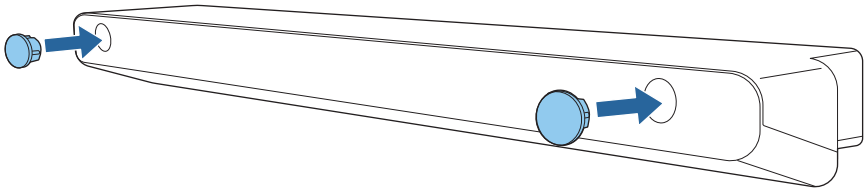
## 9 市販のM4ネジ（2本）でタッチユニットを固定する



タッチユニット内のネジ穴深さは以下のとおりです。



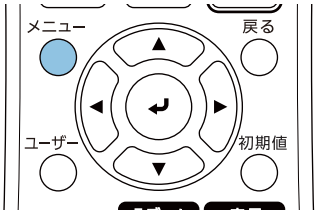

## 10 タッチユニット前面のネジ穴に、手順8で外したゴムキャップを取り付ける



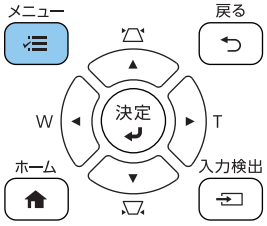
## 取り付け金具を使って投写面以外に取り付ける場合

## 1 プロジェクターの電源をオンにして、【メニュー】ボタンを押す

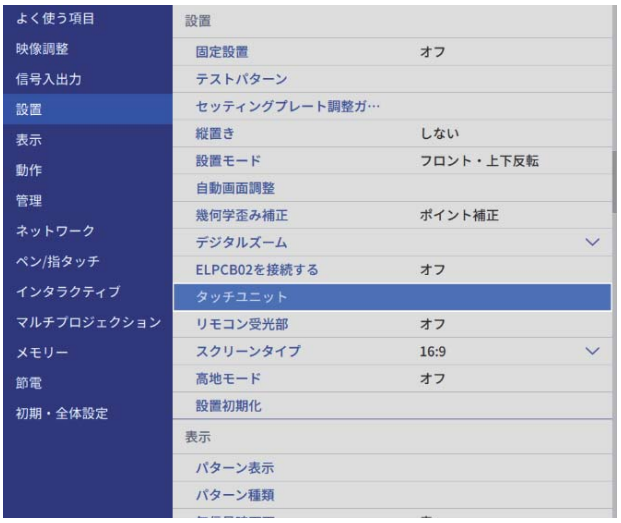
リモコンの場合




操作パネルの場合

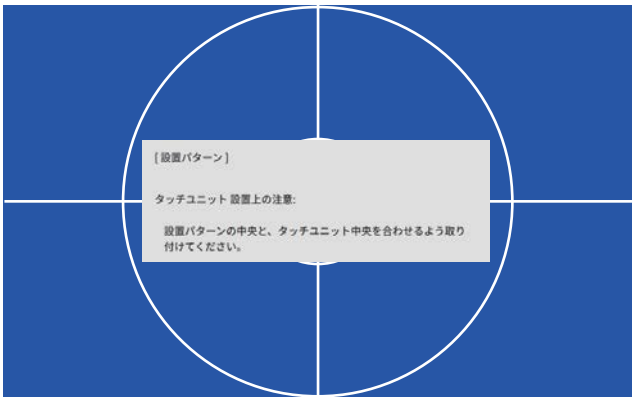


## 2 ［設置］メニューで［タッチユニット］を選択する




## 3 ［設置パターン］を選択する

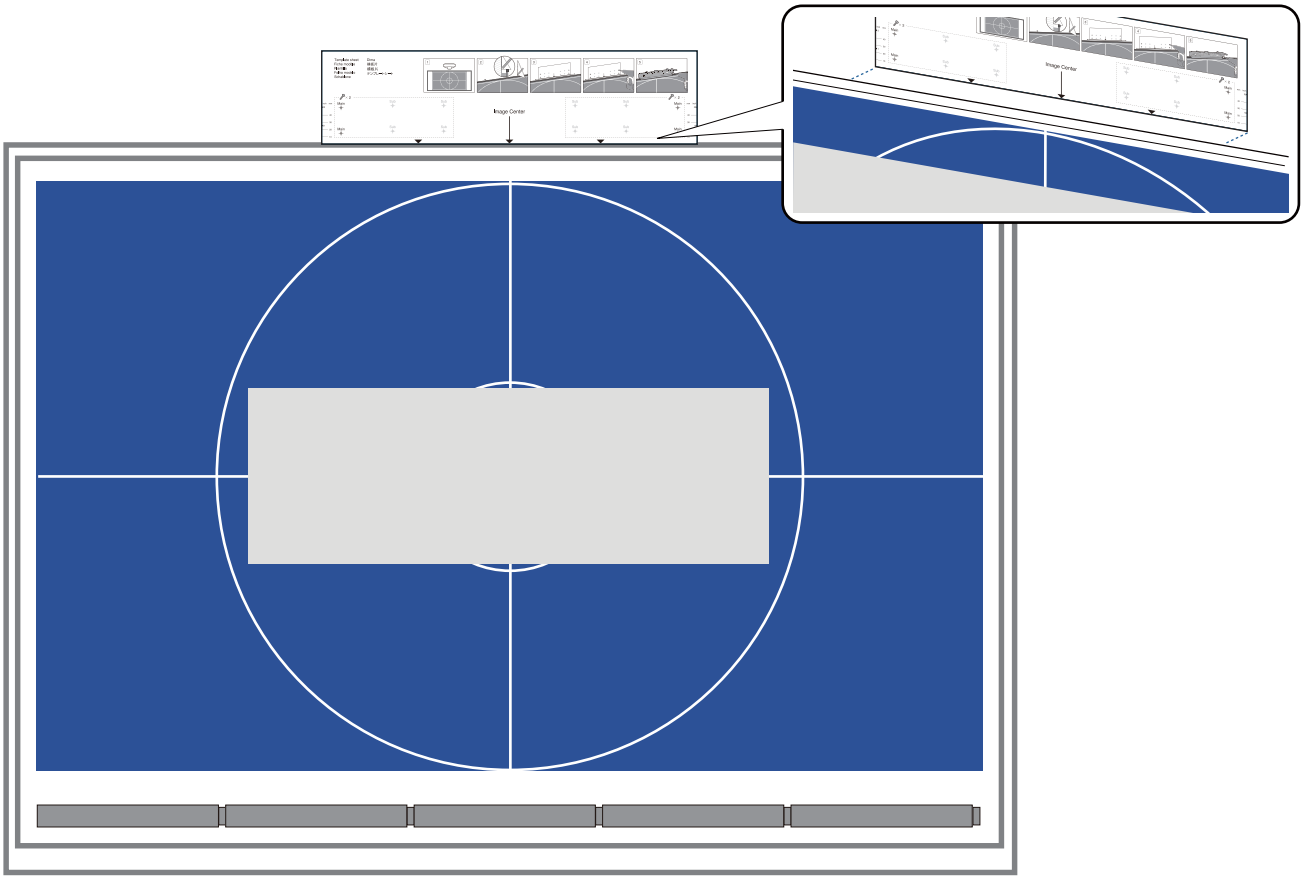
投写画面に設置パターンが表示されます。



## 4 タッチユニット取り付け金具のテンプレートシートを貼る

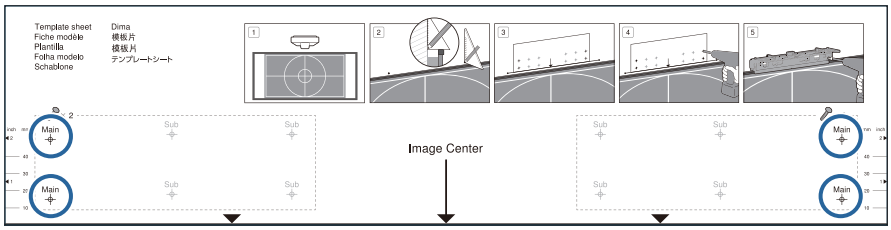
投写面の上端とテンプレートシートの下端を合わせてください。

取付金具の設置面と投写面の間にすき間がある場合は、事前に貼りつけ位置に目印の線などをひいておくことをお勧めします。



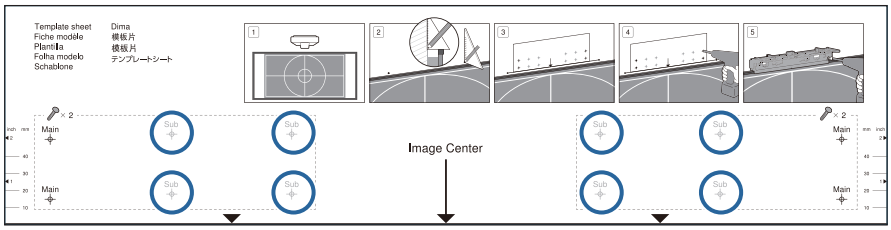
## 5 設置面に穴を開け、テンプレートシートを取り外す

テンプレートシートにMainと記載されている箇所（4箇所）に穴を開けます。

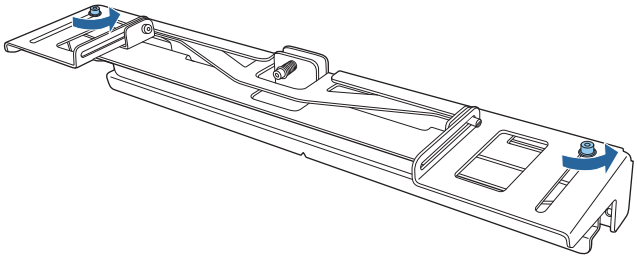



設置面の状況に応じて、Subと記載されている箇所でも固定できます。

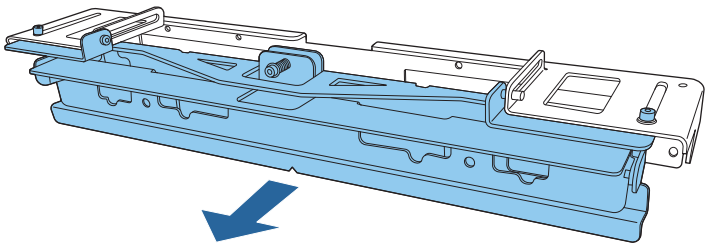
バランスのとれる4箇所（左右2箇所ずつ）に穴を開けてください。



## 6 取り付け金具の上部にあるネジ（2本）を緩める

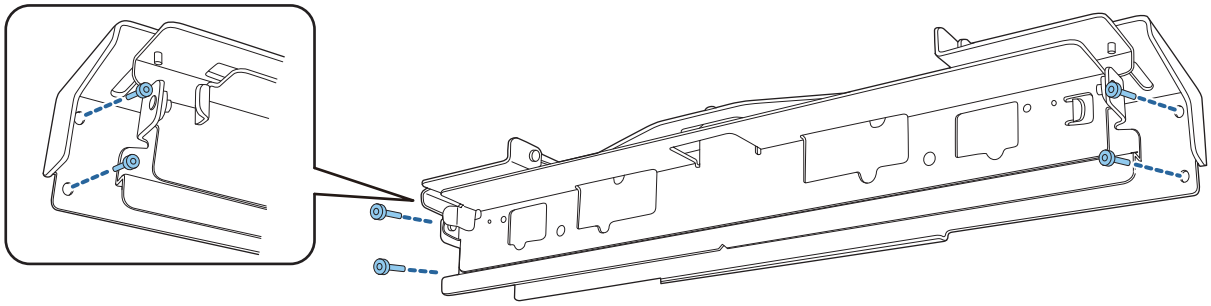


## 7 金具前面のパーツを前側いっぱいにスライドさせる

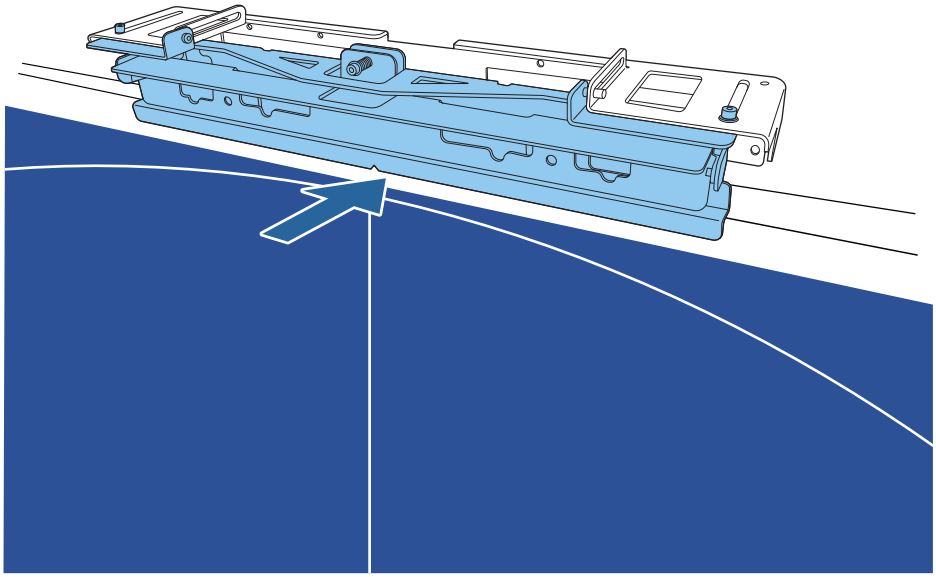


取り付け時にスライド部がずれないように、手順6で緩めた上部ネジ（2本）を軽く締め直してください。

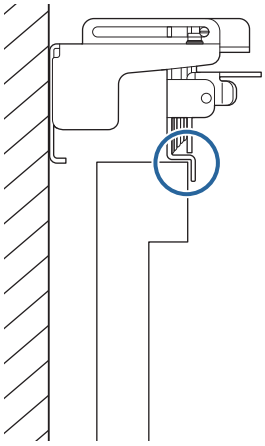
## 8 市販の直径3.8mm、全長45mm以上の木ネジ（4本）またはM4のアンカーボルト（4本）で取り付け金具を壁に固定する



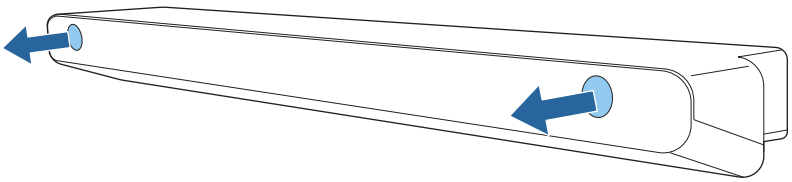
## 9 投写面に合うように取り付け金具をスライドさせる



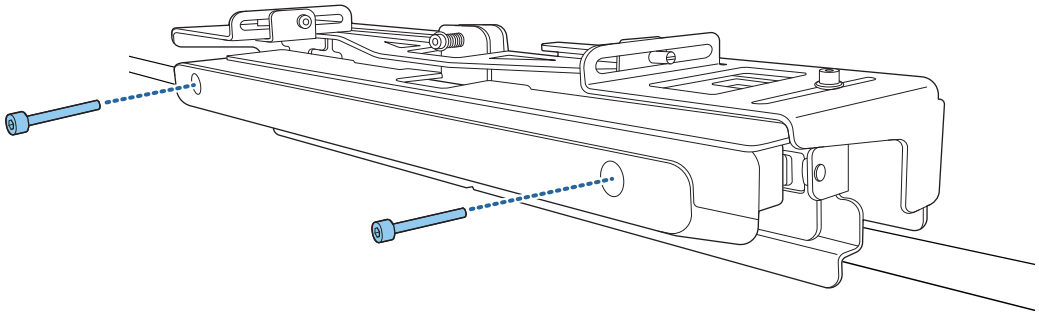
取付金具の下端が投写面に接するまでスライドさせます。



## 10 タッチユニット前面のゴムキャップ（2個）を取り外す

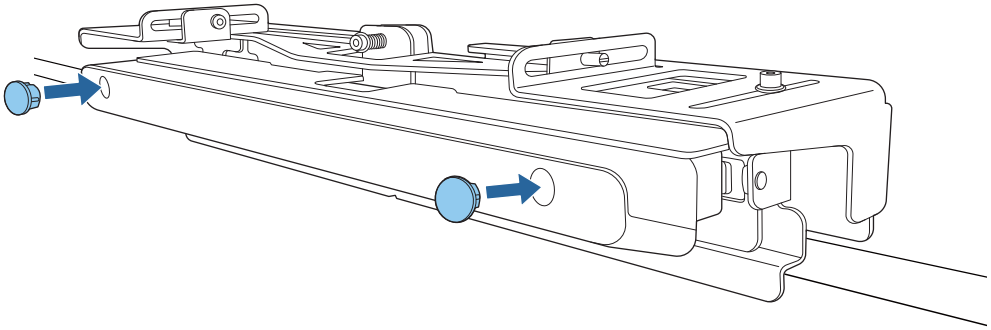


## 11 同梱のM4 x 25mmボルト（2本）で、タッチユニットを取り付け金具に固定する



> ⚠ 注意
>
> タッチユニットの裏面には強力なマグネットが付いています。タッチユニットと取り付け金具の間に手を挟まないようにご注意ください。

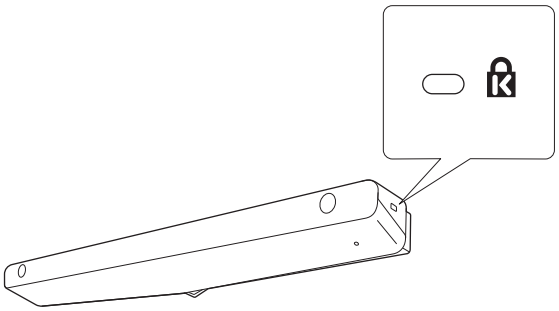
## 12 タッチユニット前面のネジ穴に、手順10で外したゴムキャップを取り付ける



## セキュリティーケーブルを取り付ける

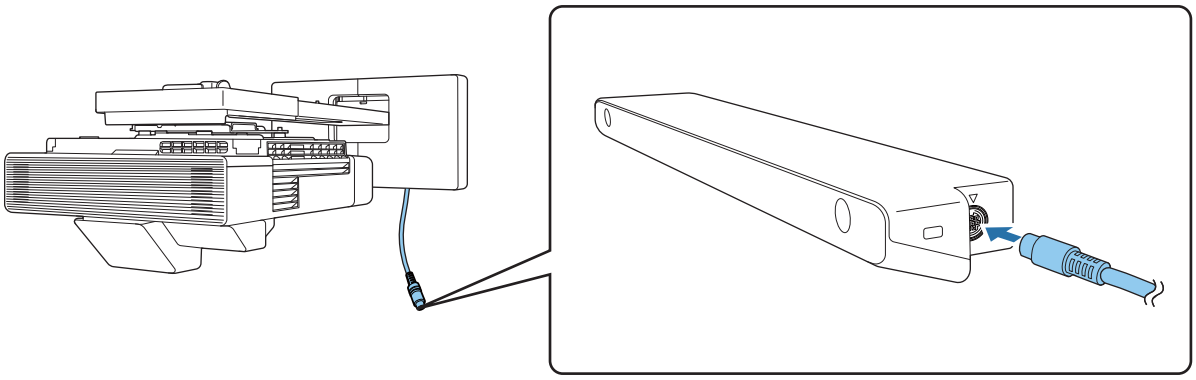
タッチユニットにはKensington社製のマイクロセーバーセキュリティーシステムに対応したセキュリティースロットが搭載されています。マイクロセーバーセキュリティーシステムについての詳細は、以下をご覧ください。

http://www.kensington.com/

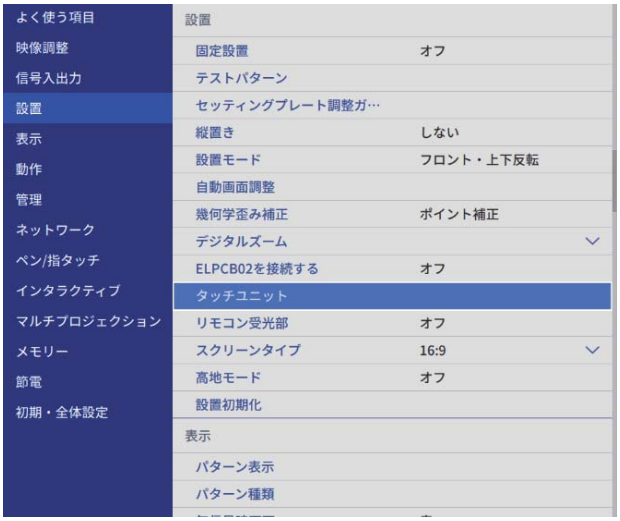


## タッチユニットの電源を入れる

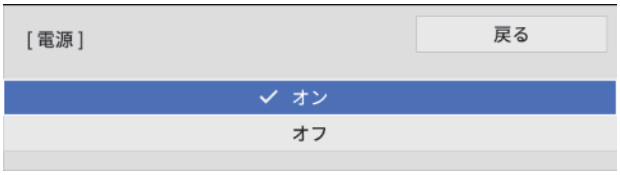
**1** プロジェクターに接続したタッチユニット接続ケーブルを、タッチユニットのTCH端子に接続する



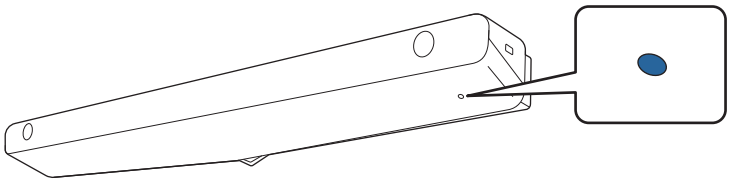
**2** ［設置］メニューで［タッチユニット］を選択する




**3** ［電源］を［オン］にする




タッチユニットの電源がオンになり、インジケーターが青色に点灯します。

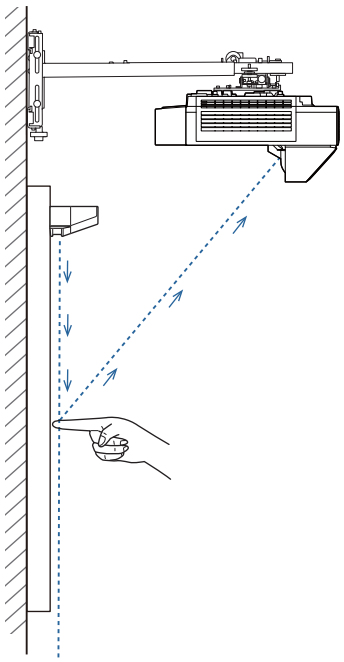


［電源］を［オン］に設定すると、次回からプロジェクターの電源をオンにしたときにタッチユニットの電源も自動的にオンになります。

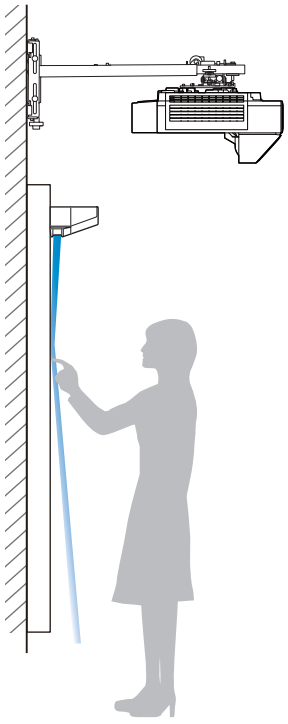
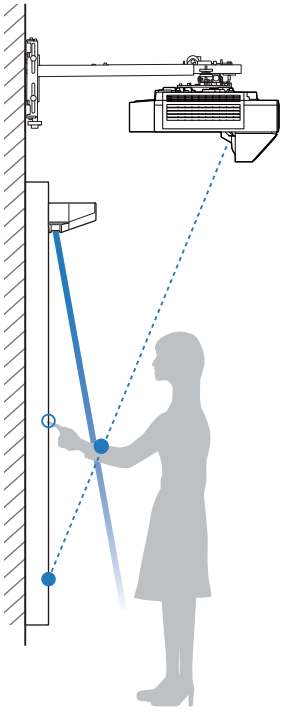
## レーザーの角度を調整する（タッチユニット自動調整）

タッチユニットから赤外線レーザーがカーテン状に照射されます。投写面に触れた指に赤外線レーザーが反射し、反射した座標をプロジェクターの赤外線カメラが認識することで指の位置を検出します。

プロジェクターが指の位置を正しく検出できるように、タッチユニットから照射されるレーザーの角度を調整します。



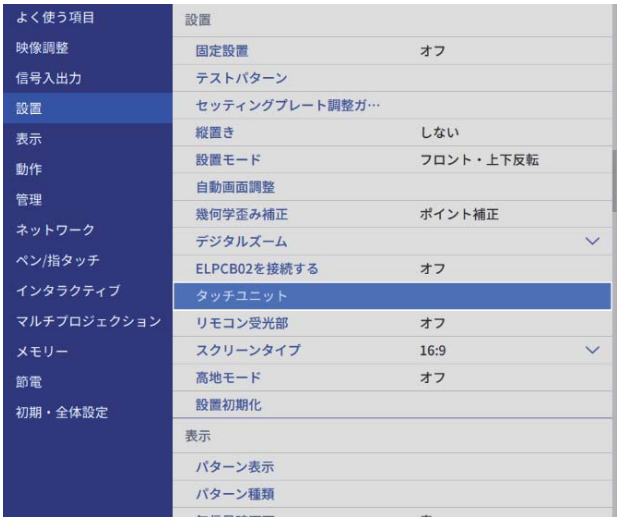
レーザーがスクリーンに対して平行に照射されていないと、指タッチ操作に反応しなかったり、指の位置がずれたりします。

| レーザーがスクリーンに対して平行でない場合 | |
|---|---|
|  |  |

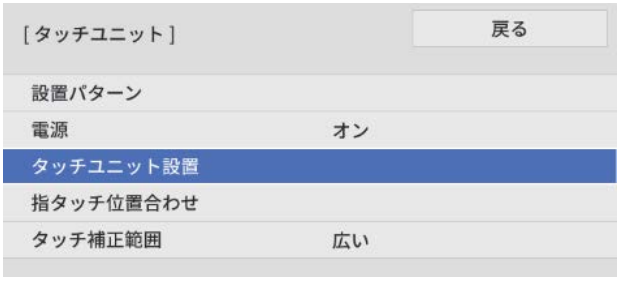
| レーザーがスクリーンに対して平行でない場合 | |
|---|---|
| • 投写面に指でタッチしても、指の位置が検出されないことがあります。<br>• 投写面に指が触れていない場合でも指が触れていると検出され、意図しない指タッチ操作が行われることがあります。 | • プロジェクターで検出される指の位置と、実際に投写面に触れている指の位置がずれ、意図した通りに指タッチ操作ができないことがあります。<br>• プロジェクターが指を検出したままの状態になり、クリックの動作を認識しないことがあります。 |

レーザーの角度を調整する前に、インタラクティブペンの位置合わせが終わっていることを確認してください。

## 1 ［設置］メニューで［タッチユニット］を選択する



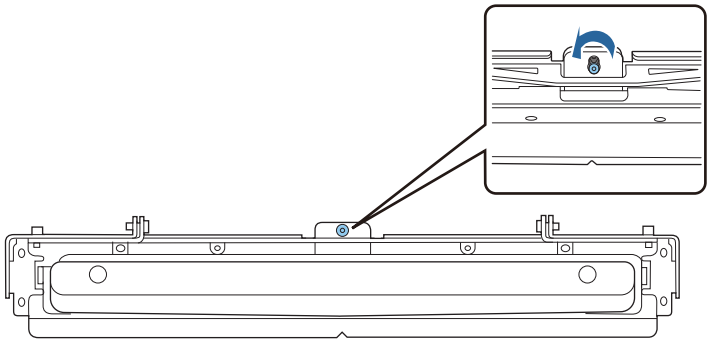

## 2 ［タッチユニット設置］を選択する



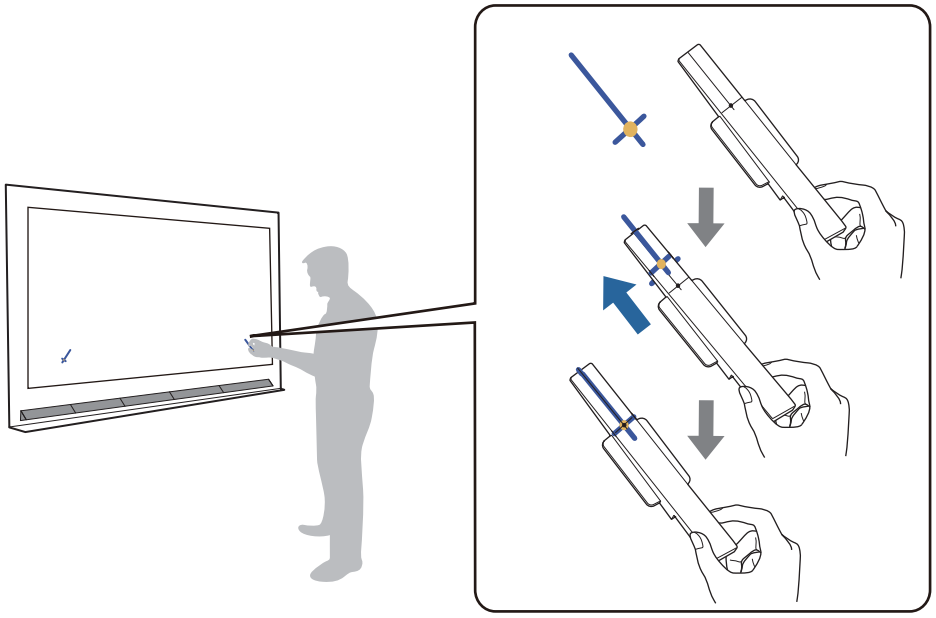

［マルチプロジェクション］メニューで［HDMI Out設定］を［複数台連結］に設定している場合は、画面の指示に従って、隣のプロジェクターの［設置］メニュー - ［タッチユニット］ - ［電源］を［オフ］にしてください。

## 3 取り付け金具の有無を選択する

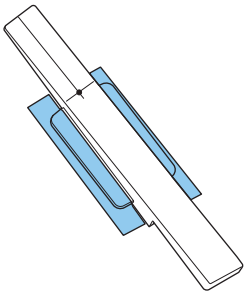
## 4 タッチユニット取り付け金具を使っている場合は、タッチユニット取り付け金具上部の調整ネジを反時計回りいっぱいに回す



## 5 投写画面のマーカー設置位置（2箇所）に、同梱のマーカーを重ねて固定する



- マグネットが使えるスクリーン：マーカーの底面をスクリーンに付けて固定します。
- マグネットが使えないスクリーン：同梱のテープで下図のように固定します。



角度調整中は、マーカー以外のものを投写画面上に近付けないでください。投写画面上にマーカー以外のものがあると、角度調整がうまくできないことがあります。

## 6 【決定】ボタンを押して、タッチユニット自動調整を実行する

投写面によっては、自動調整に数分かかる場合があります。

## 7 [タッチユニットの調整が完了しました]とメッセージが表示されたら、投写面からマーカーを取り外す

自動調整が失敗した旨のメッセージが表示されたときは、「自動調整に失敗したときは」 p.123 をご確認ください。

## 8 プロジェクター1台のみを設置しているときは、画面に表示された（●）を指で押して、同じ位置に（●）が表示されるか確認する

4つすべての（●）を押して確認してください。

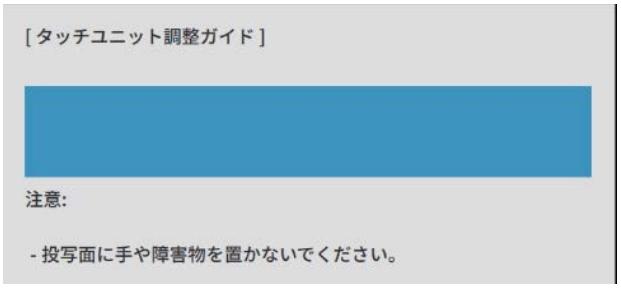
| 画面 | 状態 |
|---|---|
| | 指で触れている場所と、（●）が表示される場所が同じであれば、正しく調整されています。 |
| | 指で触れている場所と異なる場所に（●）が表示される場合は、操作パネルまたはリモコンを使って［あげる］を1回選択します。その後、もう一度（●）を指で押して確認します。<br>正しい位置に（●）が表示されるまで繰り返してください。 |

4箇所の（●）に触れてそれぞれ正しい位置に（●）が表示されるようになったら、調整は完了です。

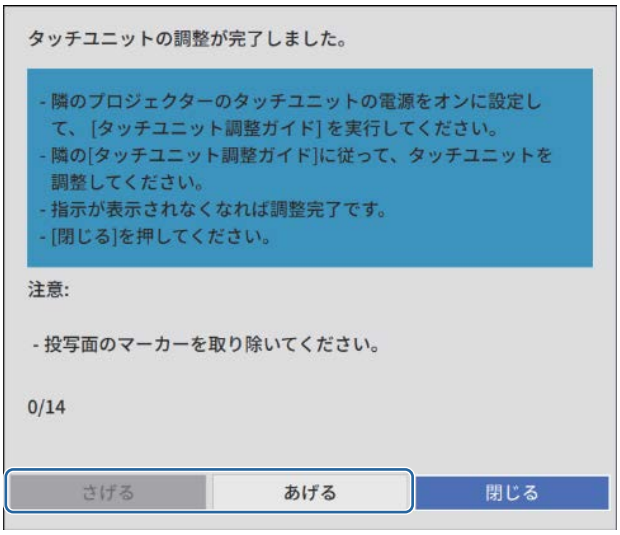
「指タッチ操作の位置合わせ」 p.126へ進んでください。

## 9 2台のプロジェクターを設置している場合は、隣のプロジェクターで［設置］ - ［タッチユニット］ - ［タッチユニット調整ガイド］を選択する

隣のプロジェクターに以下の画面が表示されます。



## 10 隣のプロジェクターの画面の指示に従って、［さげる］または［あげる］を押す

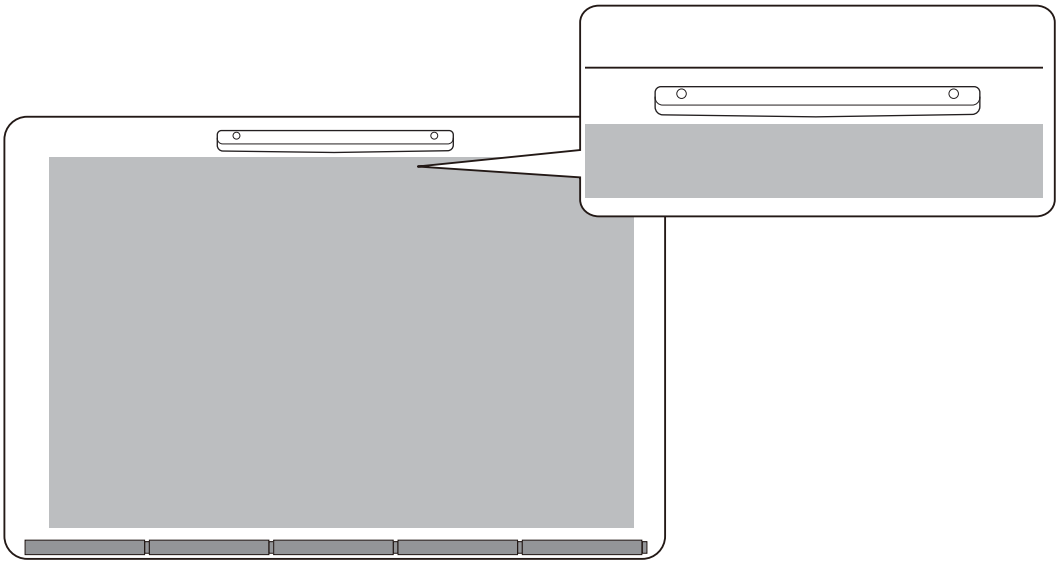



隣のプロジェクターの画面に指示が表示されなくなったら、調整完了です。

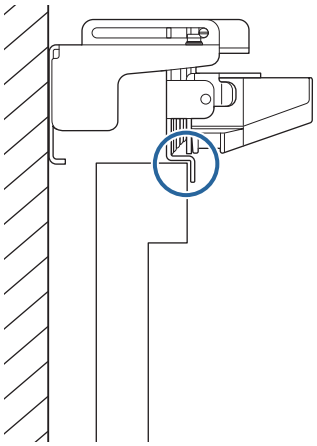
## 自動調整に失敗したときは

### 1 タッチユニットの取り付け位置が正しいことを確認する

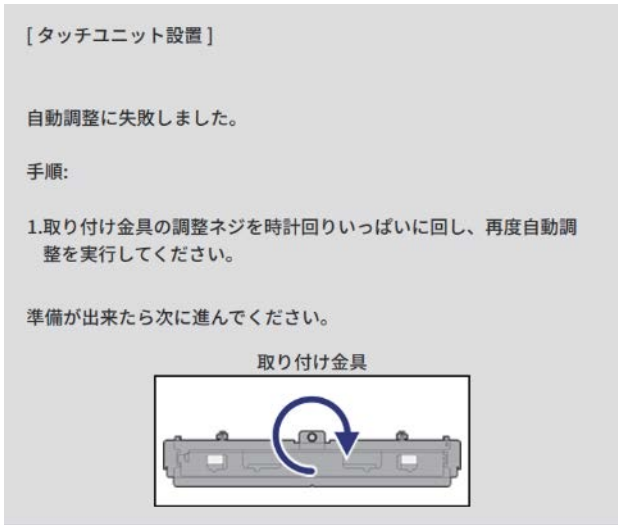
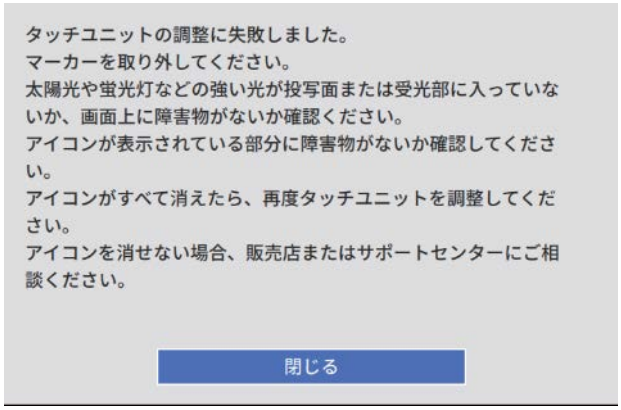
- タッチユニットと投写映像が平行になっていることを確認してください。



- タッチユニット取り付け金具を使っている場合は、金具の下端が投写面のフチに隙間なく接していることを確認してください。

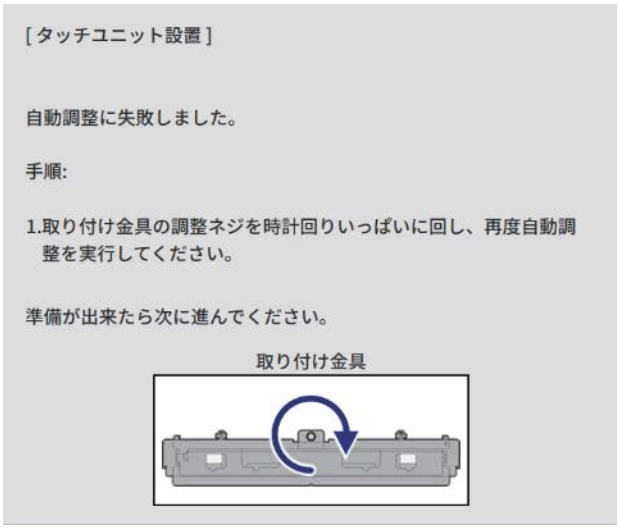


## 2 表示されたメッセージを確認して、必要な対応を行う

| 画面 | 対処法 |
|---|---|
|  | 画面の指示に従って、レーザーの角度を調整してから、再度自動調整を実行します。詳細は「レーザーの角度を再調整する」 p.124 をご確認ください。 |
|  | 投写面のマーカーを取り外してから、以下を確認してください。<br>• 投写面にアイコン（ ）が表示されている場合は、アイコンの位置に障害物がないかを確認してください。<br>• 投写面やインタラクティブ受光部に、太陽光や蛍光灯などの強い光が当たっていないかを確認してください。<br>すべて確認できたら、再度［設置］メニューの［タッチユニット設置］を実行してください。 |
| | タッチユニット本体の故障の可能性があります。お買い上げの販売店へお問い合わせください。 |

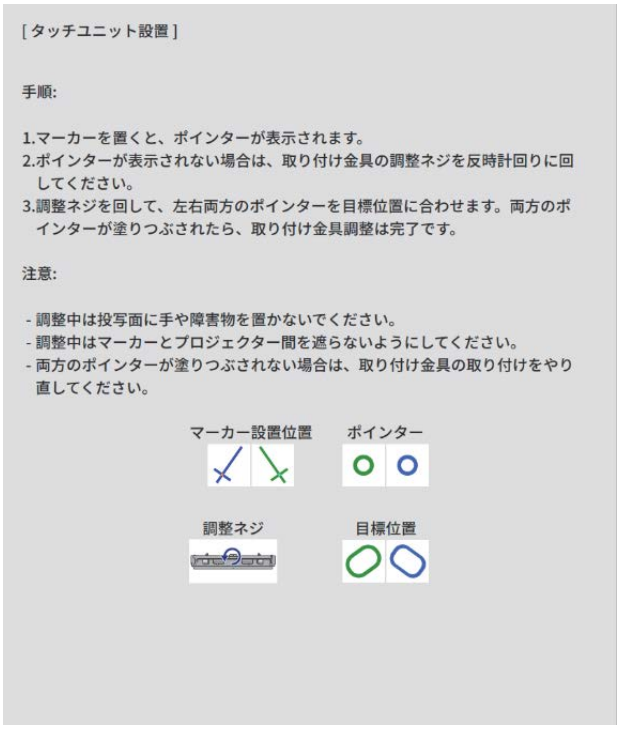
### レーザーの角度を再調整する

以下の画面が表示されたときの再調整方法を説明します。

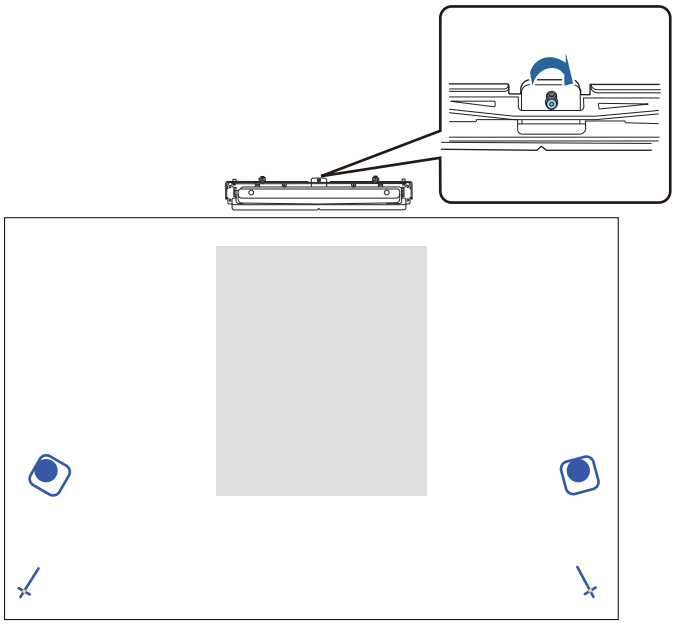



## 1 決定ボタンを押す

以下の調整画面が表示されます。



**2** 調整ネジを時計回りに回して、左右のポインターを塗りつぶし状態にする



**3** 【決定】ボタンを押して、タッチユニット自動調整を実行する

**4** 調整が完了して以下の画面が表示されたら、投写面からマーカーを取り外す

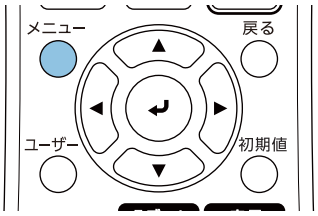
自動調整が失敗した旨のメッセージが表示されたときは、「自動調整に失敗したときは」 p.123をご確認ください。

## 指タッチ操作の位置合わせ

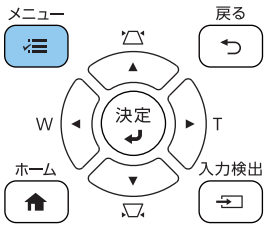
プロジェクターが指の位置をより正確に認識できるよう、指タッチ位置合わせを行います。

**1** プロジェクターの【メニュー】ボタンを押す

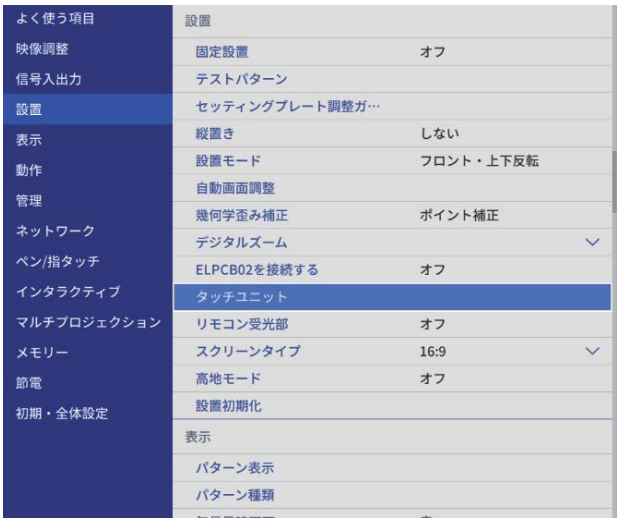
リモコンの場合




操作パネルの場合

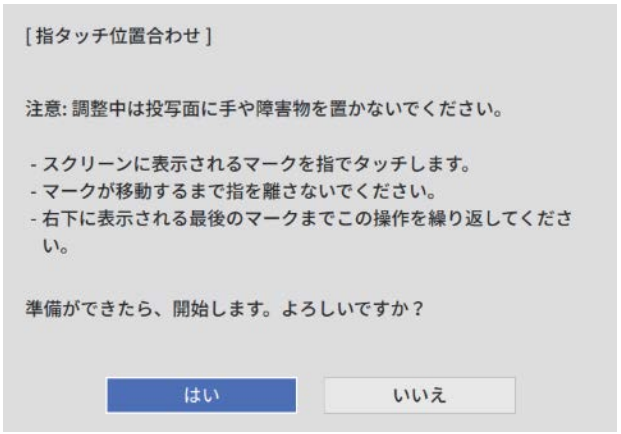


## 2 [設置]メニューで[タッチユニット]を選択する




## 3 [指タッチ位置合わせ]を選択する

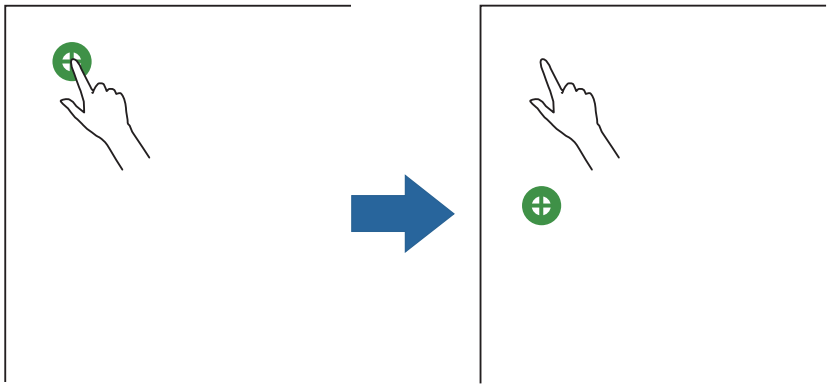
## 4 [はい]を選択する



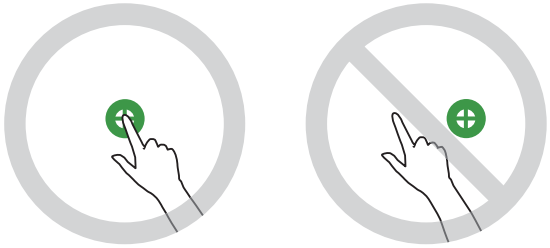

投写画面の左上にドットが表示されます。

## 5 表示されているドットの中心を指で押す

ドットが消えて次の位置にドットが表示されたら、指を離します。

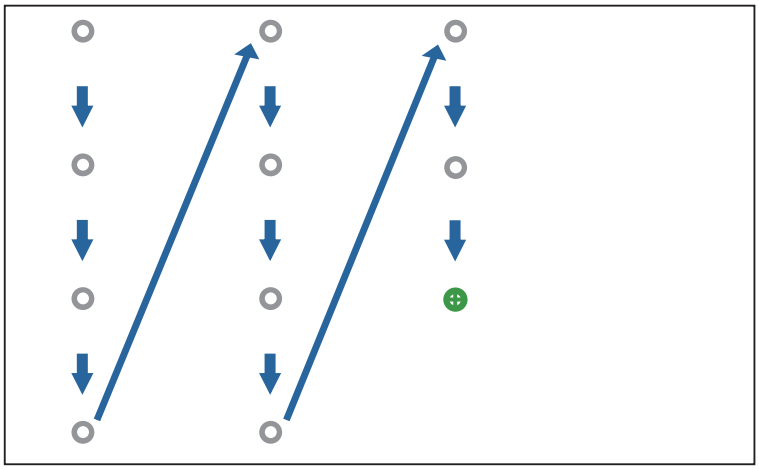


- 必ずドットの中心を押してください。中心以外を押すと位置ずれの原因となります。



- 手の甲など指以外の箇所が触れないようにしてください。

## 6 すべてのドットが消えるまで、手順5を繰り返す



すべてのドットが消えると、指タッチ位置合わせが完了します。

- 押す位置を間違えたときは、リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押してください。1つ前のドットからやり直せます。2つ以上前のドットからやり直すことはできません。
- 指タッチ位置合わせを中止するときは、【戻る】ボタンを2秒間押します。
- すべてのドットが消えてから指タッチ位置合わせが完了するまで、数秒かかることがあります。

# 安全規格対応シンボルマークと説明

製品上にシンボルマークが表示されている場合は、それぞれ以下の意味を持っています。

| シンボルマーク | 対応規格 | 意味 |
|---|---|---|
| | IEC60417<br>No.5007 | 電源 ON<br>電源への接続を示す。 |
| | IEC60417<br>No.5008 | 電源 OFF<br>電源からの切り離しを示す。 |
| | IEC60417<br>No.5009 | スタンバイ<br>機器・装置の一部だけを通電状態にし、機器・装置を待機状態にするためのスイッチまたはその位置を示す。 |
| | ISO7000<br>No.0434B<br>IEC3864-B3.1 | 注意<br>製品取扱時の全般的な注意を示す。 |
| | IEC60417<br>No.5041 | 注意（高温）<br>高温の可能性があり、不注意に触れない方がよい箇所であることを示す。 |
| | IEC60417<br>No.6042<br>ISO3864-B3.6 | 注意（感電危険）<br>感電（電撃）の危険性がある機器・装置であることを示す。 |
| | IEC60417<br>No.5957 | 屋内専用<br>屋内使用専用を目的とする電気機器・装置であることを表す。 |
| | IEC60417<br>No.5926 | 直流電源コネクタ極性<br>直流電源を接続してもよい機器のプラス及びマイナス電極の接続を示す。 |
| | --- | |
| | IEC60417<br>No.5001B | 電池(一般)<br>電池を電源とする機器・装置に使用する。電池装着部分のカバーまたは接続端子を示す。 |
| | IEC60417<br>No.5002 | 電池の向き<br>電池ケース本体および電池ケース内での向きを示す。 |
| | --- | |
| | IEC60417<br>No.5019 | 保護接地<br>障害発生時の電撃（感電）保護用外部導体への接続端子または保護接地極の端子であることを示す。 |
| | IEC60417<br>No.5017 | アース<br>⏚ の使用が明示的に要請されない場合の接地（アース）端子であることを示す。 |

| シンボルマーク | 対応規格 | 意味 |
|---|---|---|
| | IEC60417<br>No.5032 | 交流<br>交流専用の機器・装置であり、交流に対応する端子であることを示す。 |
| | IEC60417<br>No.5031 | 直流<br>直流専用の機器・装置であり、直流に対応する端子であることを示す。 |
| | IEC60417<br>No.5172 | クラスⅡ機器<br>JIS C 9335-1/JIS C 8105-1でクラスⅡ機器と規定した安全性要求事項に適合する機器・装置であることを示す。 |
| | ISO 3864 | 一般的な禁止<br>特定しない一般的な禁止通告を示す。 |
| | ISO 3864 | 接触禁止<br>機器の特定の場所に触れることによって傷害が起こる可能性がある場合の禁止通告を示す。 |
| | --- | プロジェクター動作中の投写レンズ覗きこみ禁止を示す。 |
| | --- | プロジェクターの上に物を置いてはならないことを示す。 |
| | ISO3864<br>IEC60825-1 | 注意(レーザー放射)<br>製品上に注意が必要なレベルのレーザ放射部があることを示す。 |
| | ISO 3864 | 分解禁止<br>機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止通告を示す。 |
| | IEC60417<br>No.5266 | 待機、一部待機<br>機器・装置の一部が準備状態であることを示す。 |
| | ISO3864<br>IEC60417<br>No.5057 | 注意（可動部品）<br>保護規定上、可動部品から離れなければならないことを示す。 |
| | IEC<br>60417-6056 | 注意（可動ファンのブレード）<br>保護規定上、可動ファンのブレードから離れなければならないことを示す。 |
| | IEC<br>60417-6043 | 注意（鋭利な角）<br>保護規定上、鋭利な角には触れてはいけないことを示す。 |
| | -- | プロジェクター動作中の投写レンズ覗きこみ禁止を示す。 |
| | ISO7010<br>No. W027<br>ISO 3864 | 警告、光放射（UV、可視光、IRなど）<br>光放射の近くにいるときは、目や肌に負傷を与えないように注意することを示す。 |
| | IEC60417<br>No.5109 | 居住区域使用禁止<br>居住区域での使用に適さない電気機器・装置であることを示す。 |

# 商標について

Mac、OS Xは、Apple Inc.の商標です。

Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における商標または登録商標です。

©SEIKO EPSON CORPORATION 2019. All rights reserved.

2019.7 413823900JAPDF